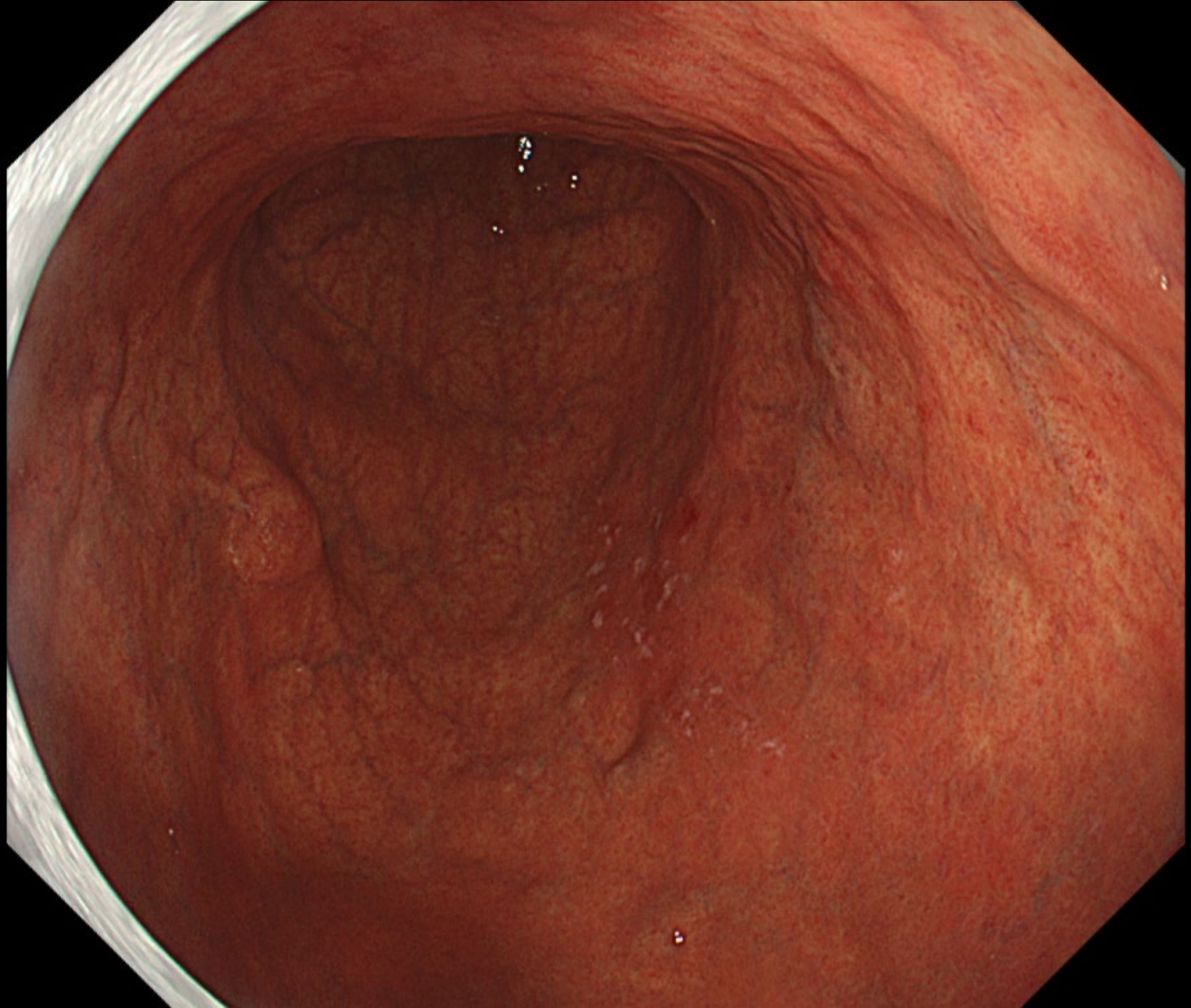
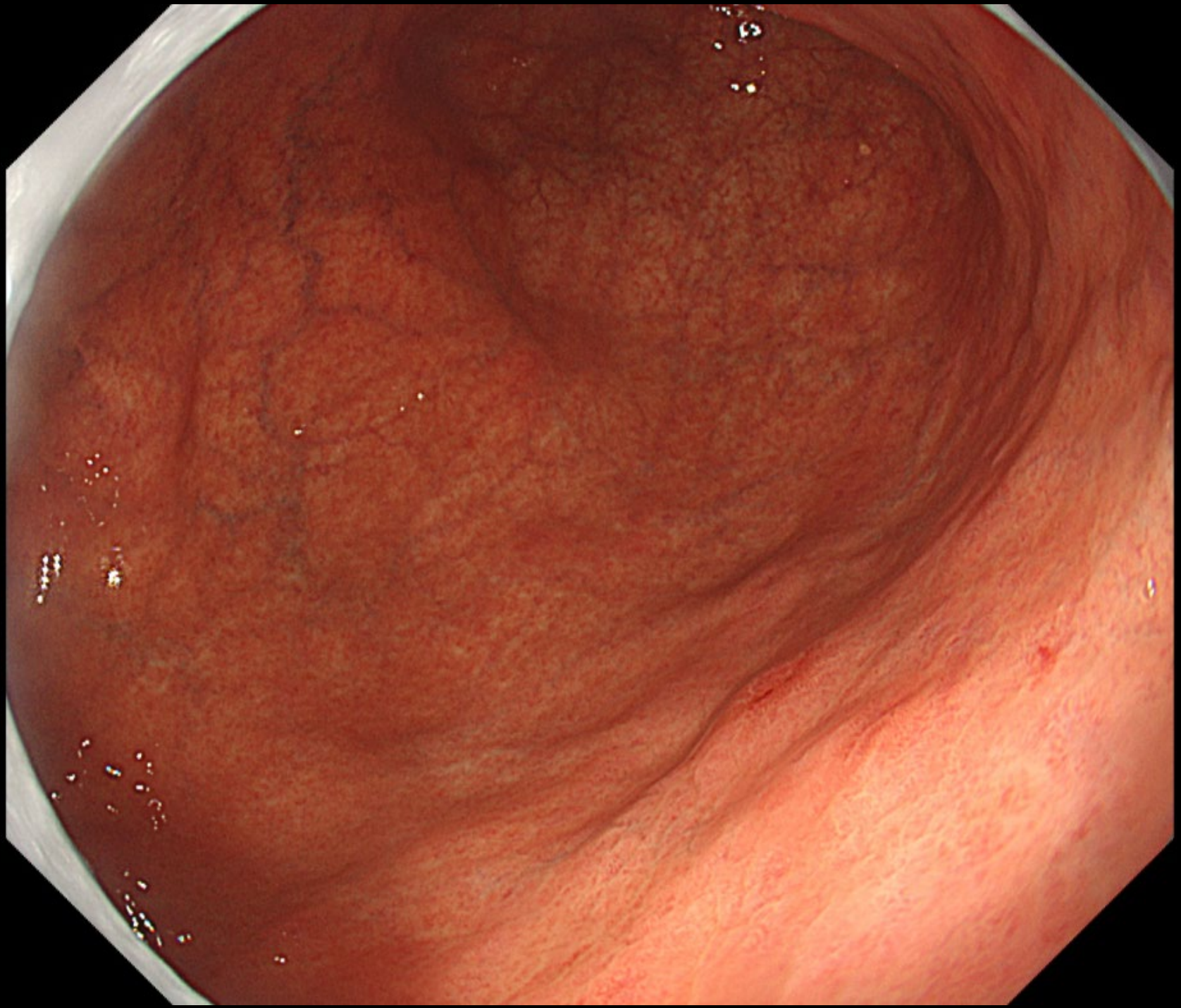
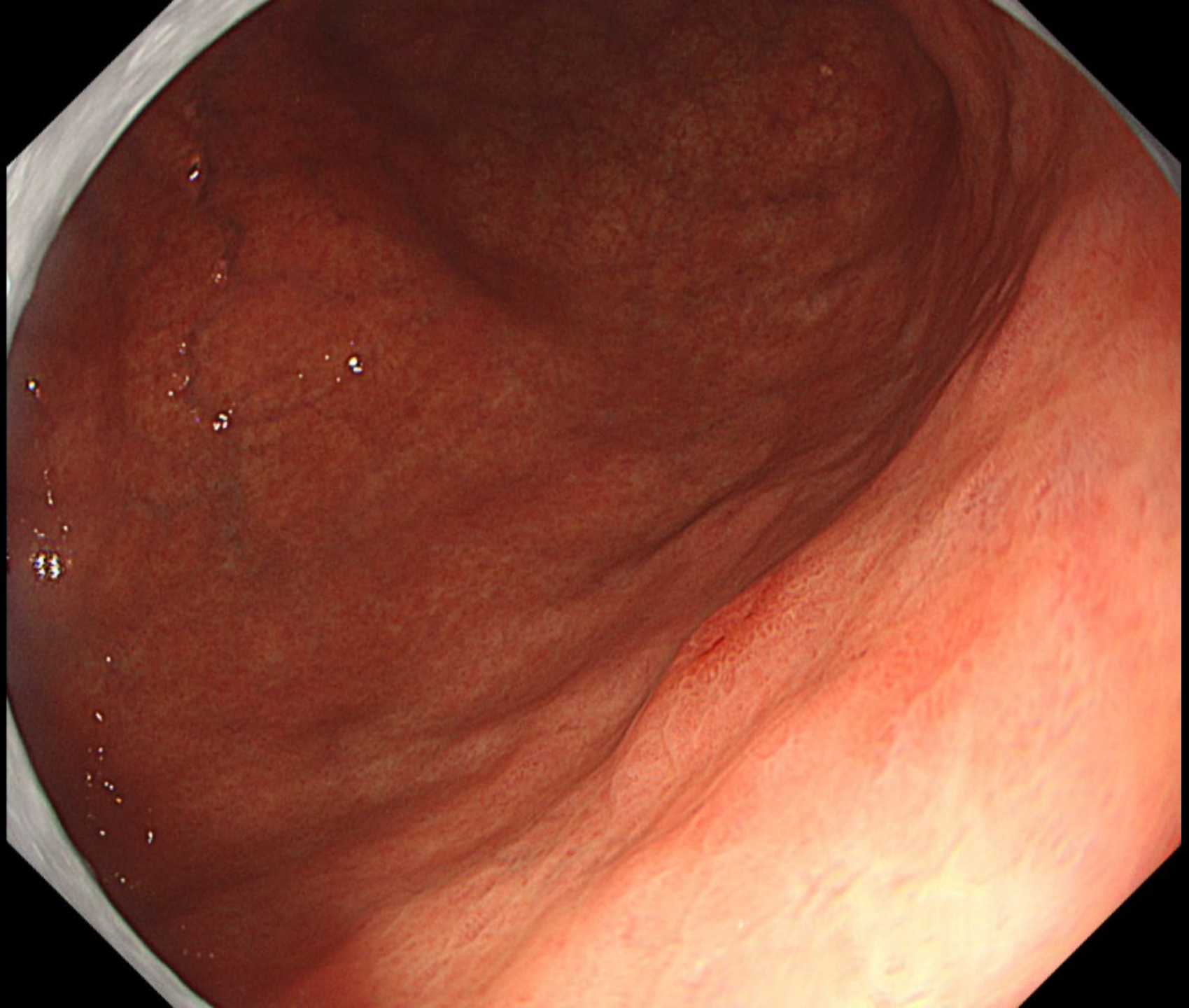
Mapping
胃

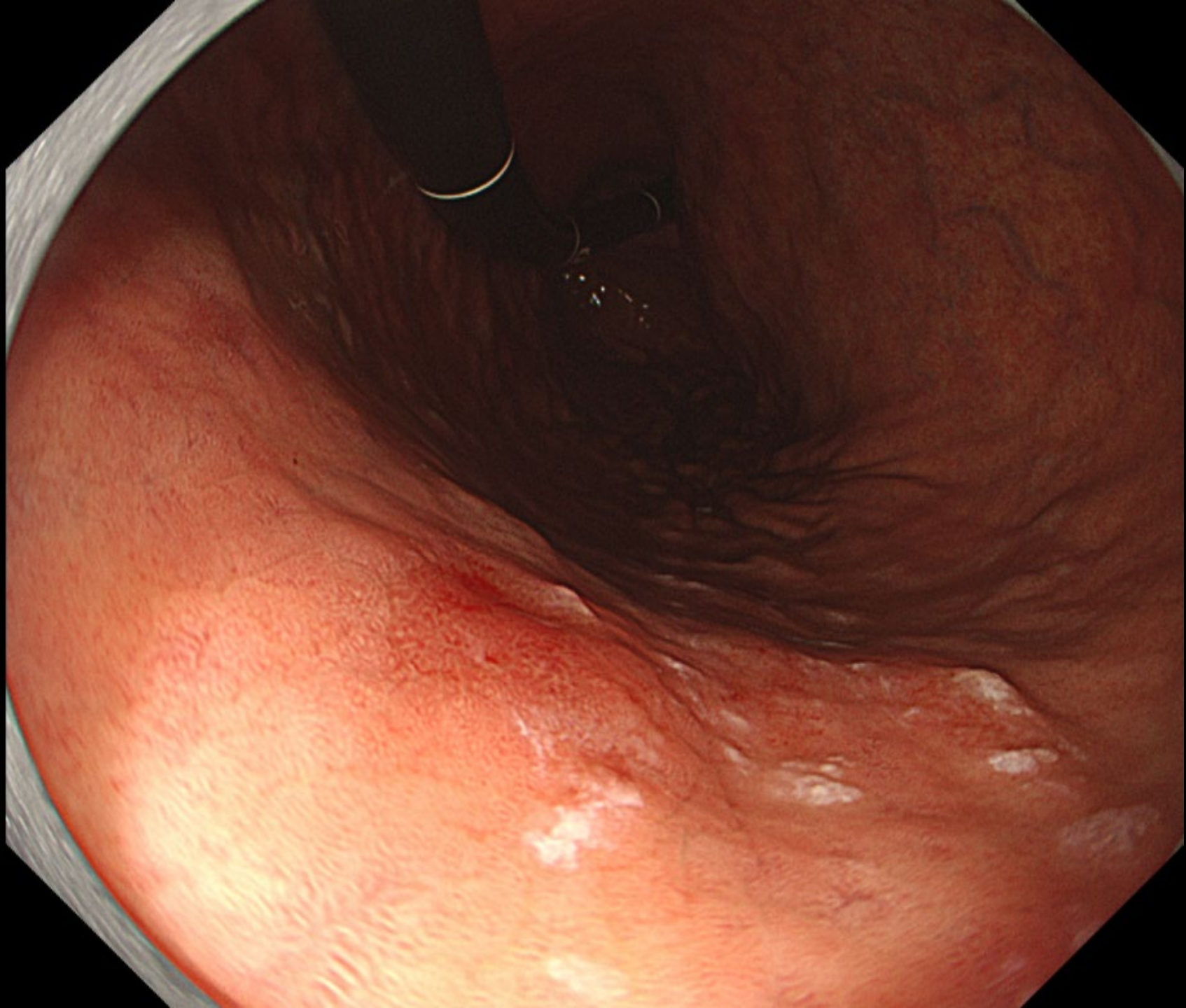
担当　伊丹　久実

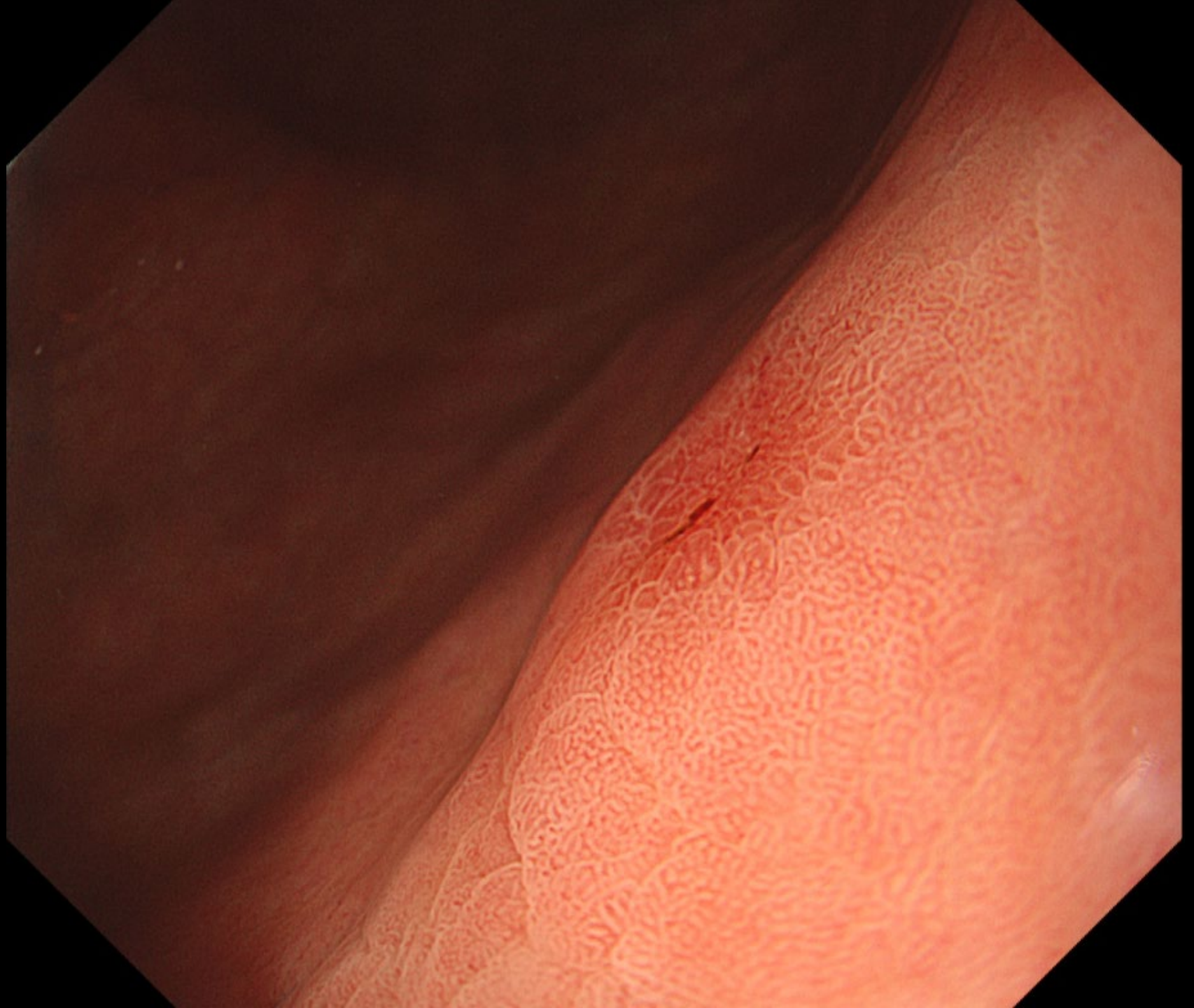
白色光
（4枚）



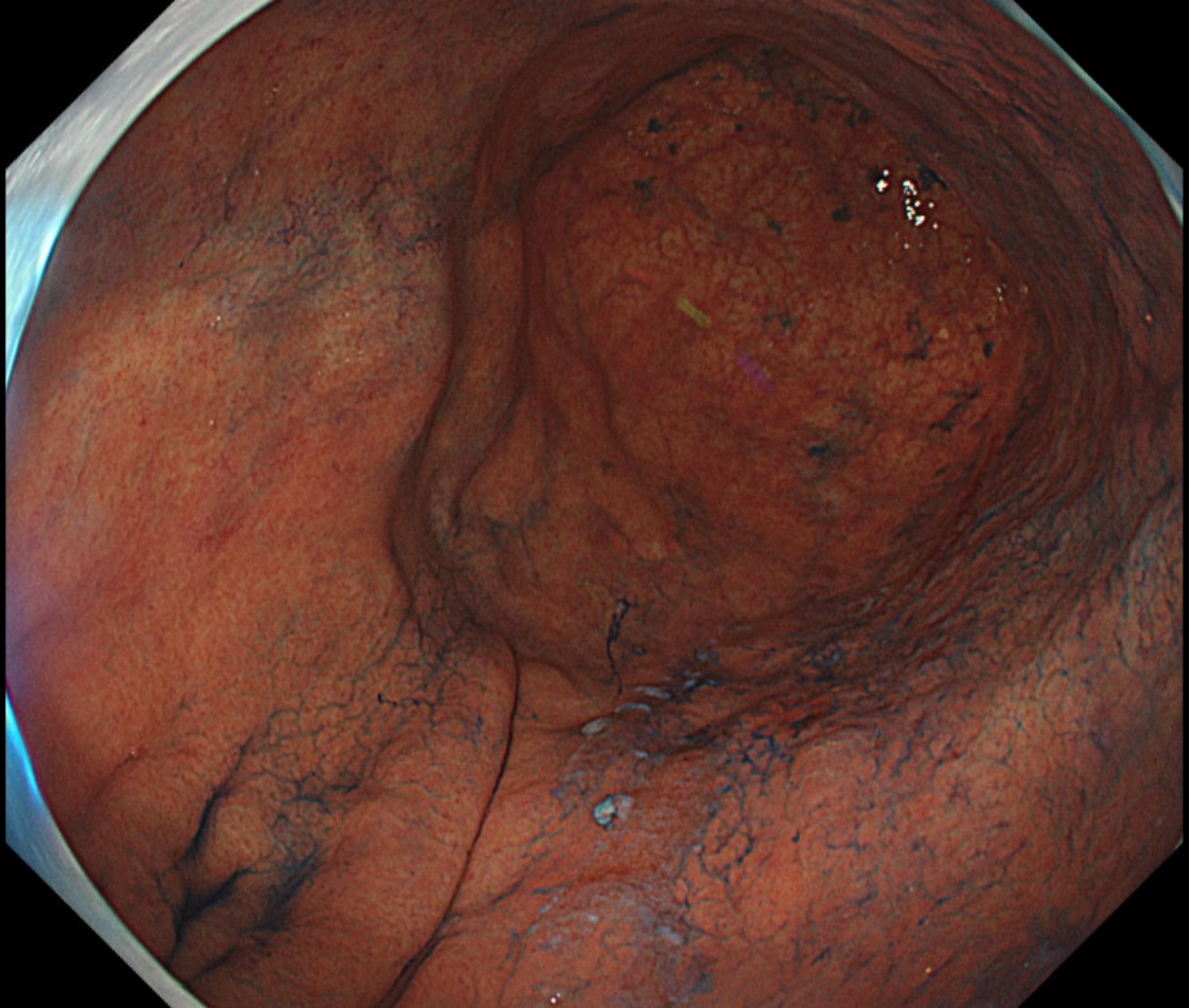


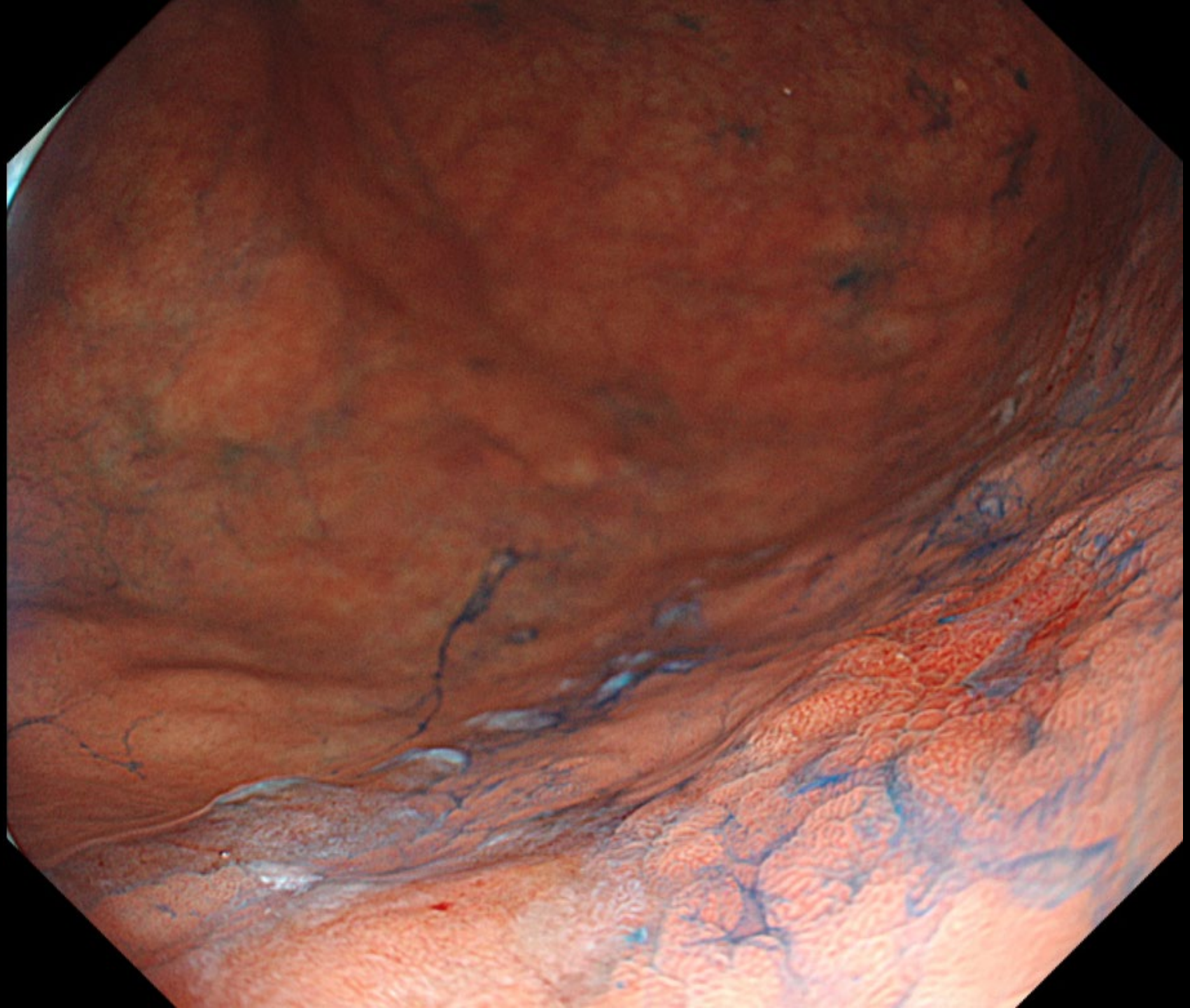


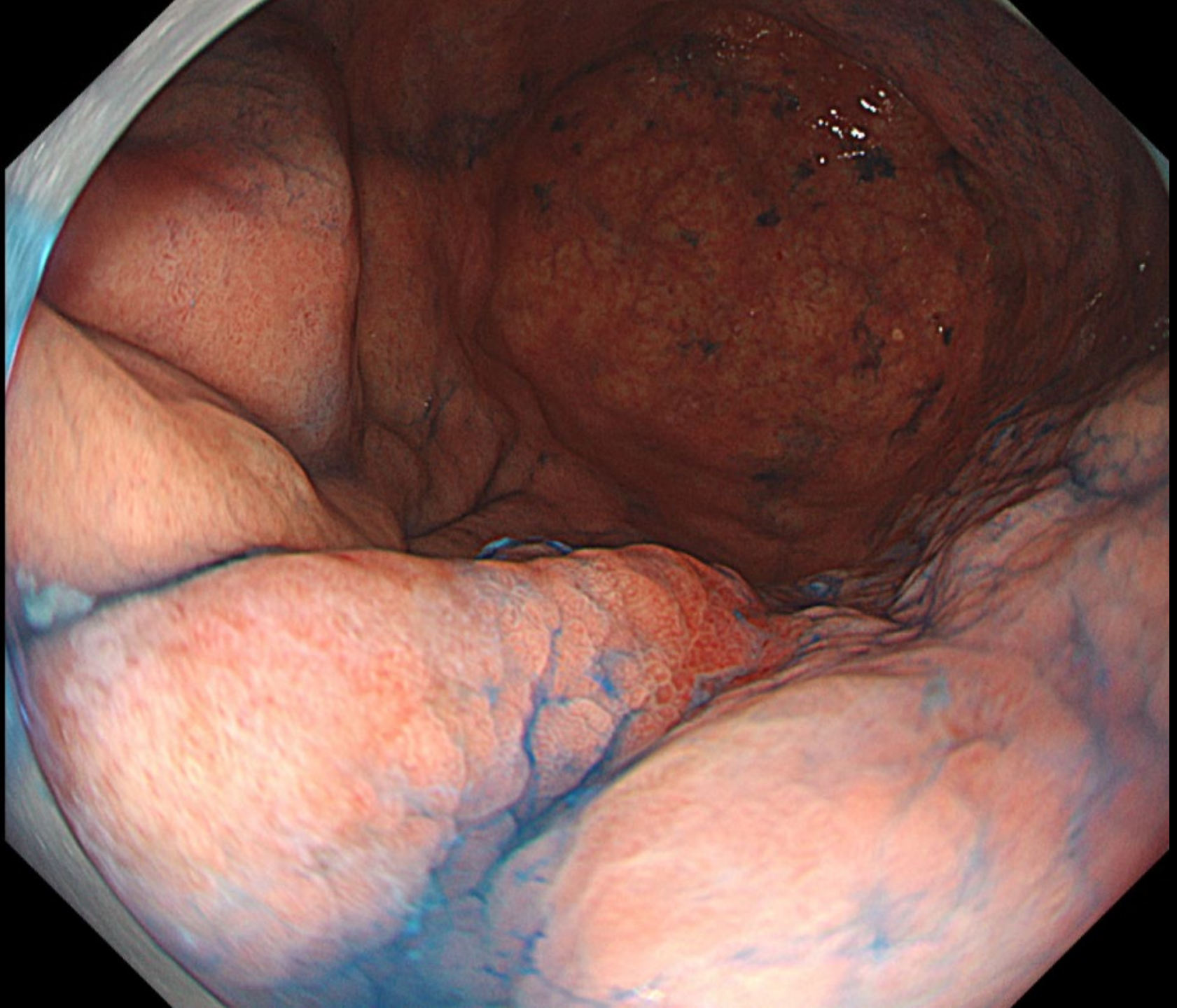




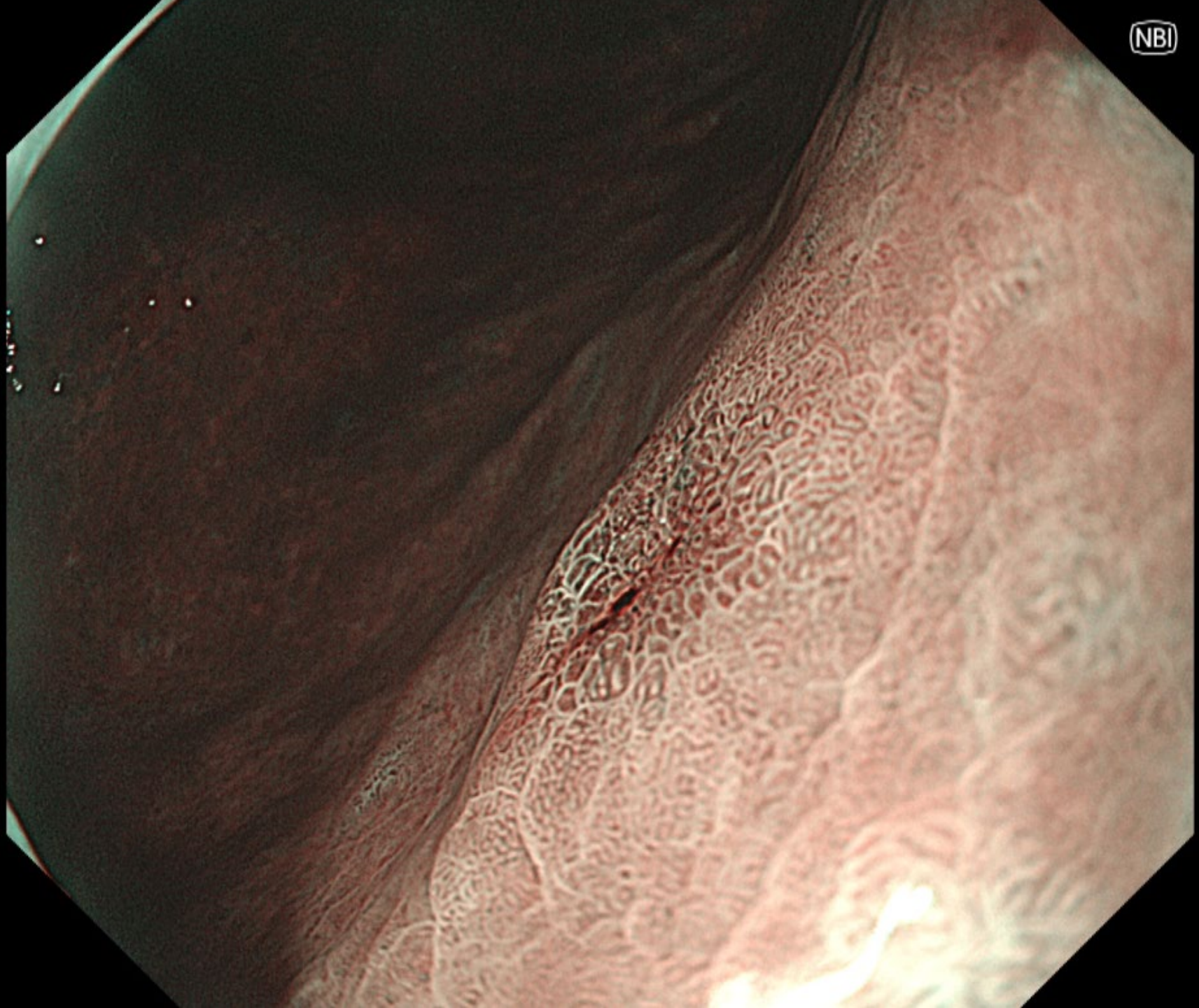
インジゴカルミン散布
（3枚）

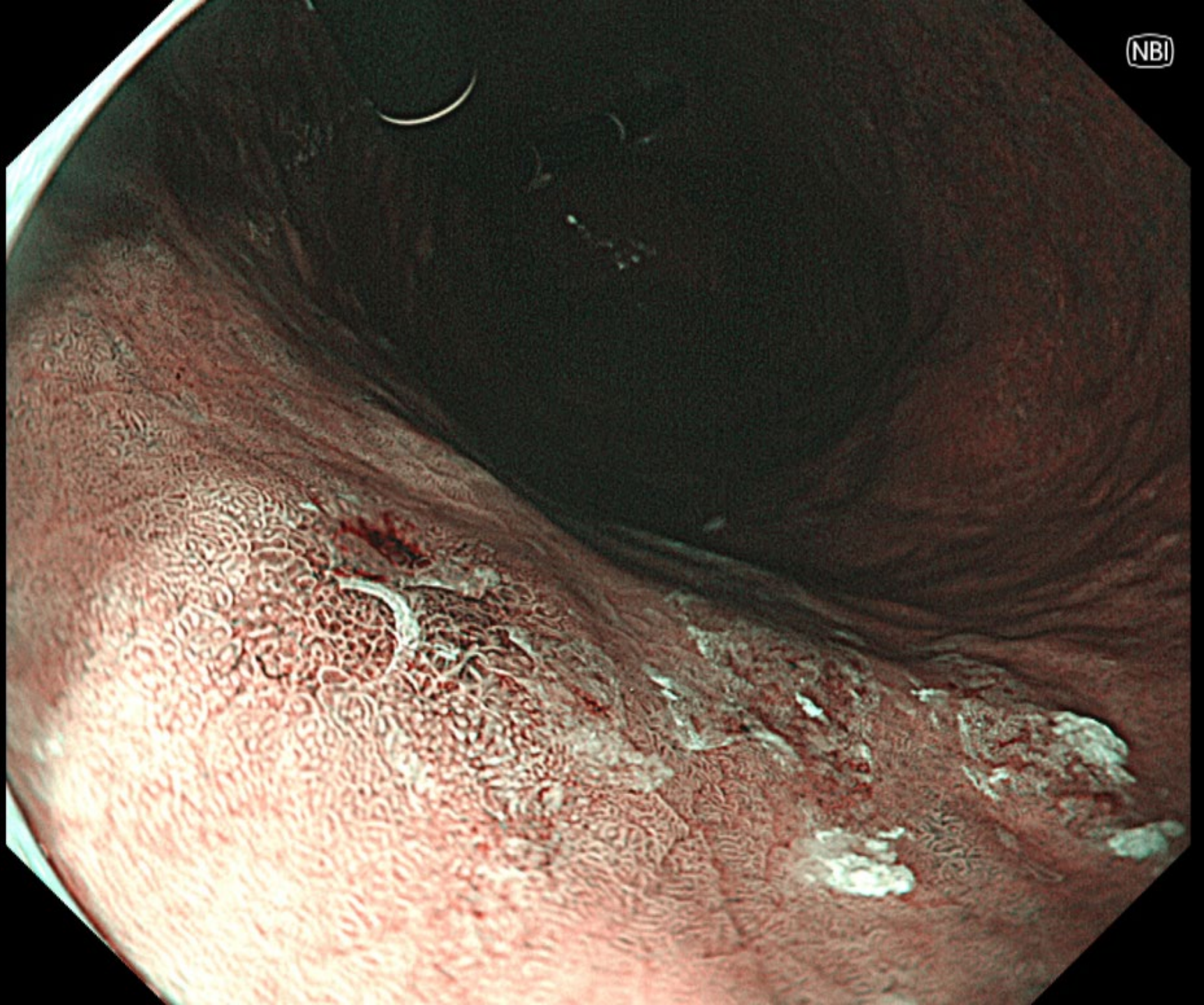


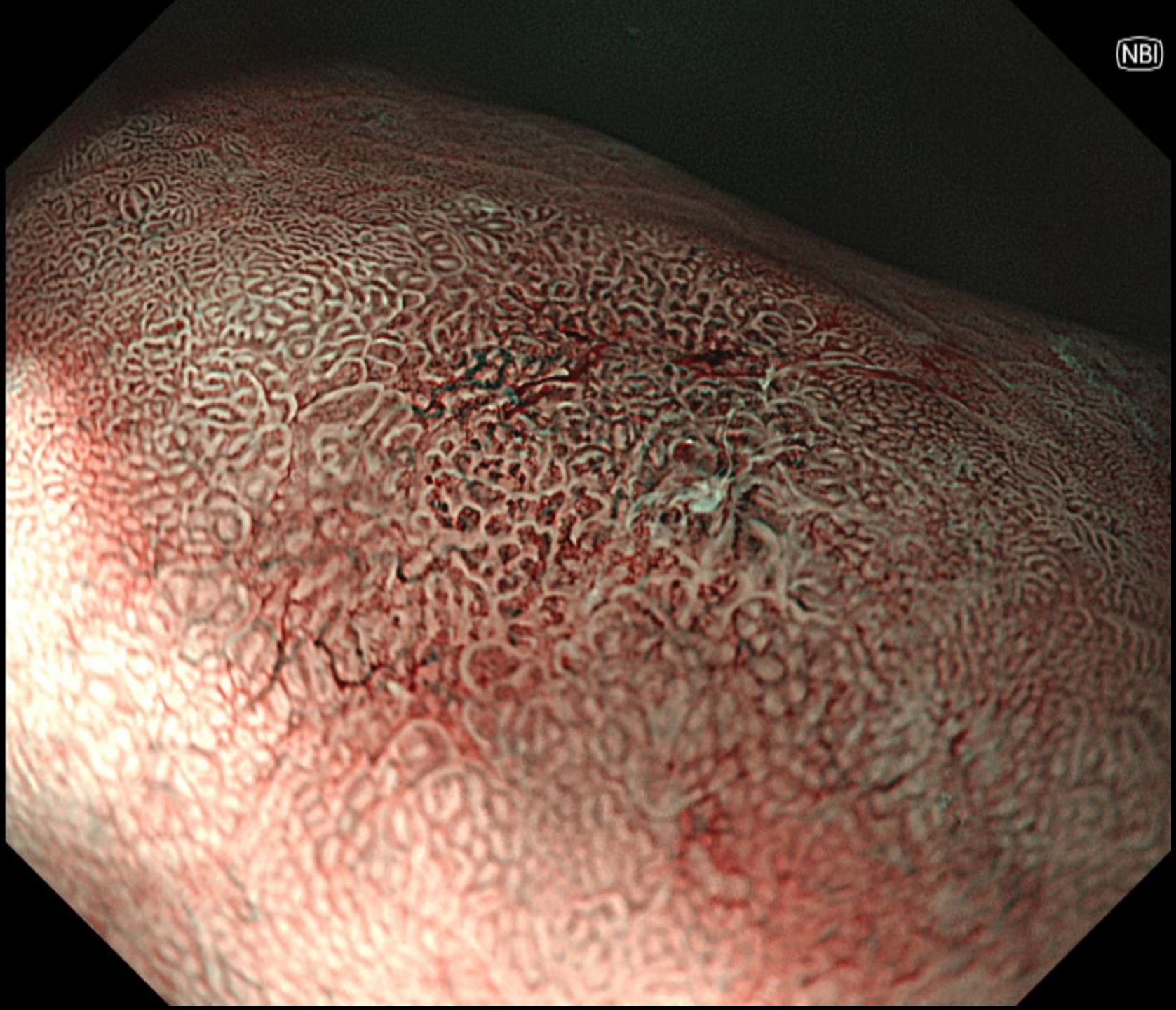


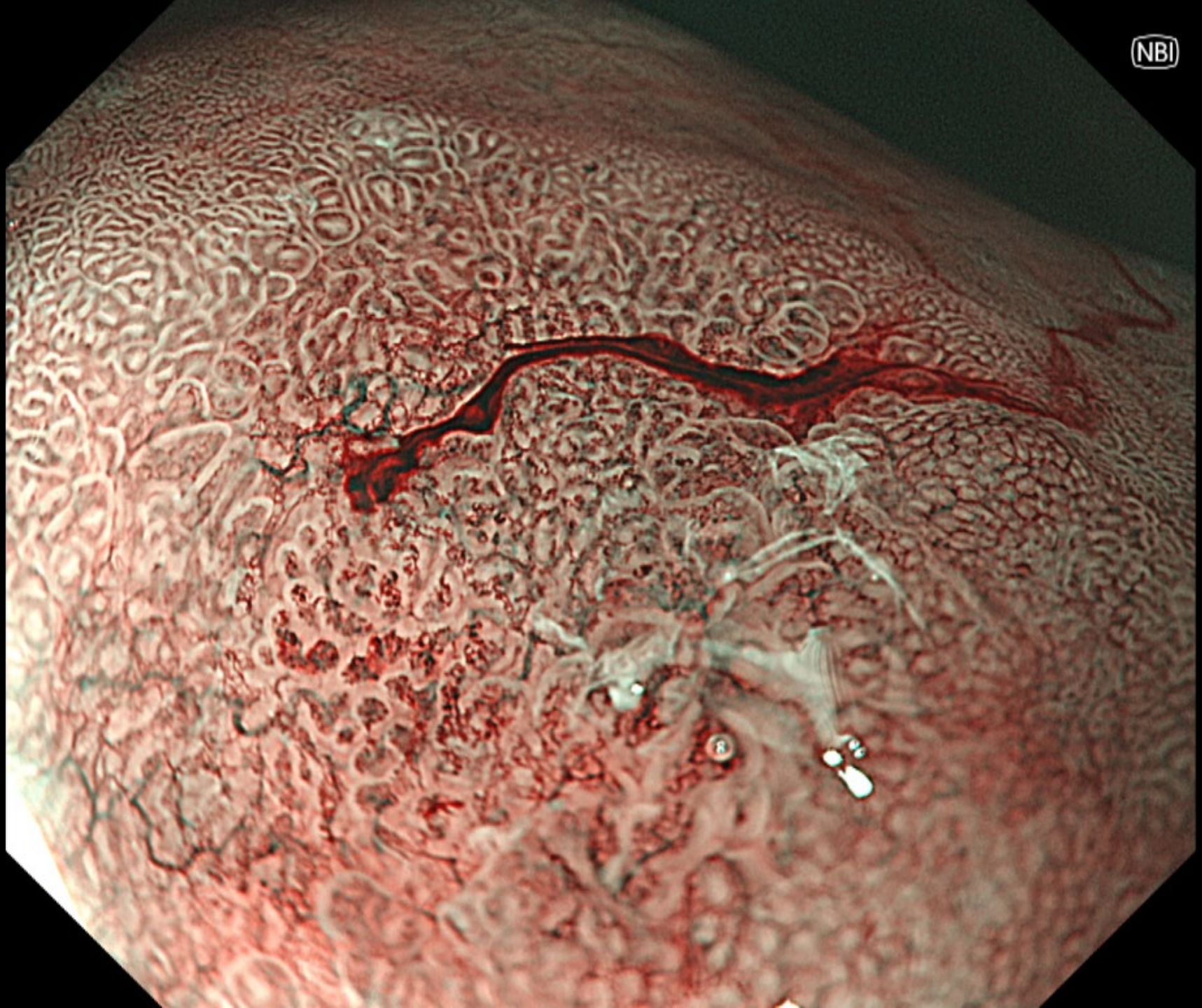


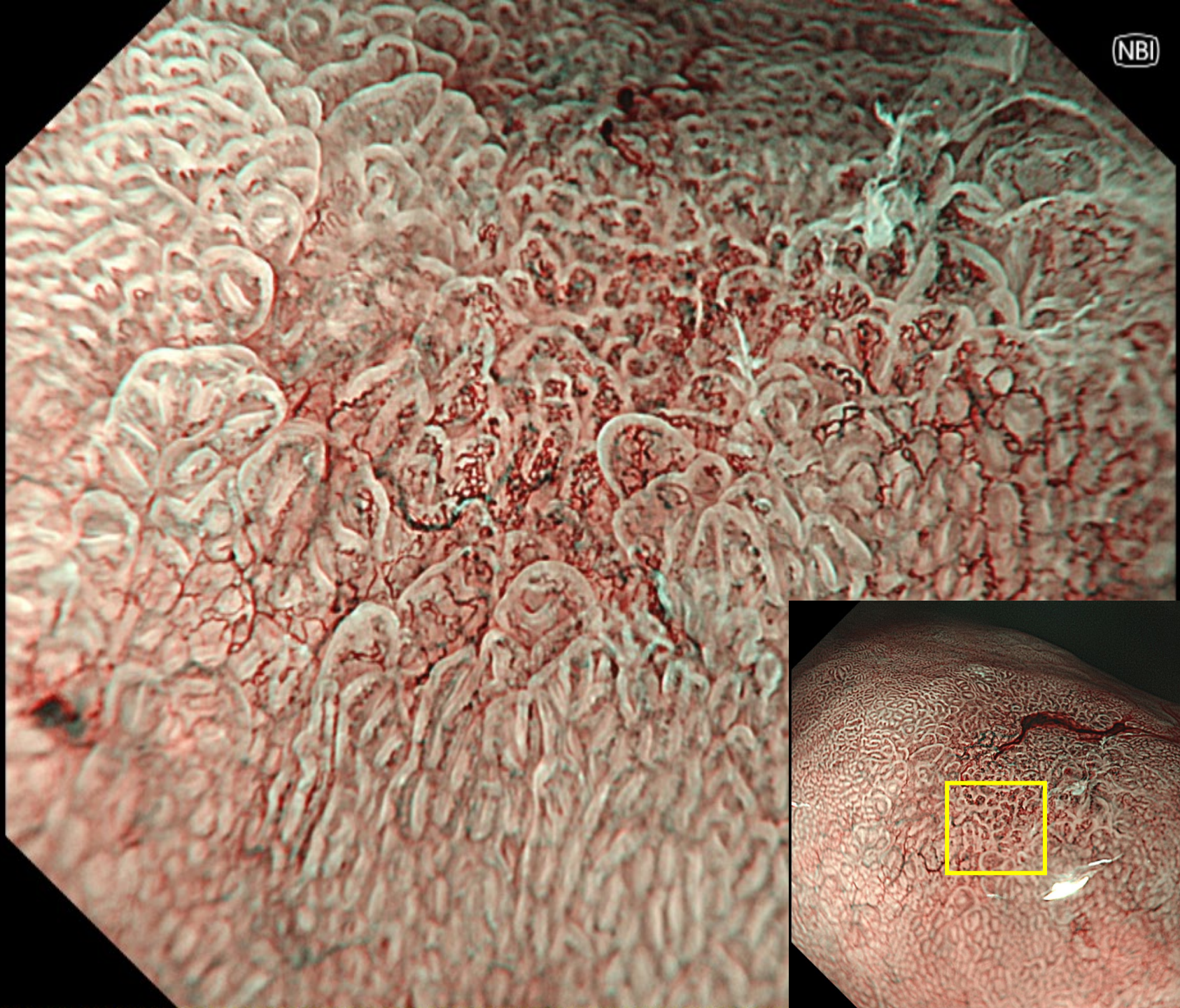
NBI
（7枚）

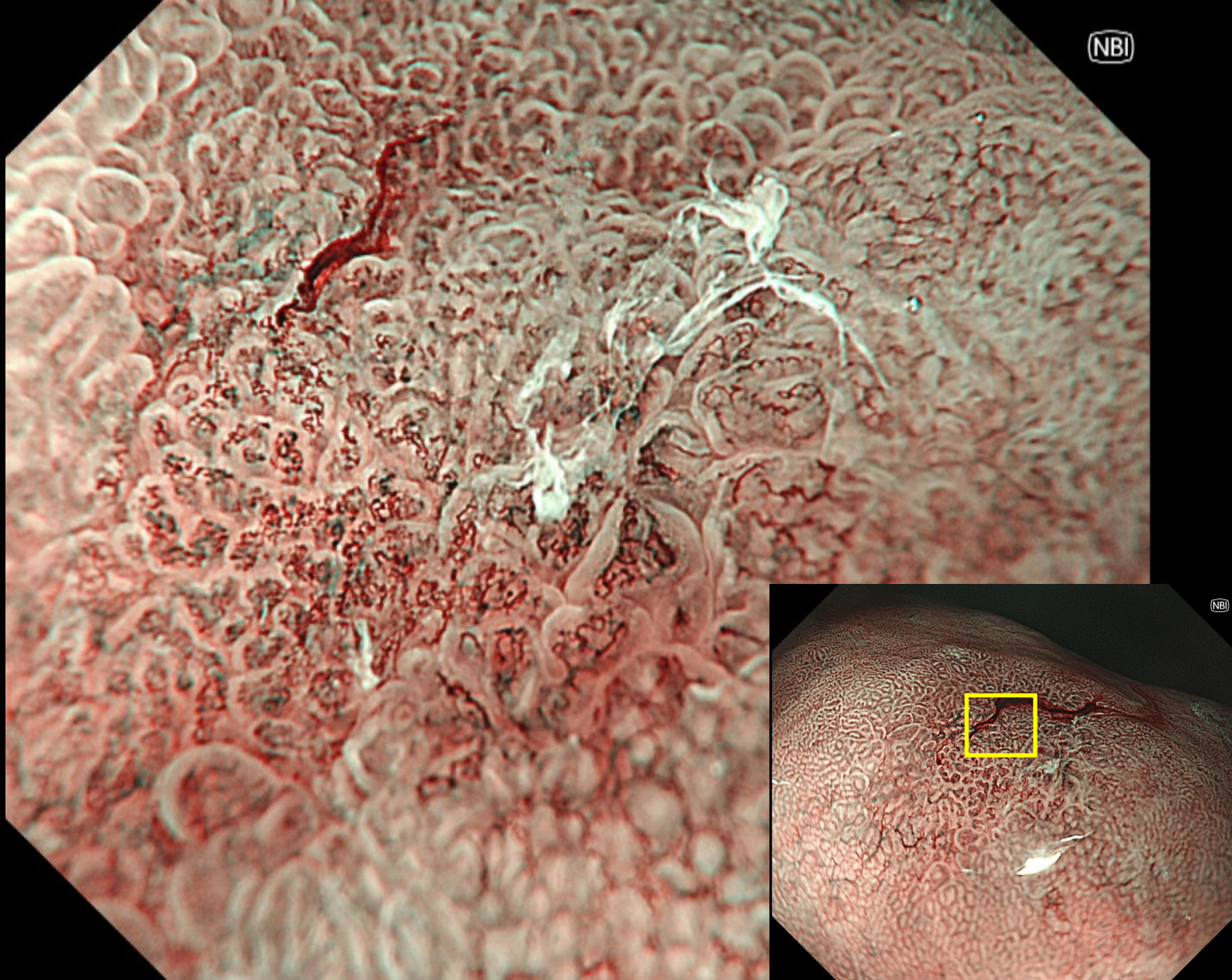

NBI


NBI


NBI


NBI


NBI
NBI


NBI
NBI

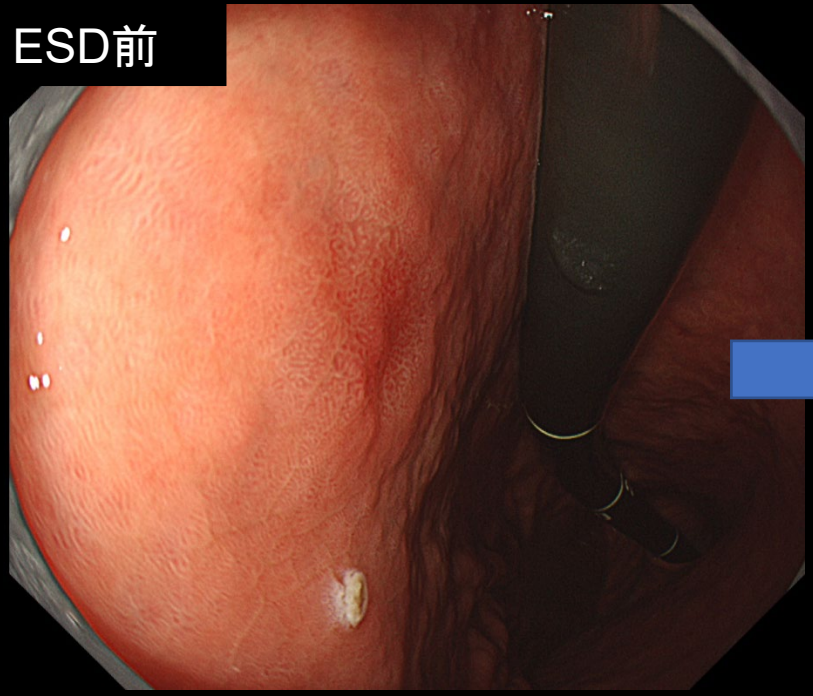
内視鏡診断

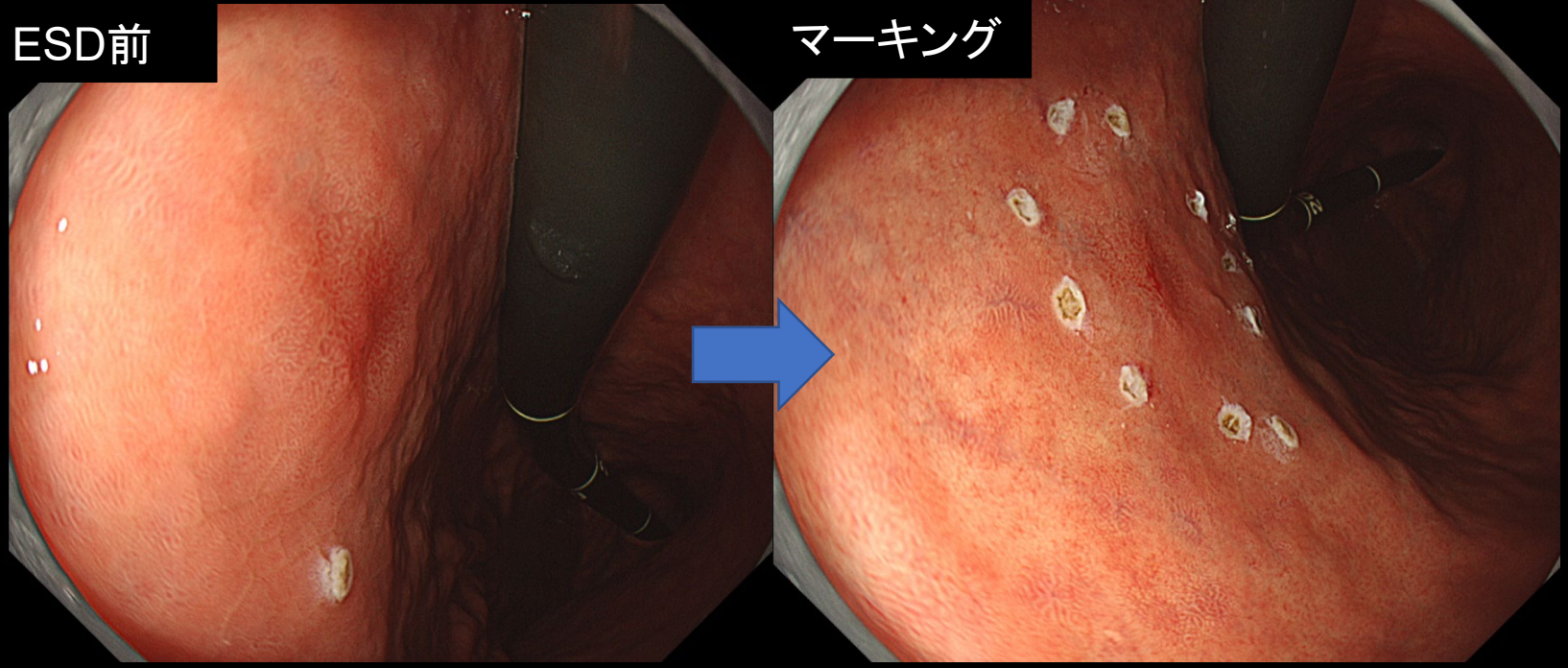
大きさ：8mm　肉眼型：0-Ⅱc, 分化型
深達度：M, UL0,
NBI観察：DL ＋,
　　微小血管構造：irregular,
　　表面微細構造：irregular

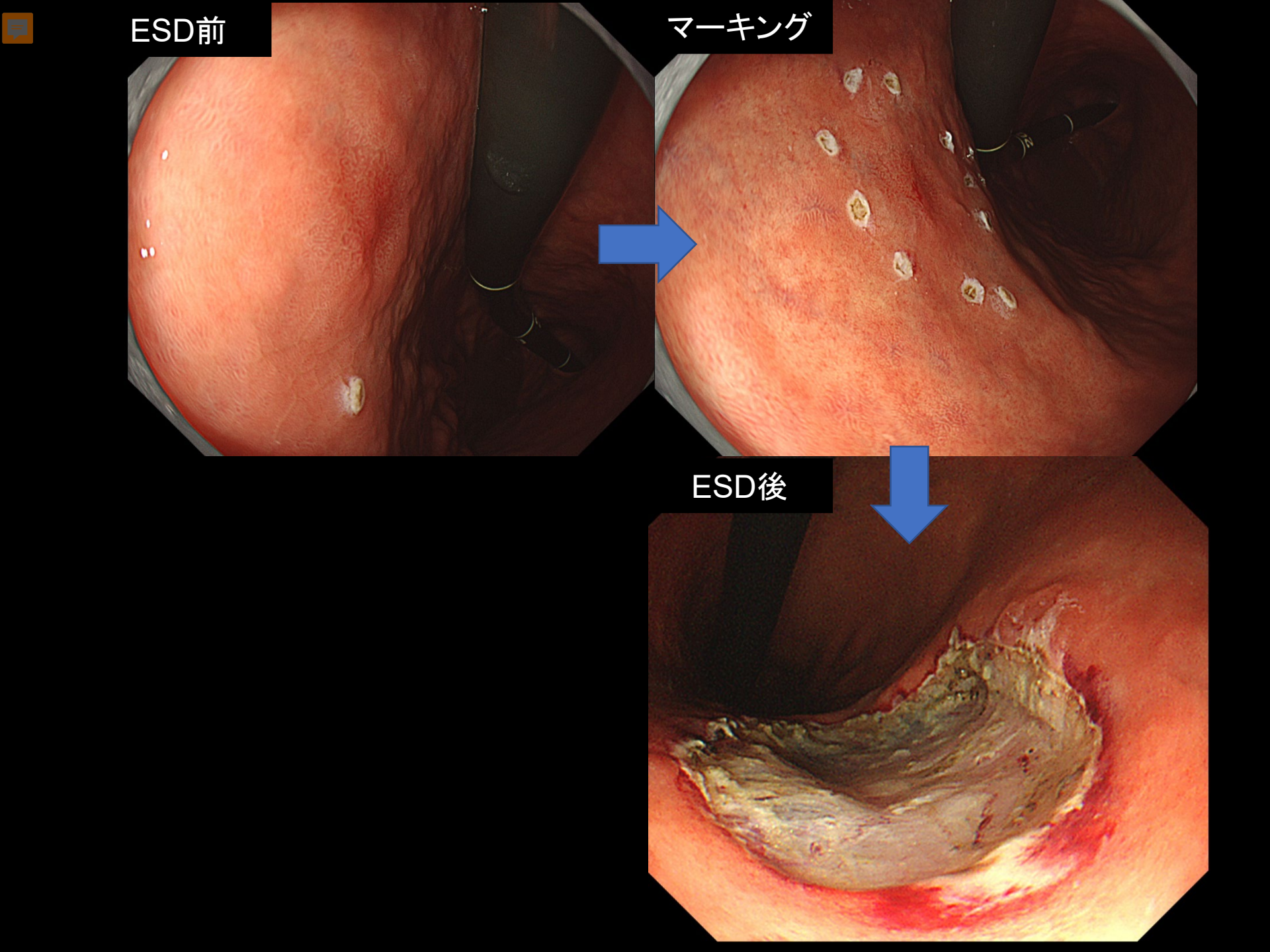
→絶対適応病変としてESD実施の方針

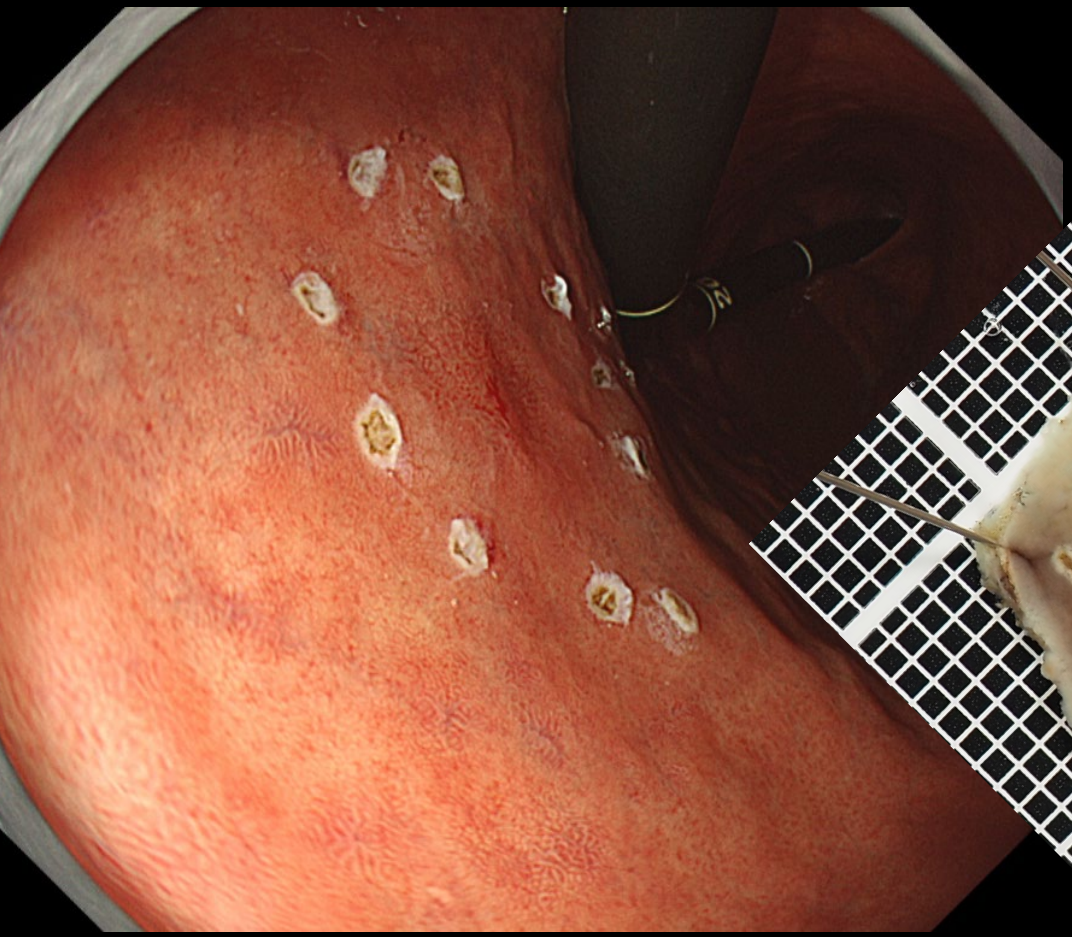
ESD

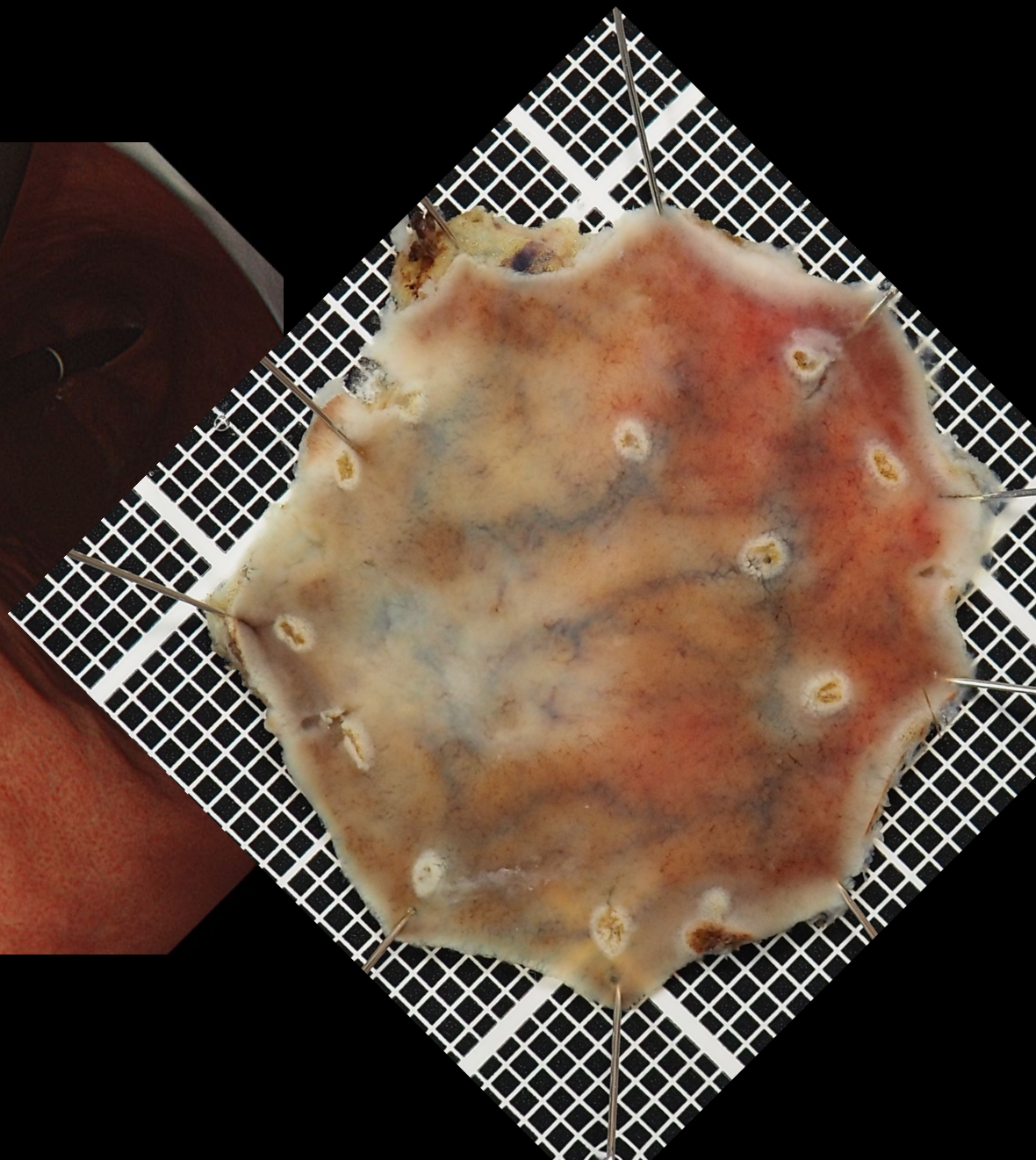
ESD前

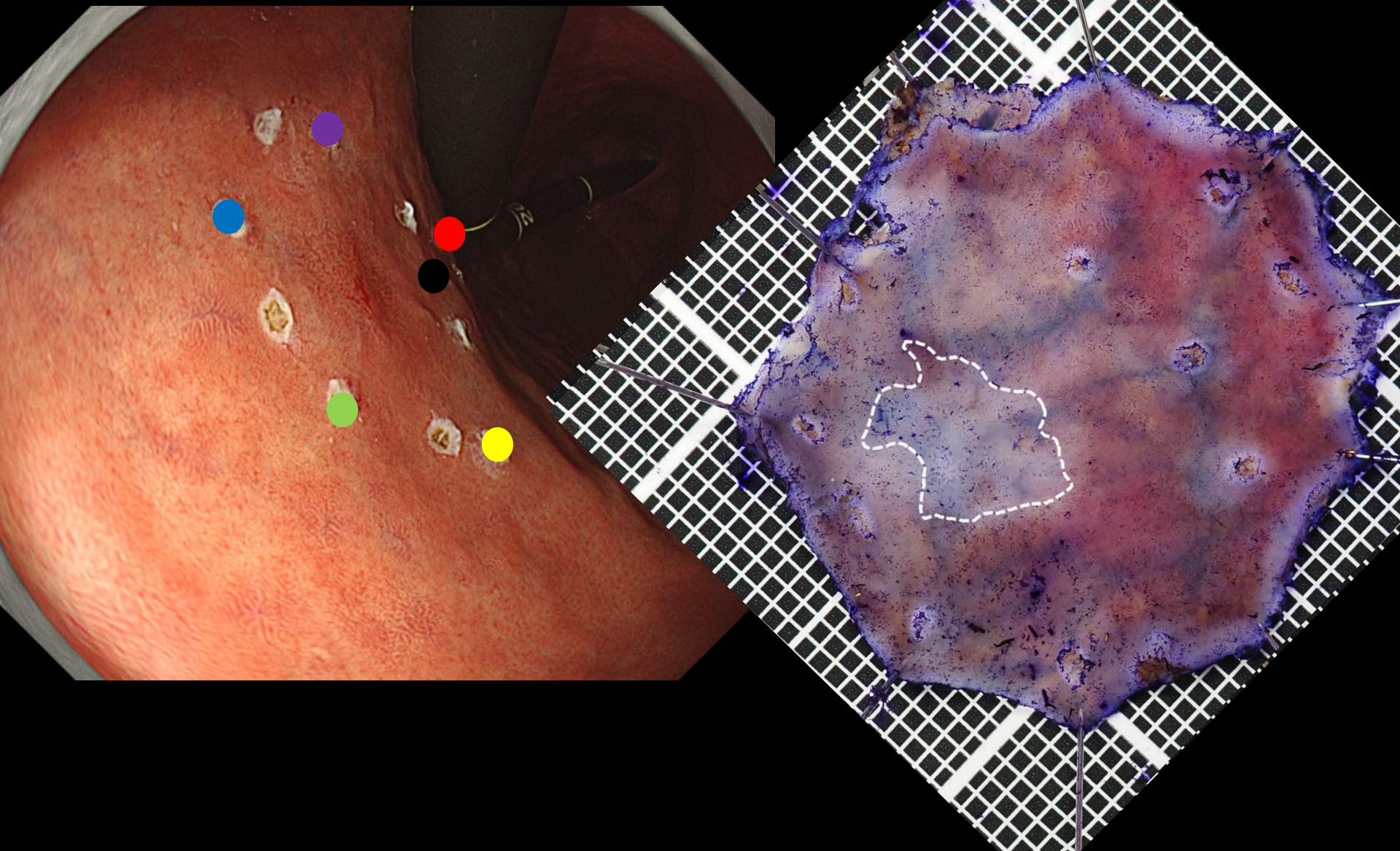


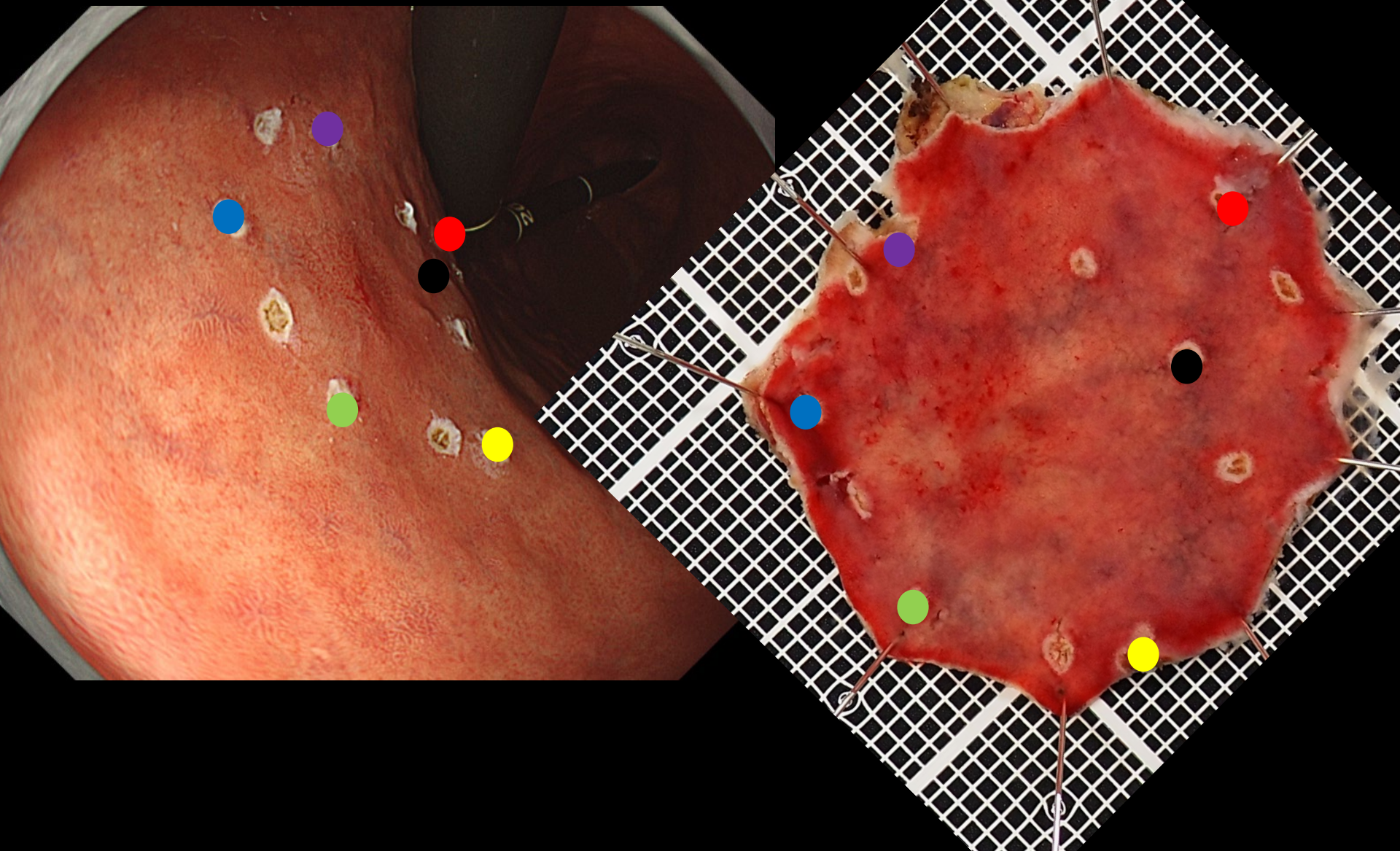

ESD前
マーキング

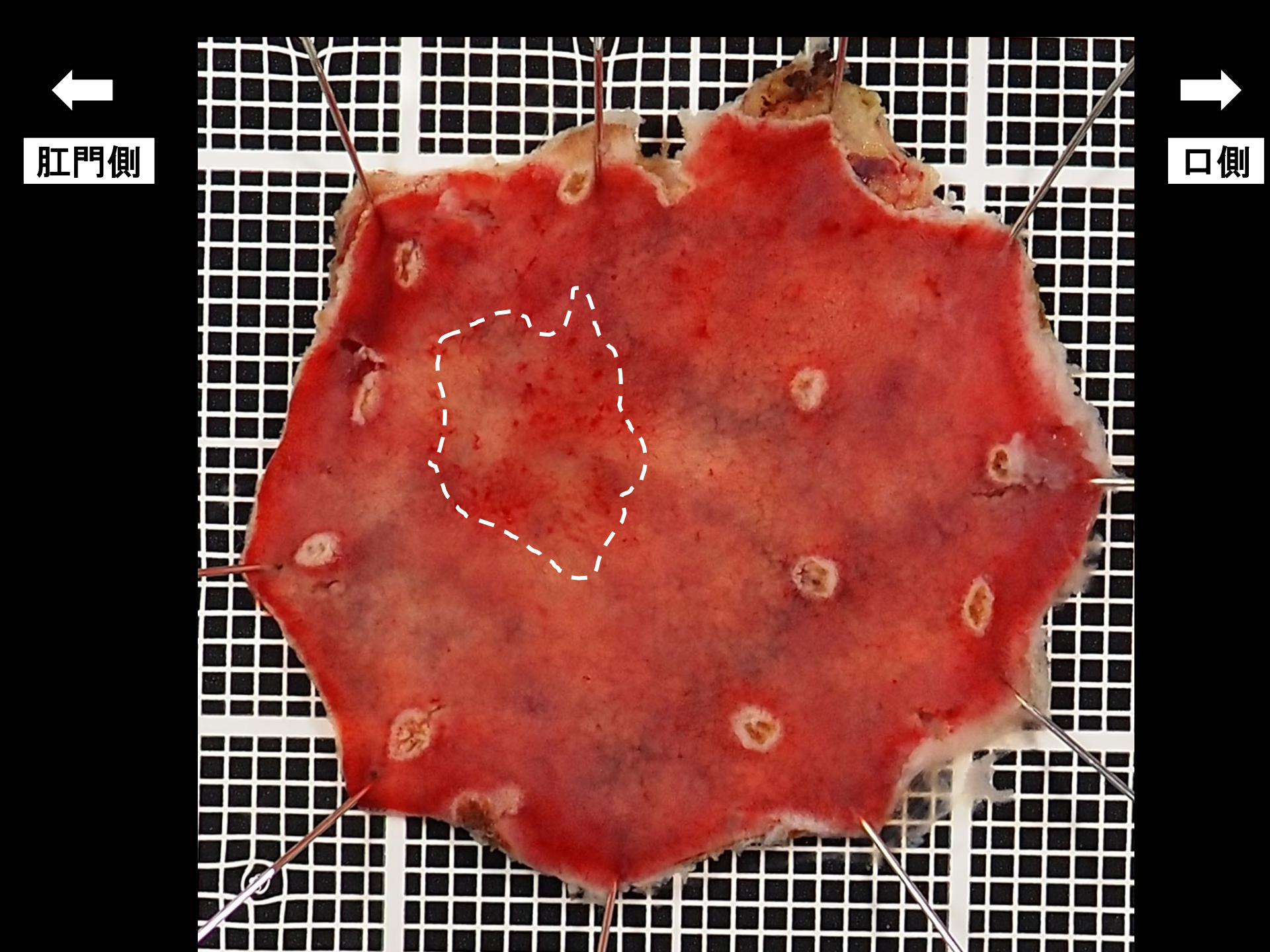

ESD前
マーキング
ESD後

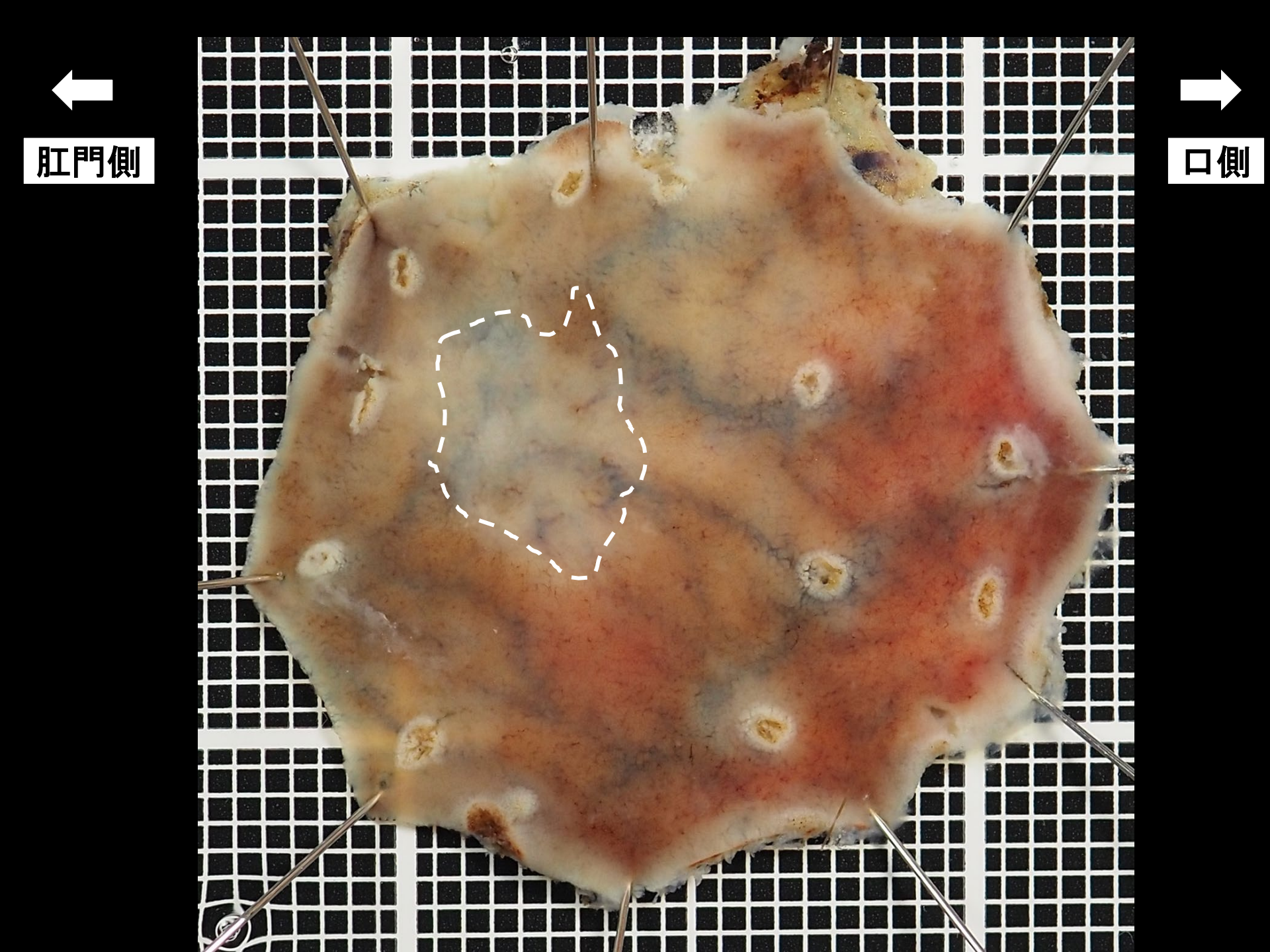


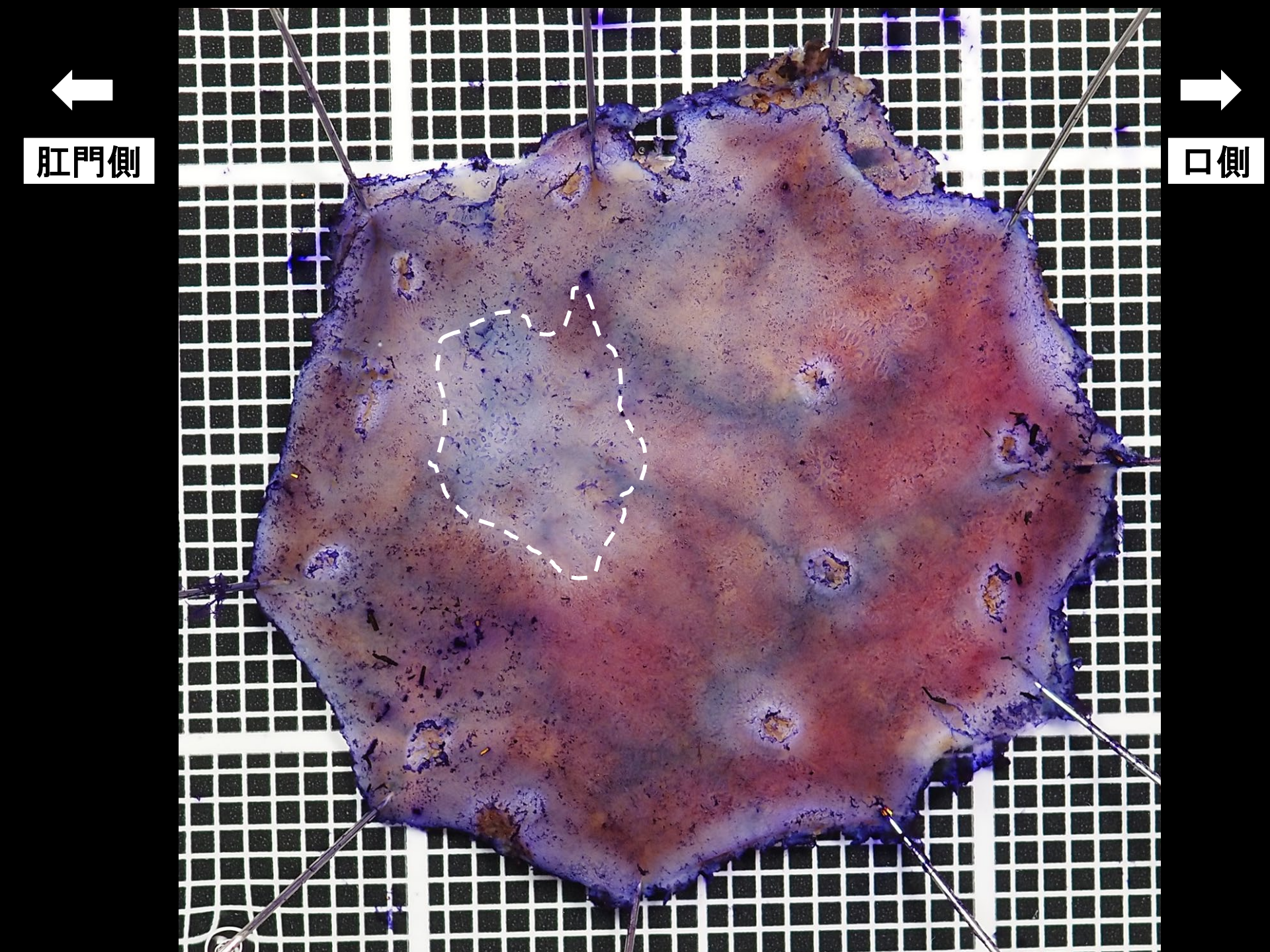


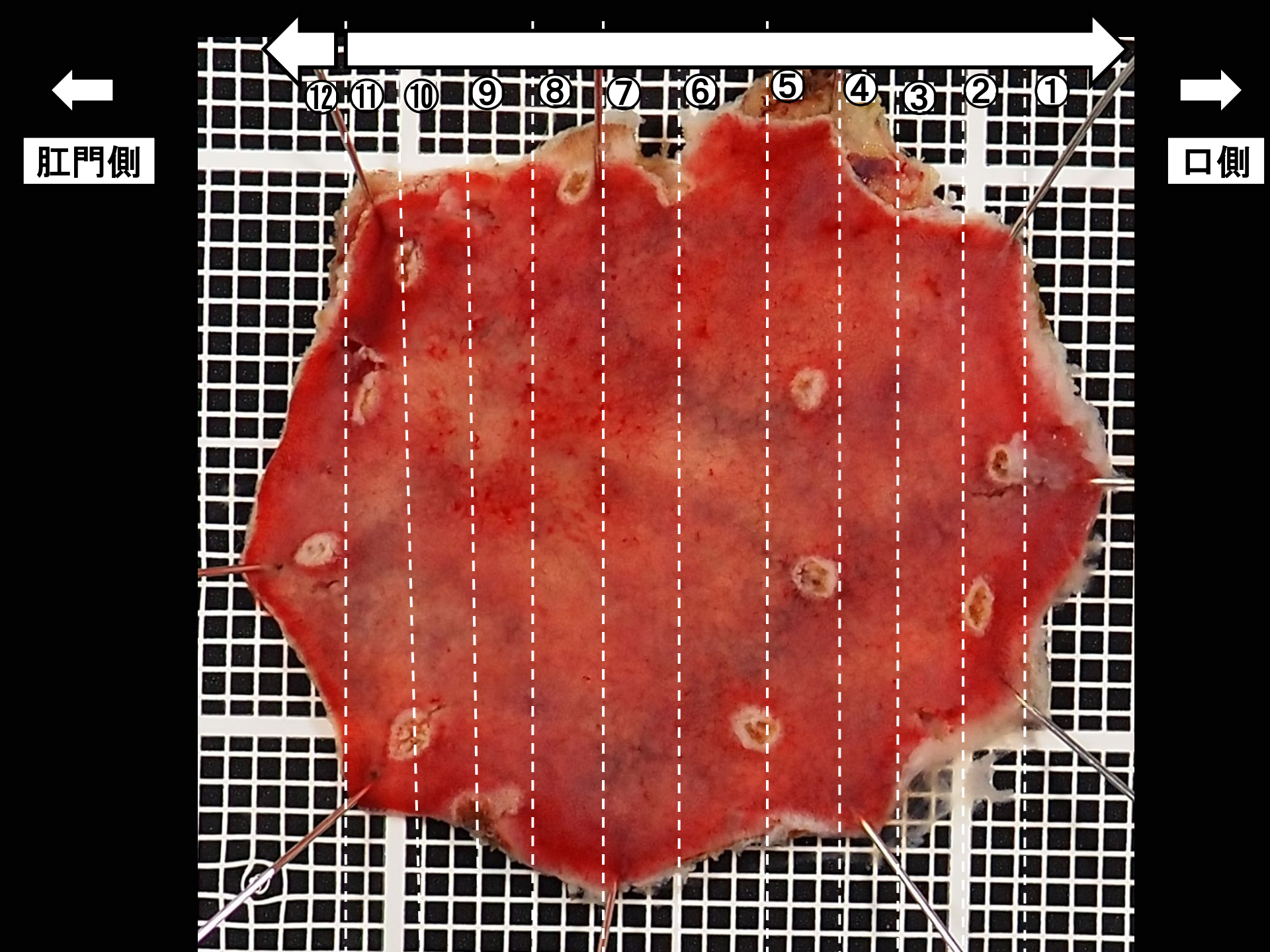


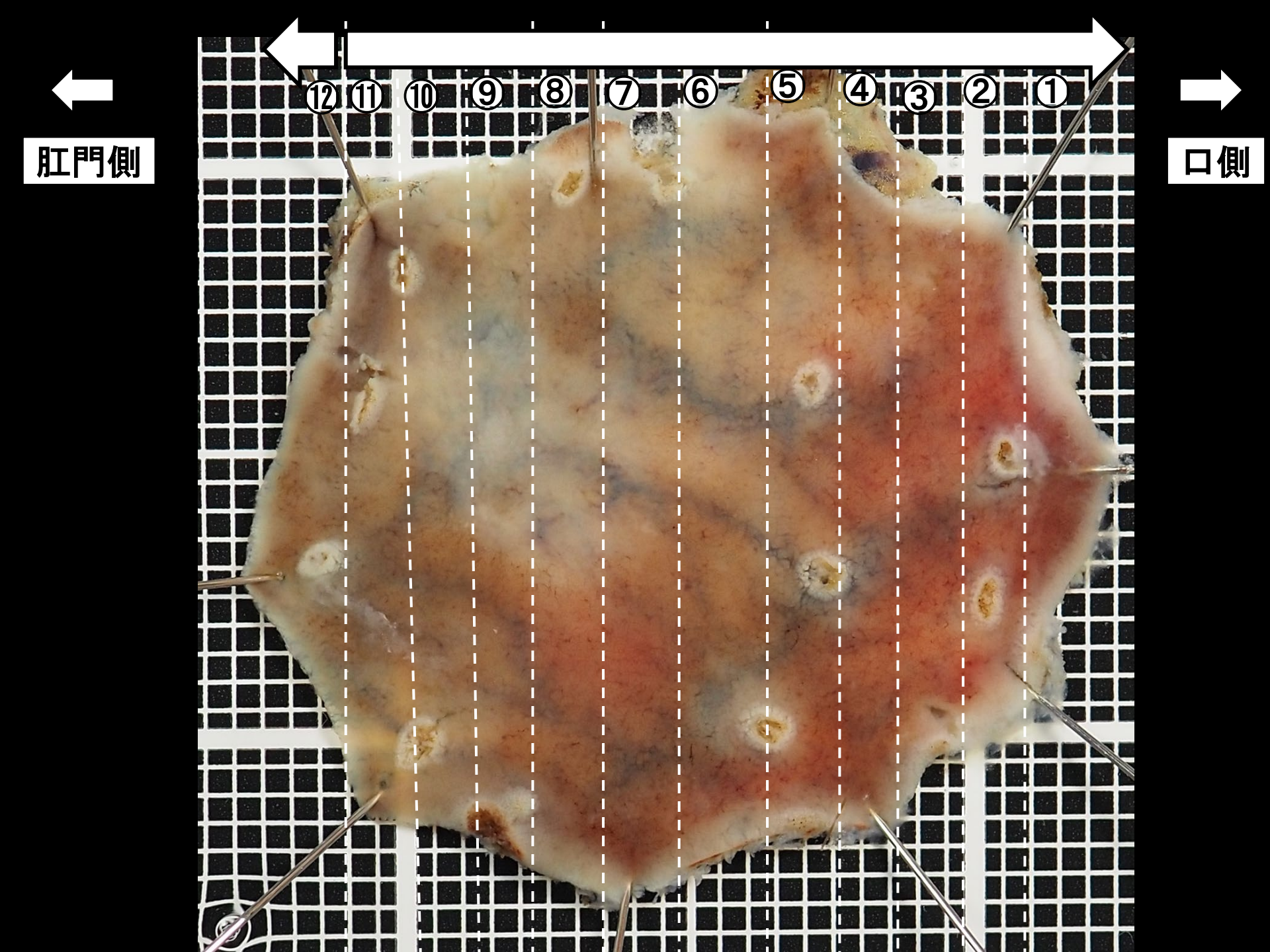


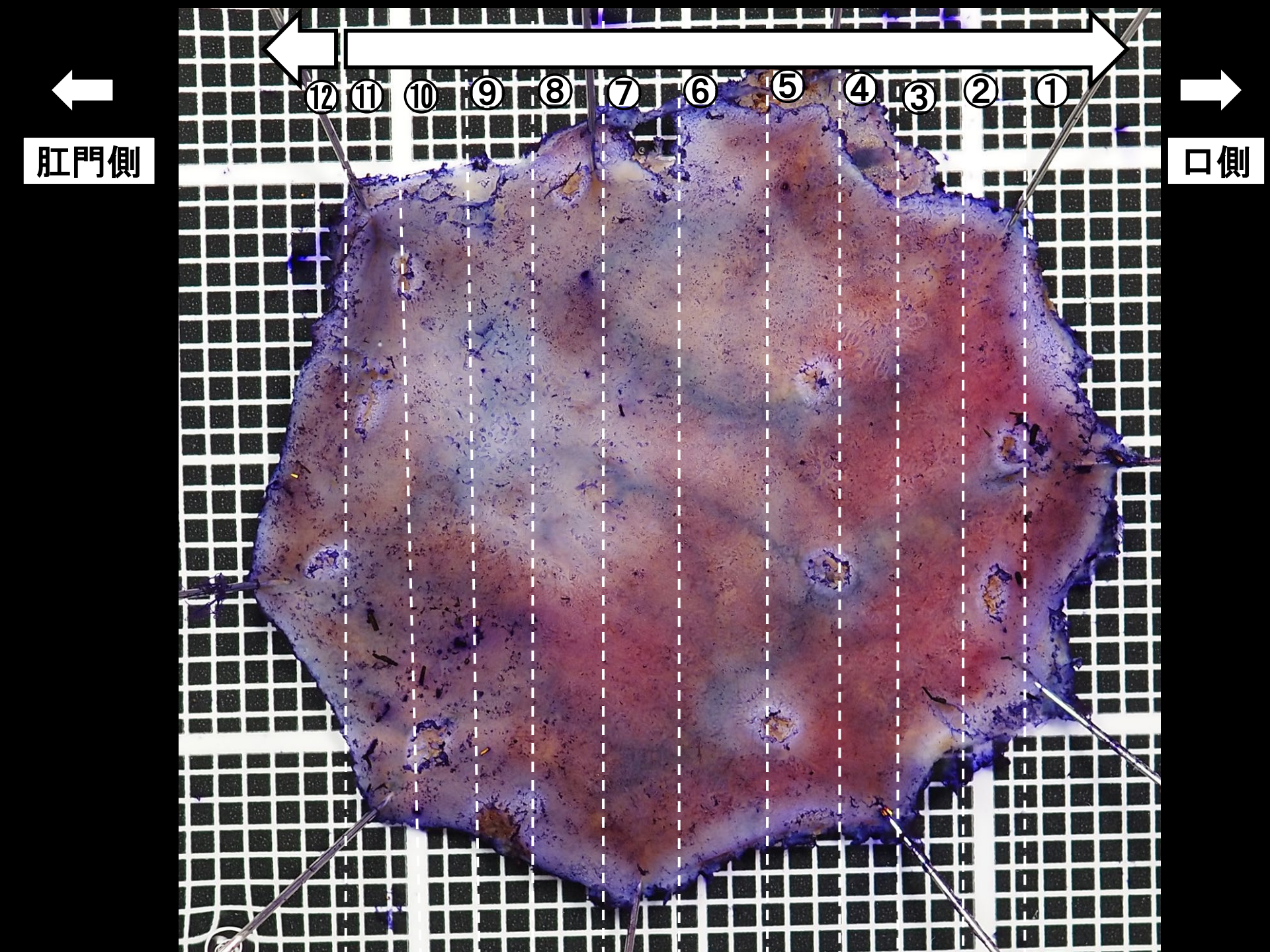

肛門側
口側

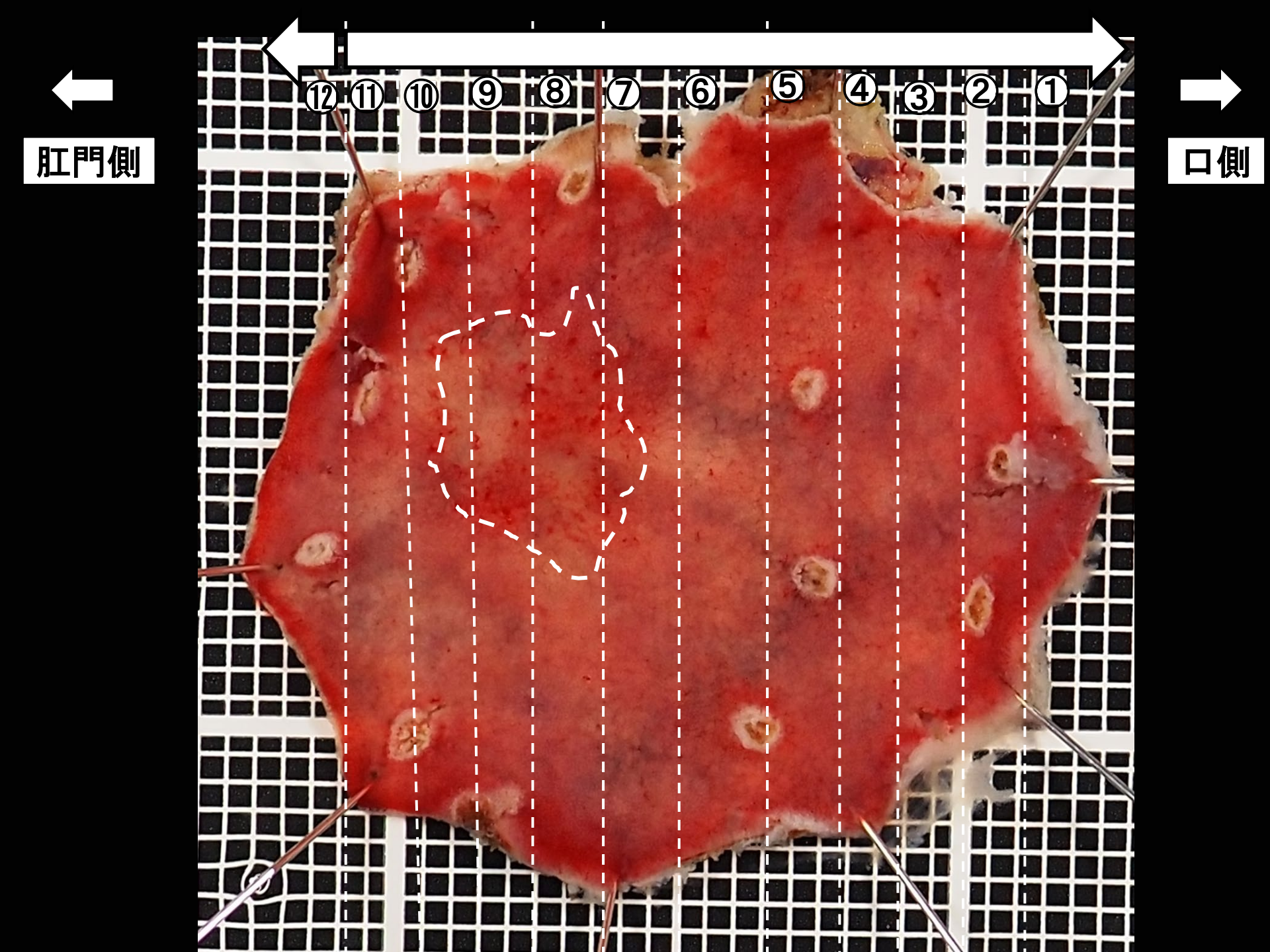

肛門側
口側

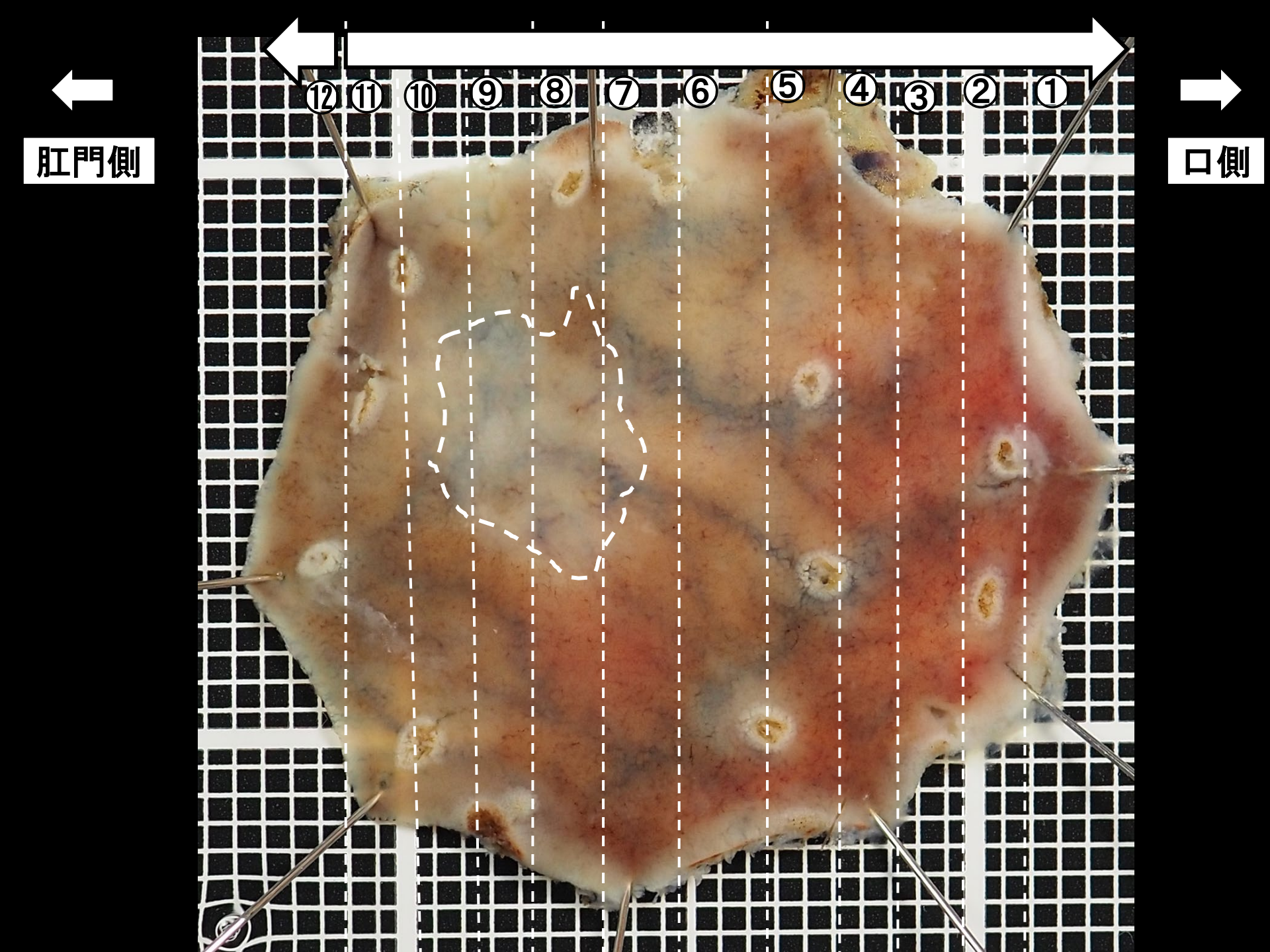

肛門側
口側

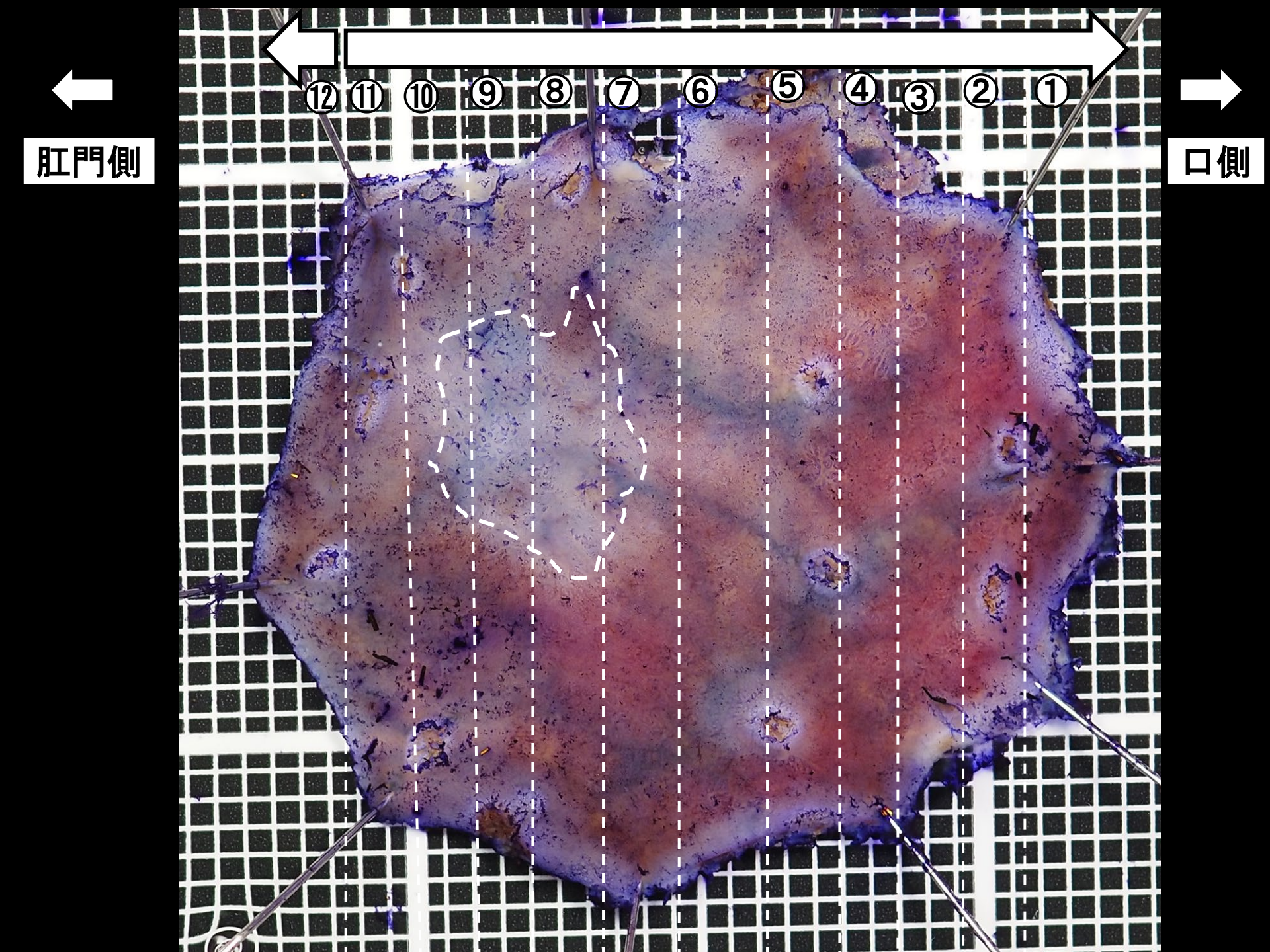

肛門側
口側
⑫
⑪
⑩
⑨
⑧
⑦
⑥
⑤
④
③
②
①


肛門側
口側
⑫
⑪
⑩
⑨
⑧
⑦
⑥
⑤
④
③
②
①

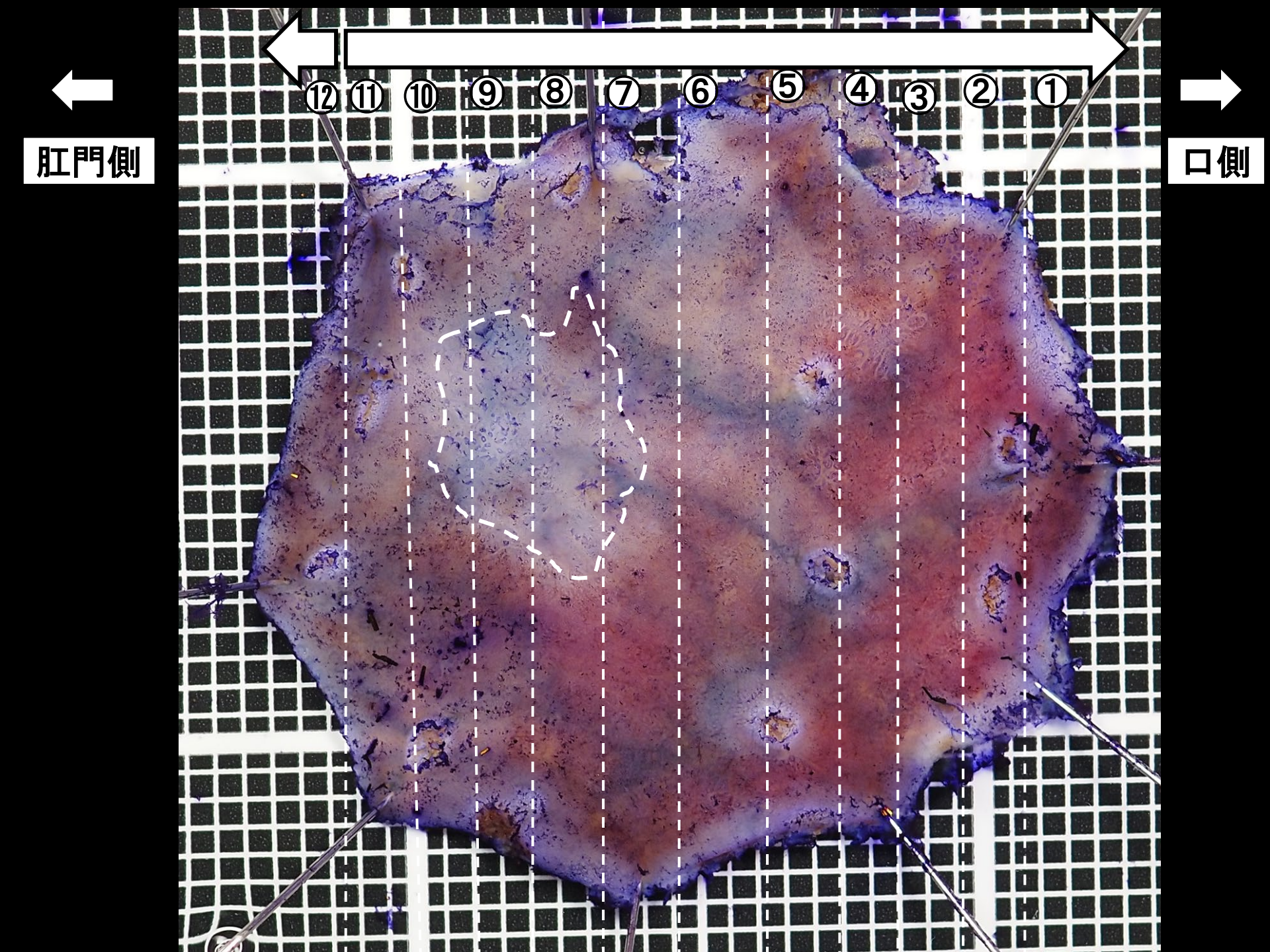

肛門側
口側
⑫
⑪
⑩
⑨
⑧
⑦
⑥
⑤
④
③
②
①

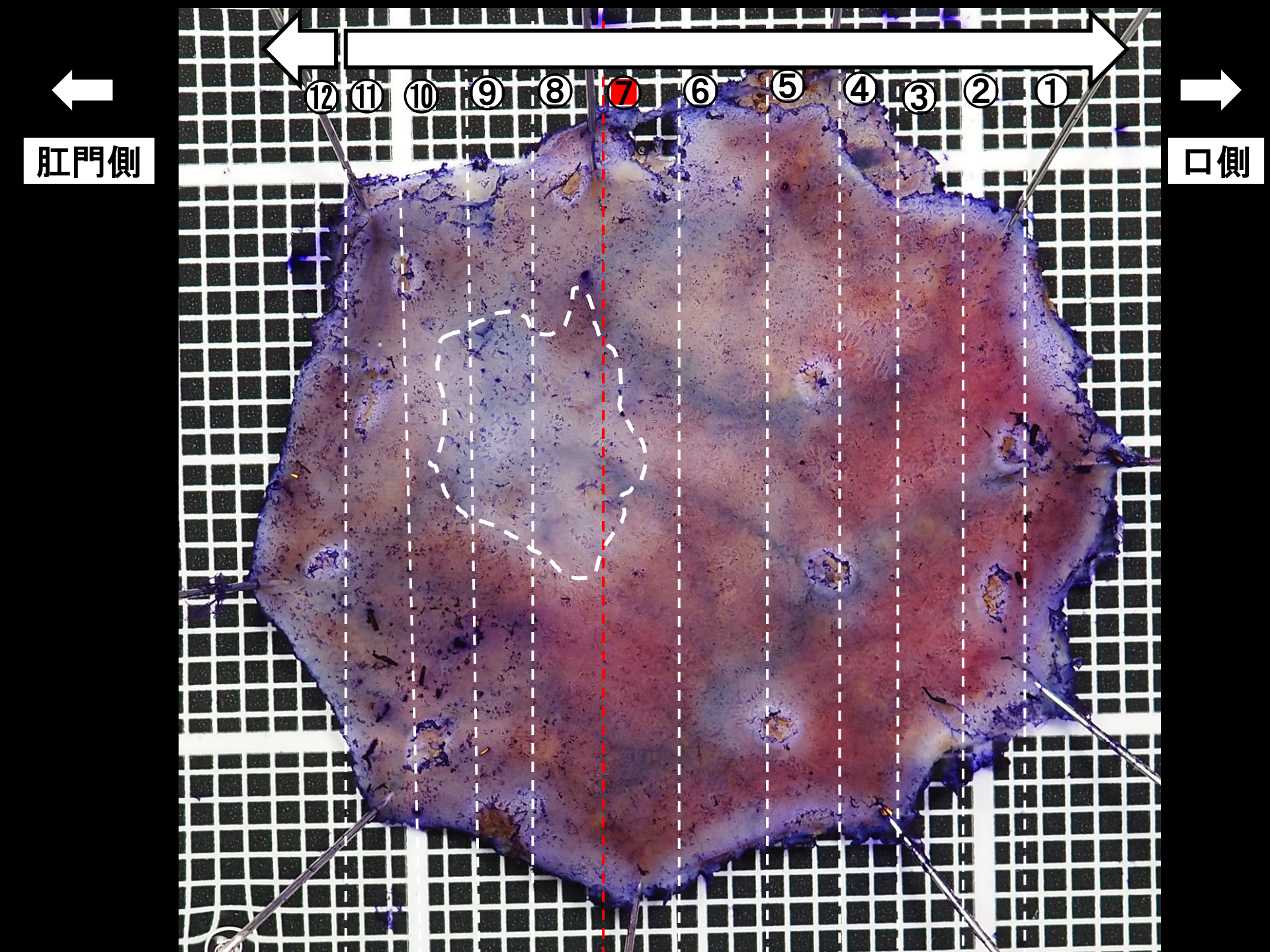

肛門側
口側
⑫
⑪
⑩
⑨
⑧
⑦
⑥
⑤
④
③
②
①

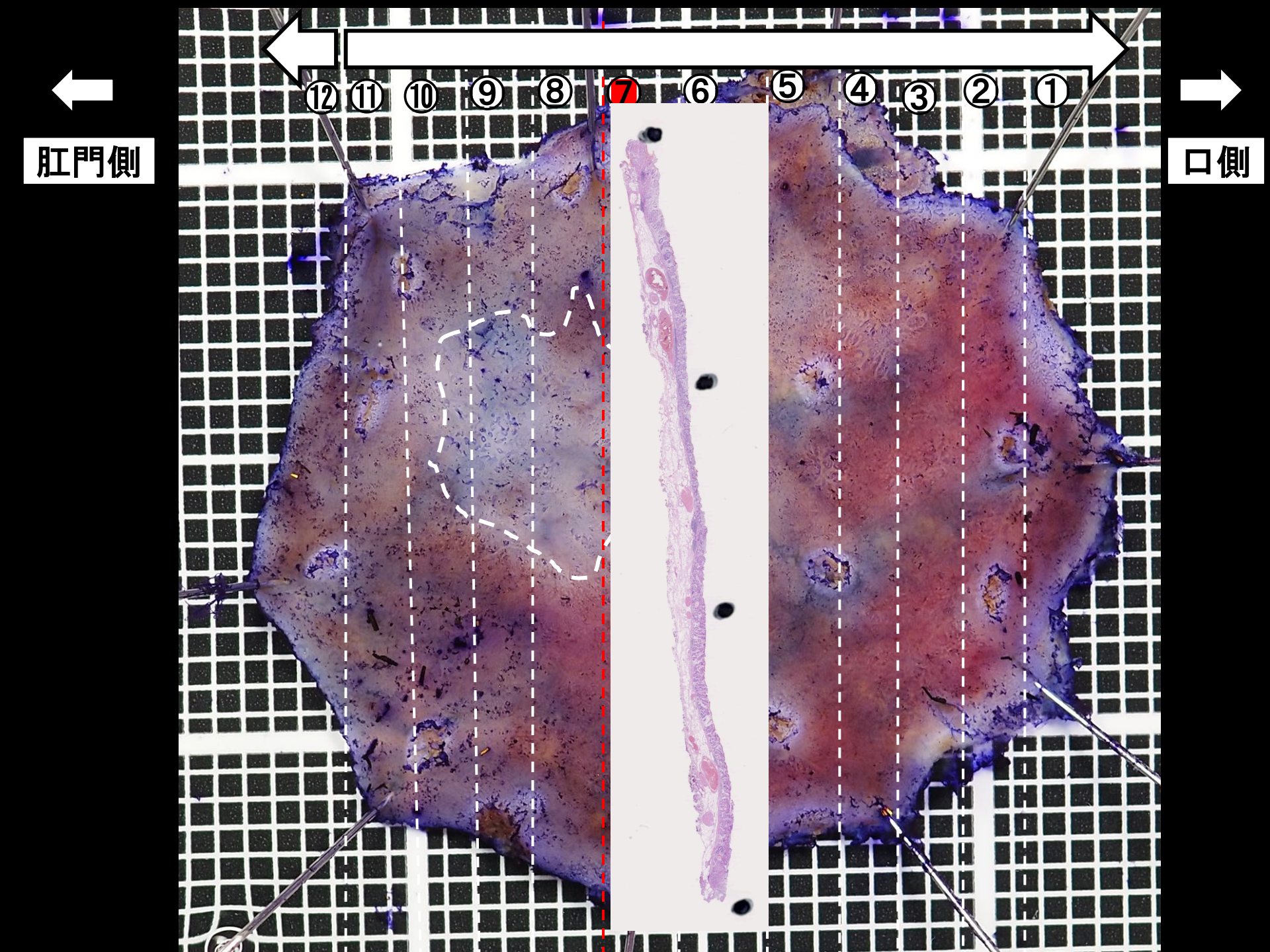

肛門側
口側
⑫
⑪
⑩
⑨
⑧
⑦
⑥
⑤
④
③
②
①

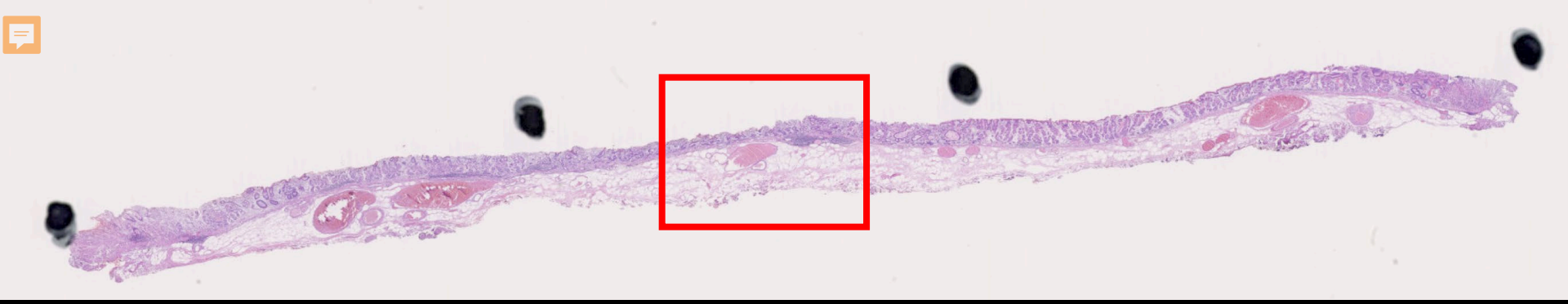

肛門側
口側
⑫
⑪
⑩
⑨
⑧
⑦
⑥
⑤
④
③
②
①

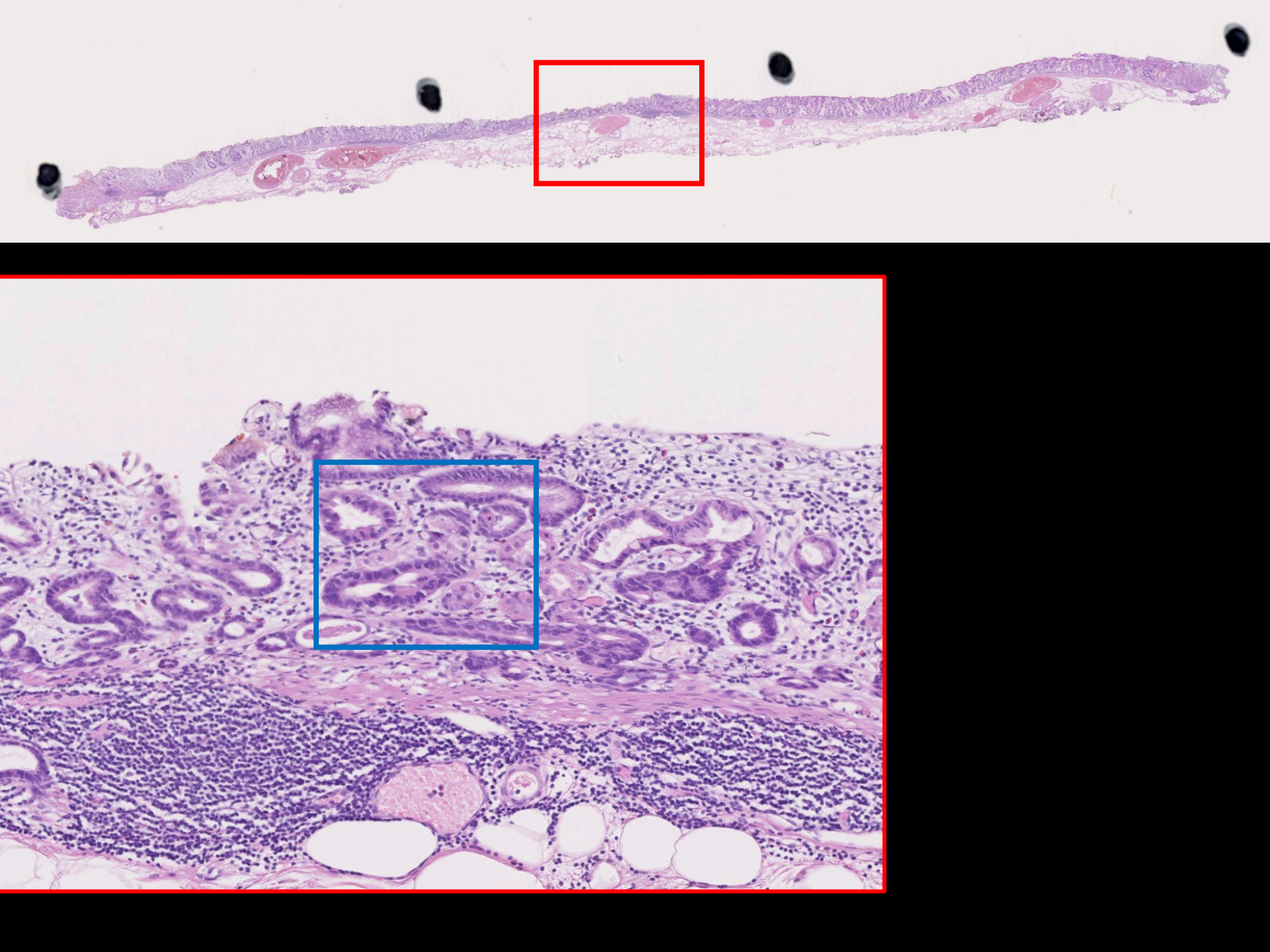
Key Slice

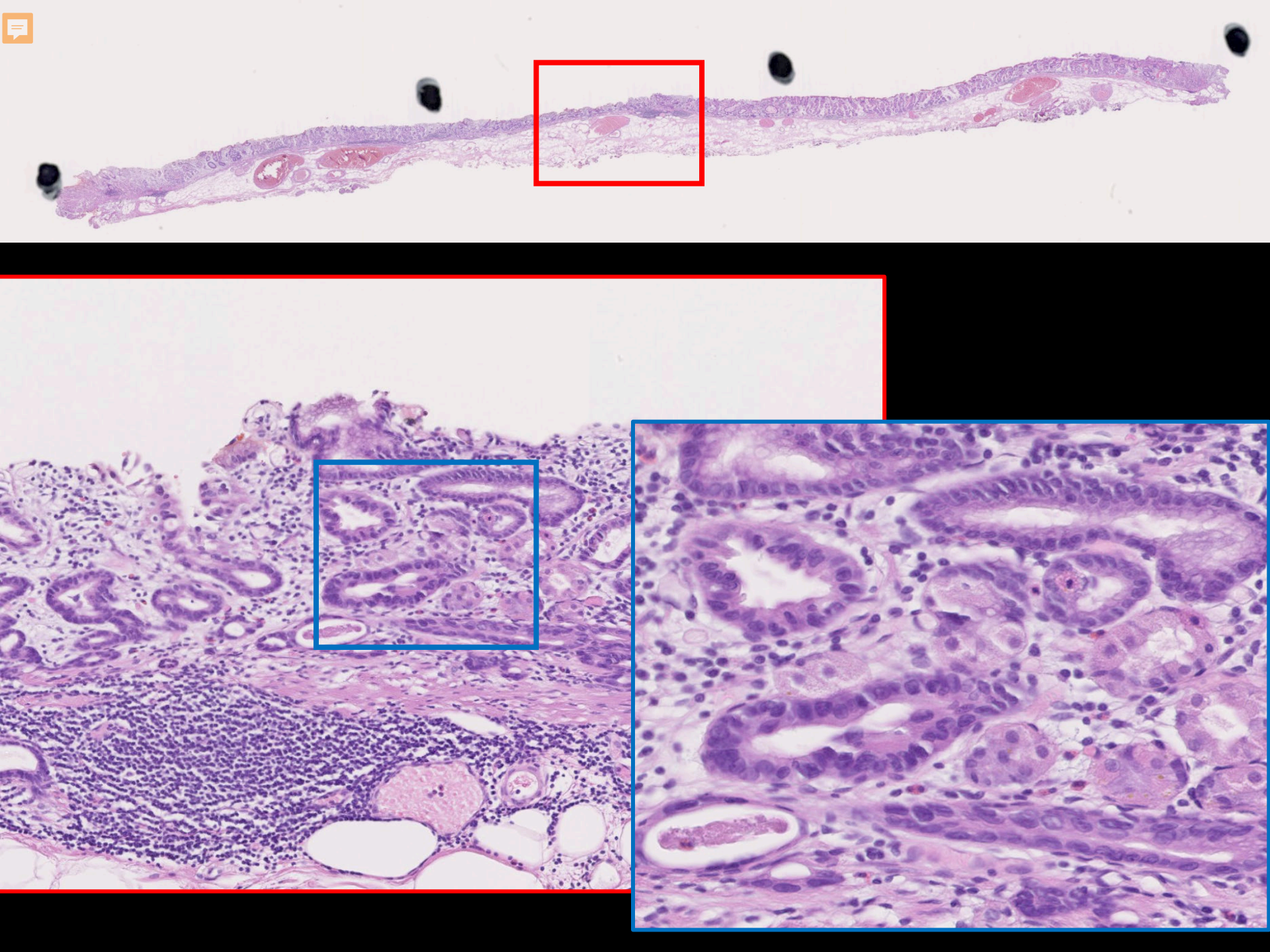

肛門側
口側
⑫
⑪
⑩
⑨
⑧
⑦
⑥
⑤
④
③
②
①

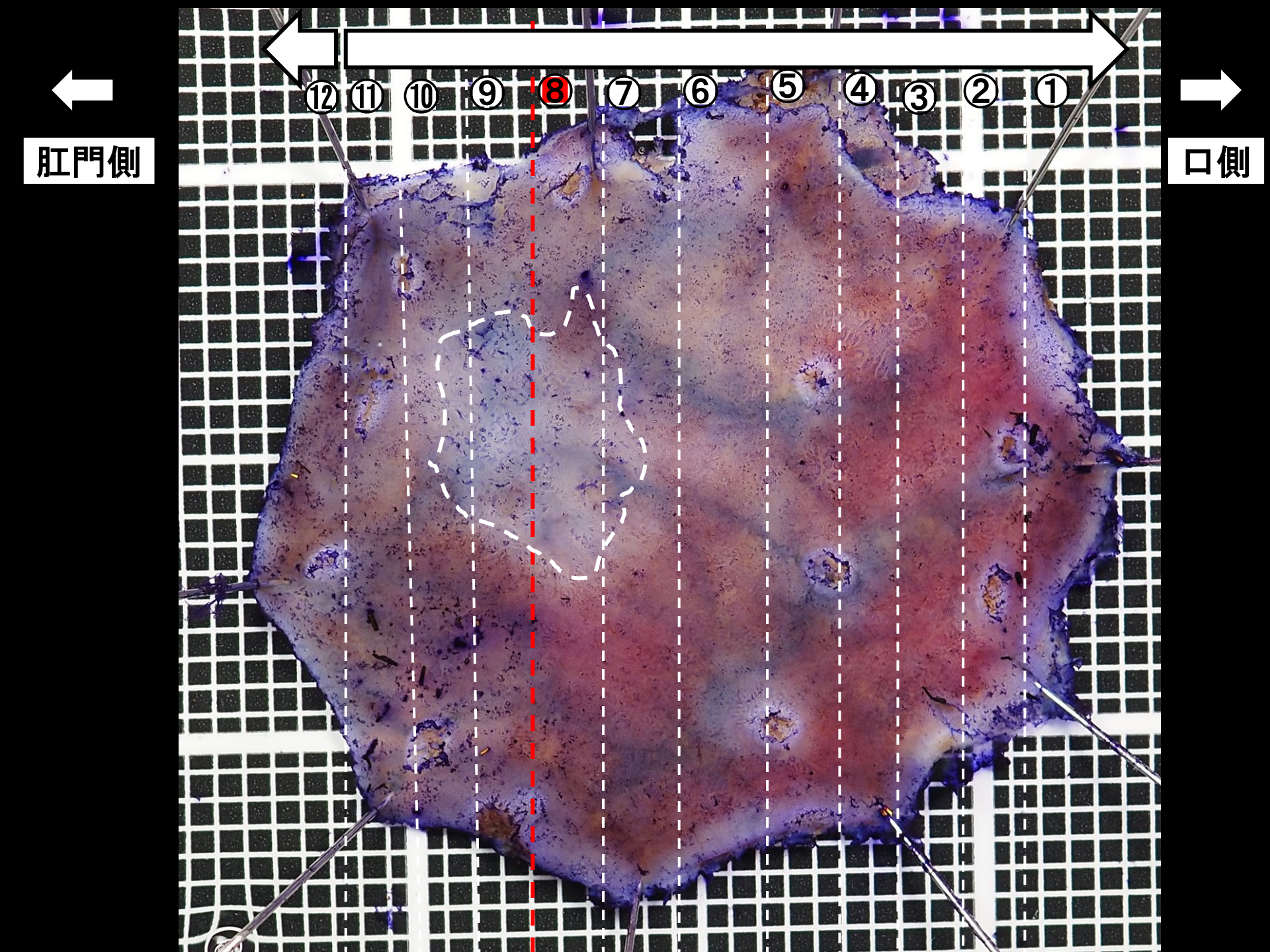

肛門側
口側
⑫
⑪
⑩
⑨
⑧
⑦
⑥
⑤
④
③
②
①

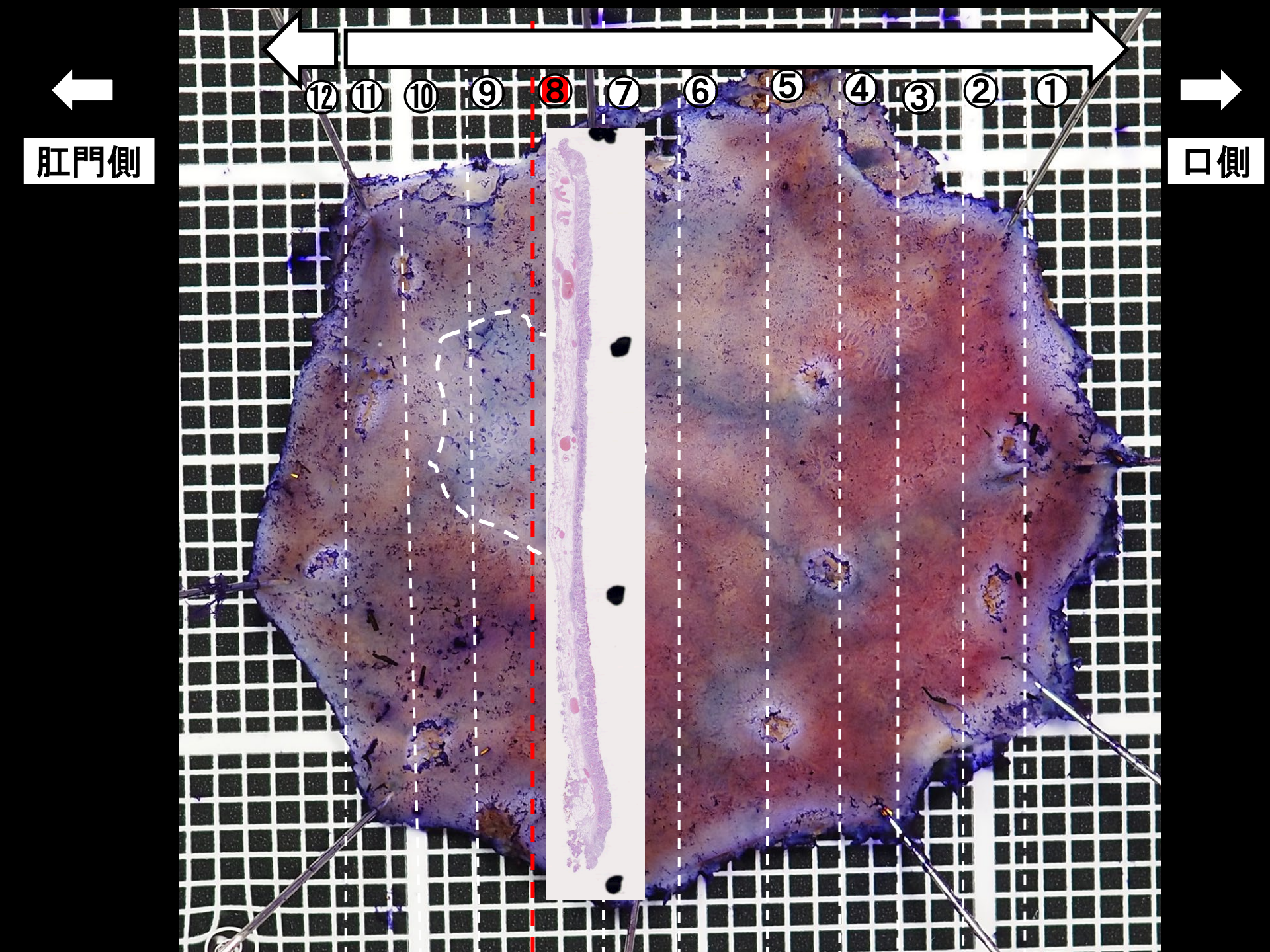

肛門側
口側
⑫
⑪
⑩
⑨
⑧
⑦
⑥
⑤
④
③
②
①

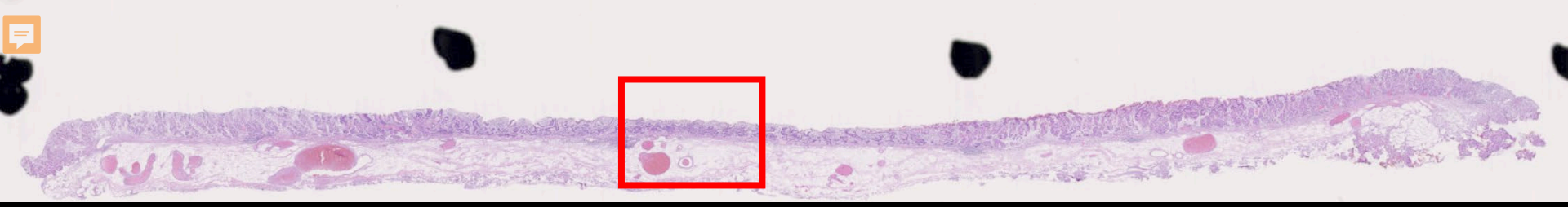


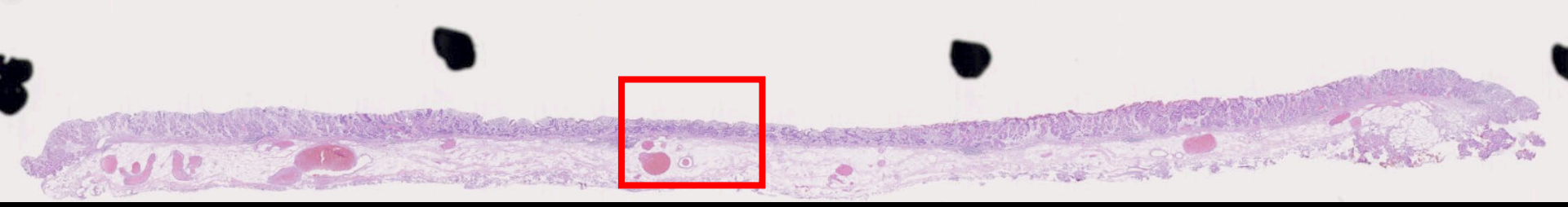


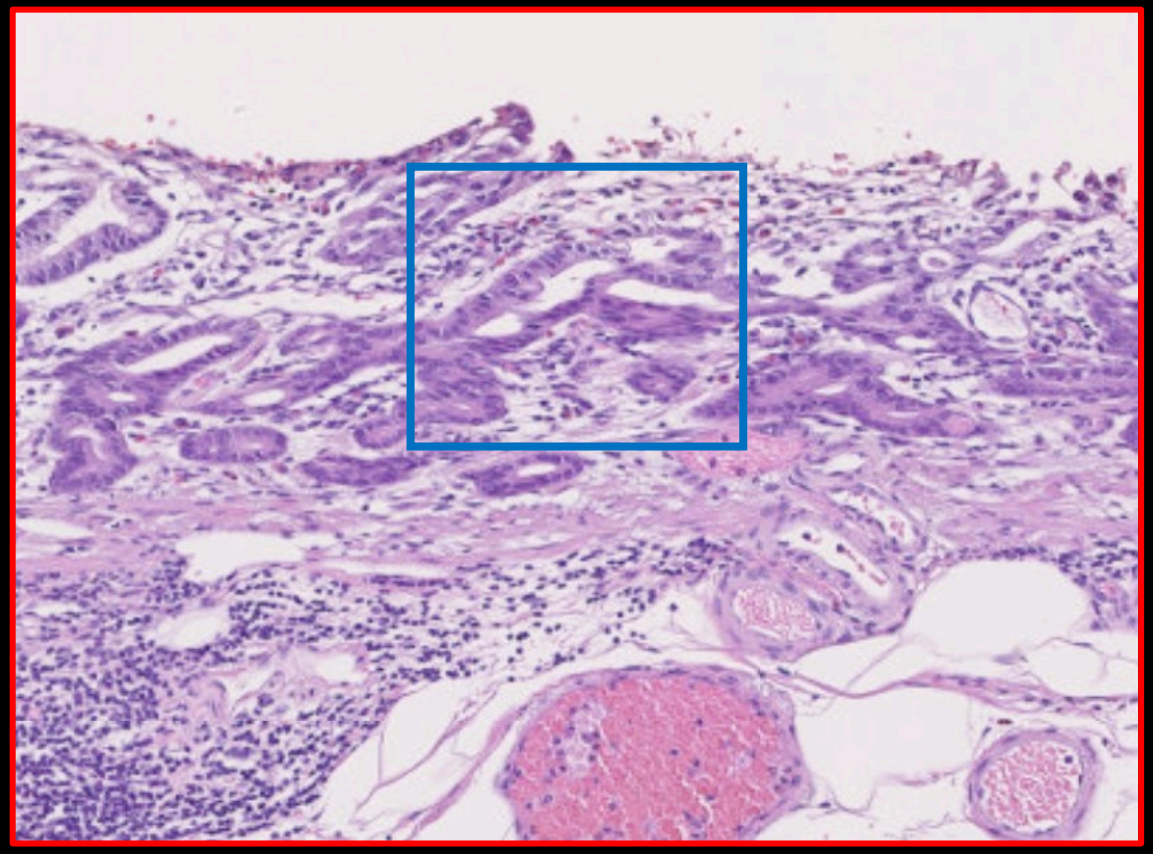


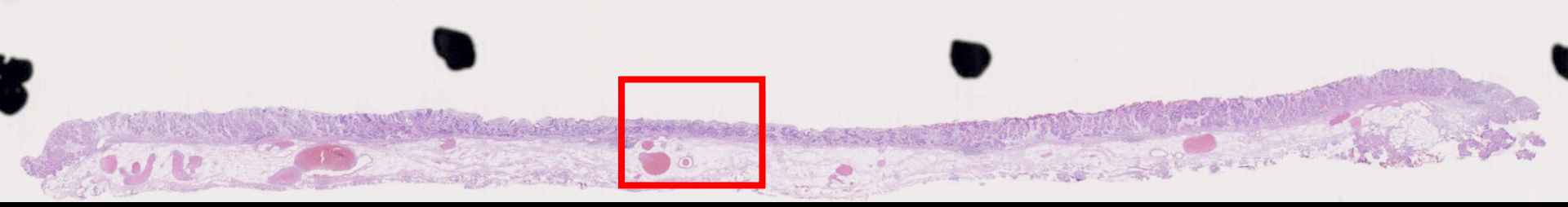

肛門側
口側
⑫ ⑪ ⑩ ⑨ ⑧ ⑦ ⑥ ⑤ ④ ③ ② ①

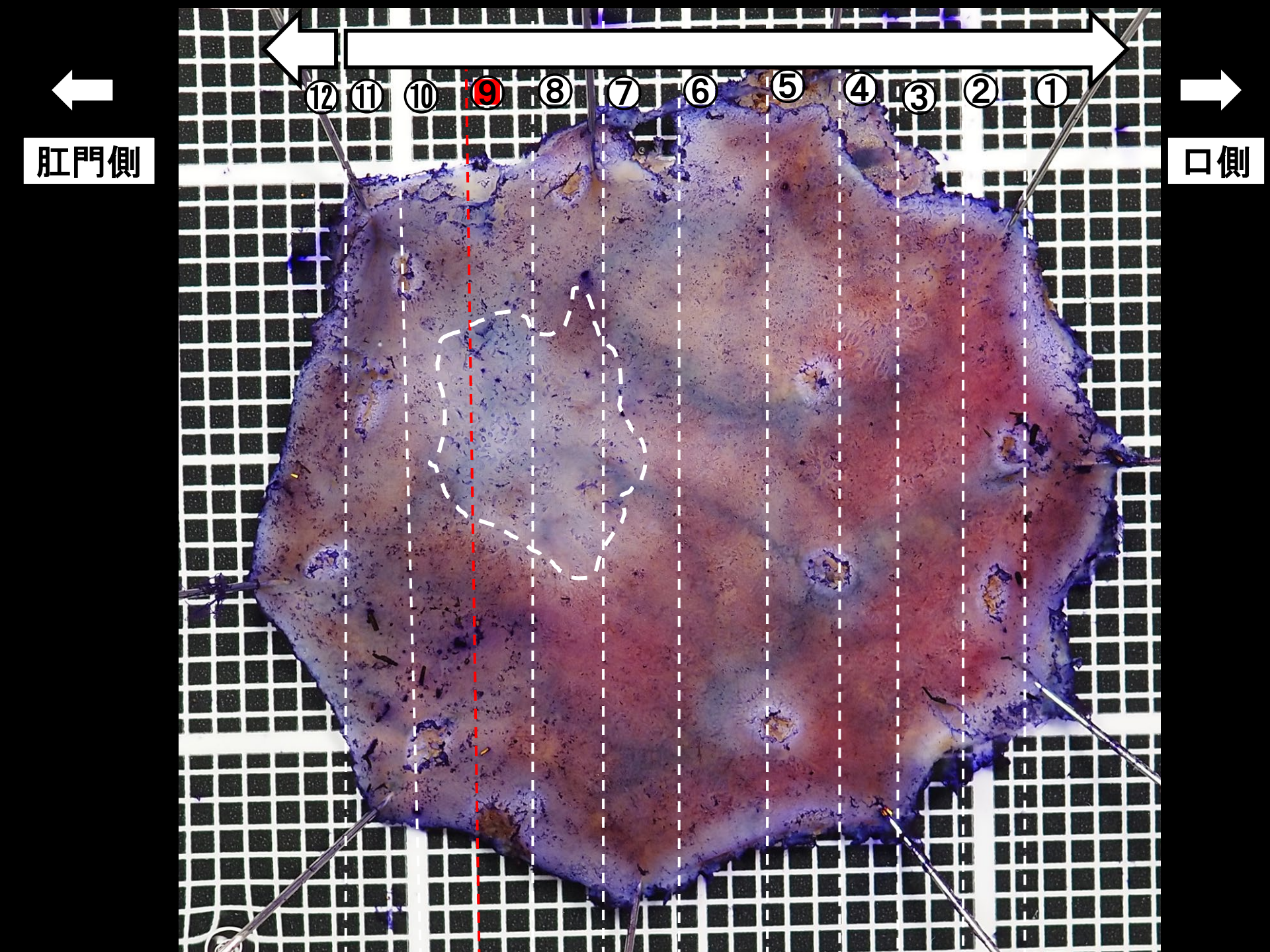

肛門側
口側
⑫ ⑪ ⑩ ⑨ ⑧ ⑦ ⑥ ⑤ ④ ③ ② ①

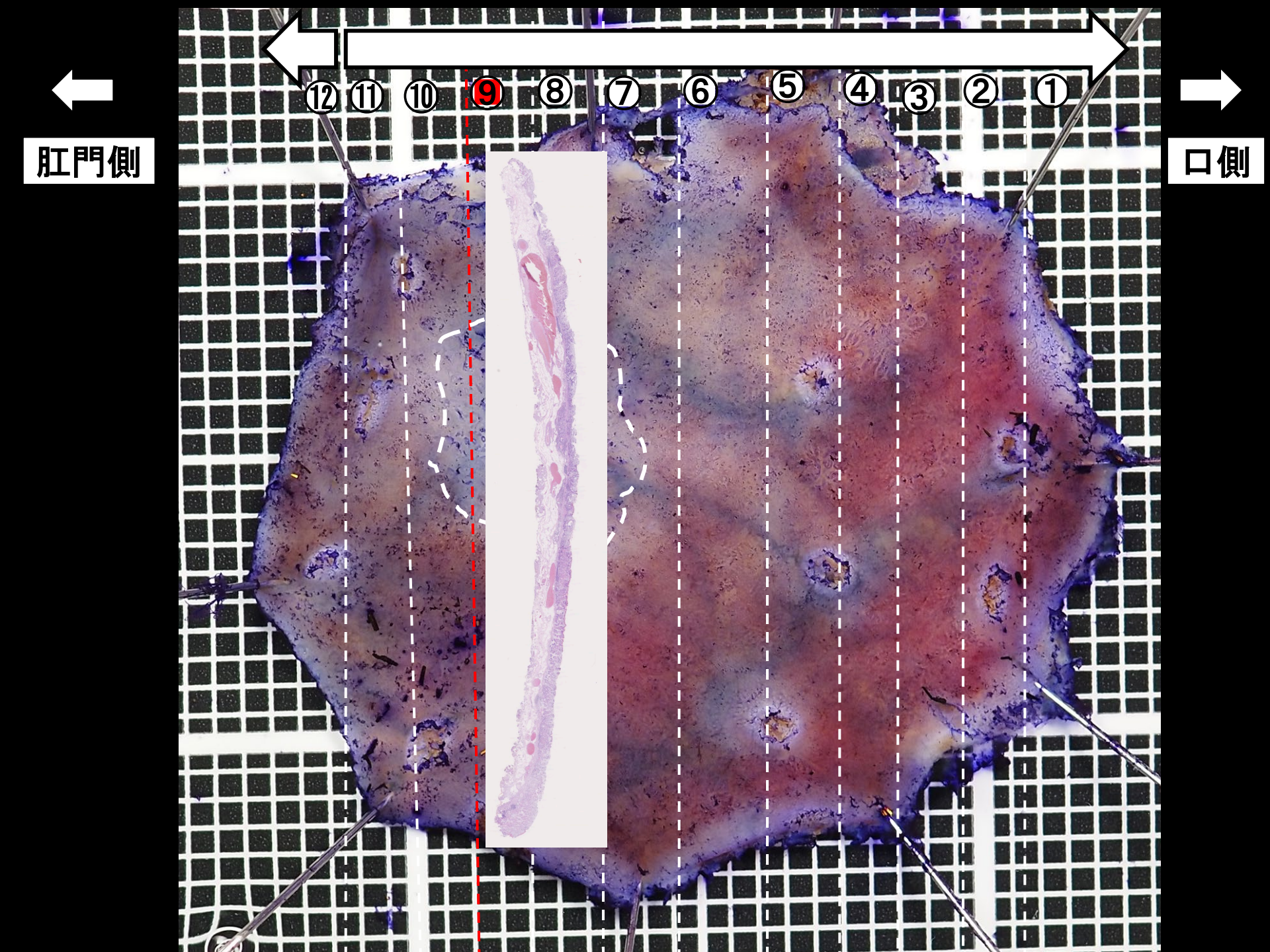


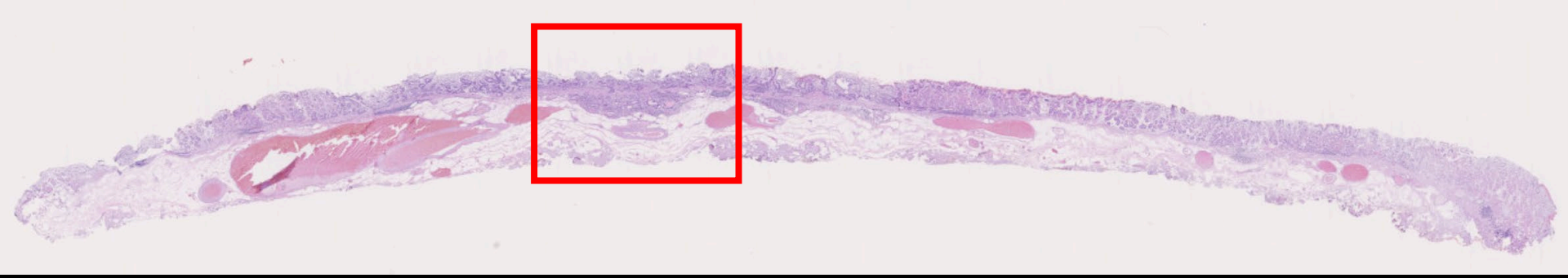


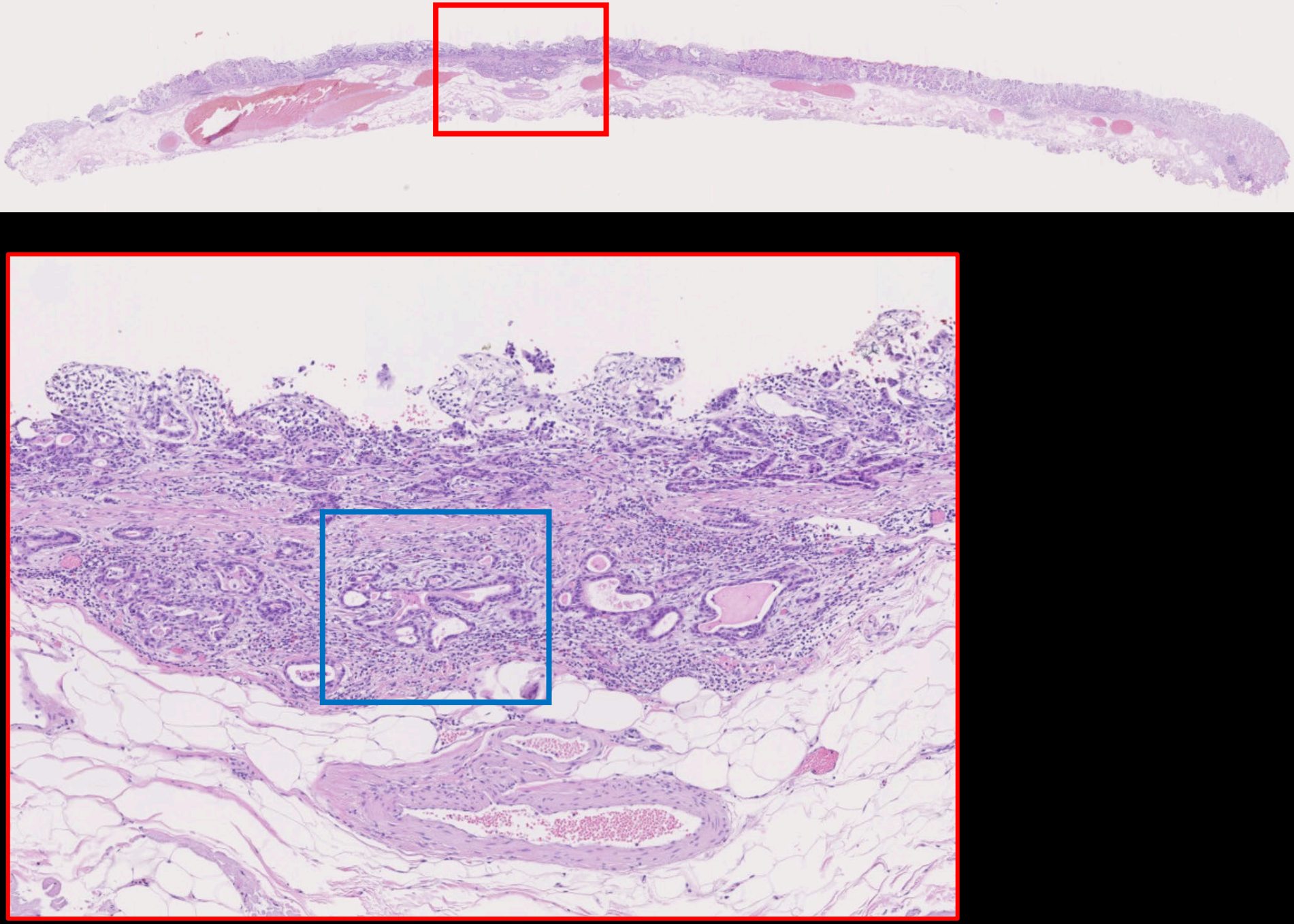


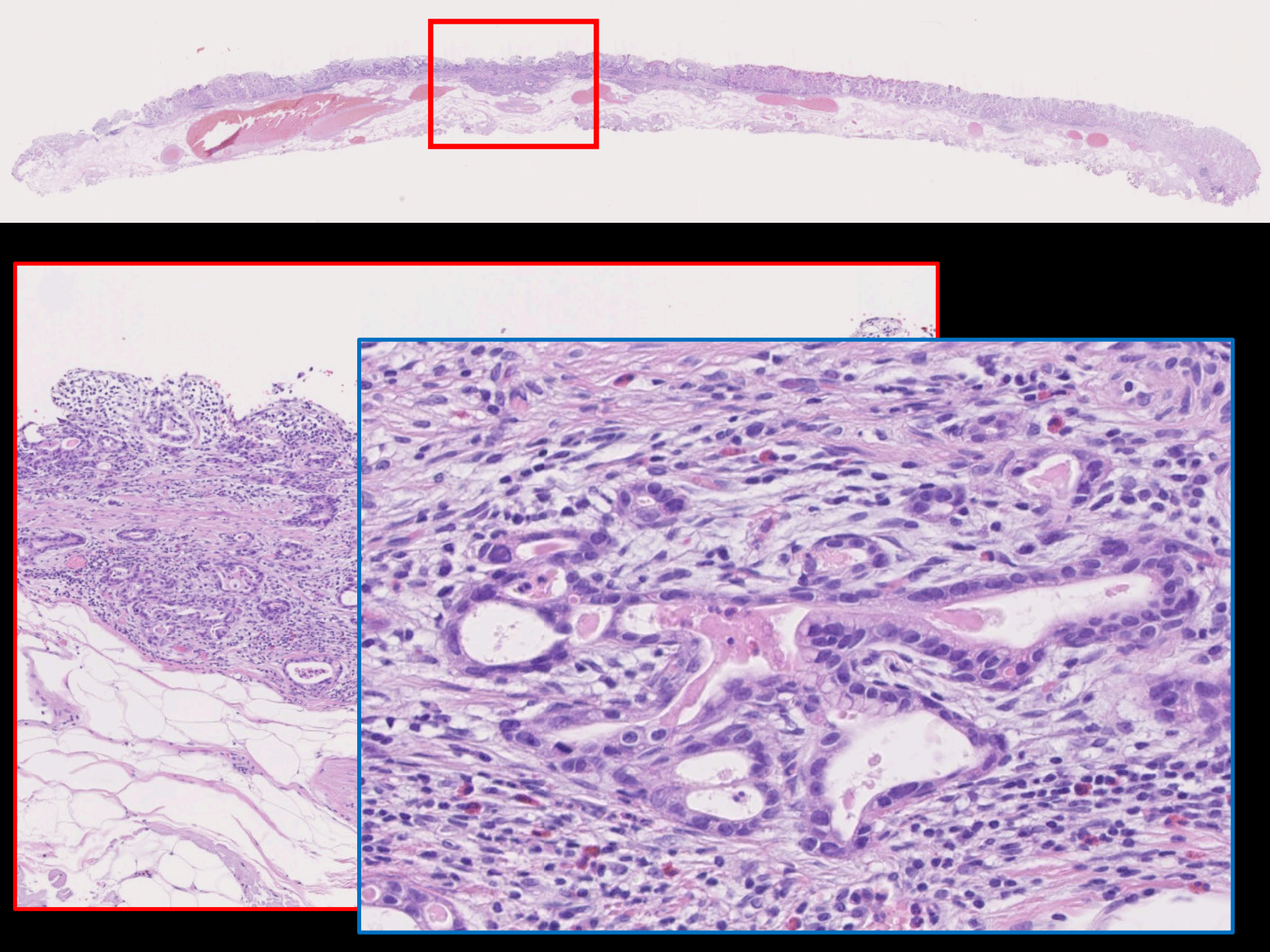


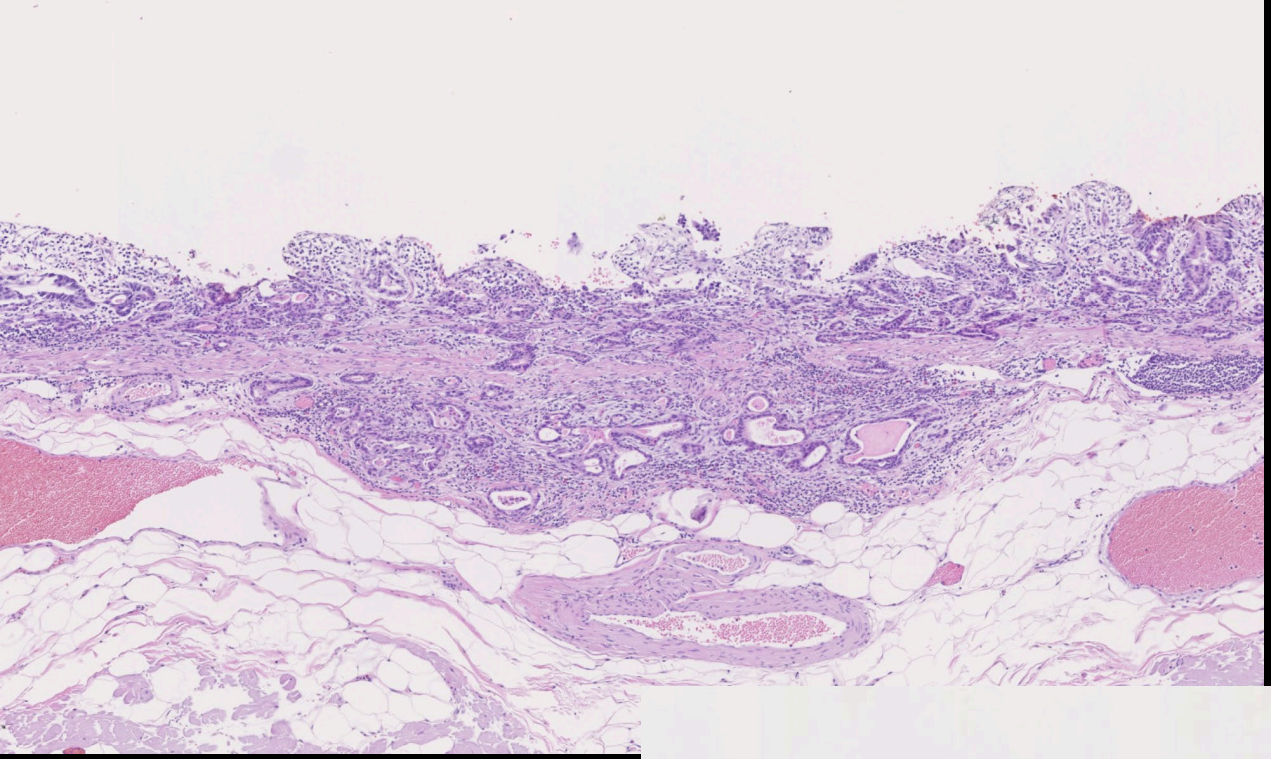

肛門側
口側
⑫
⑪
⑩
⑨
⑧
⑦
⑥
⑤
④
③
②
①


肛門側
口側
⑫
⑪
⑩
⑨
⑧
⑦
⑥
⑤
④
③
②
①

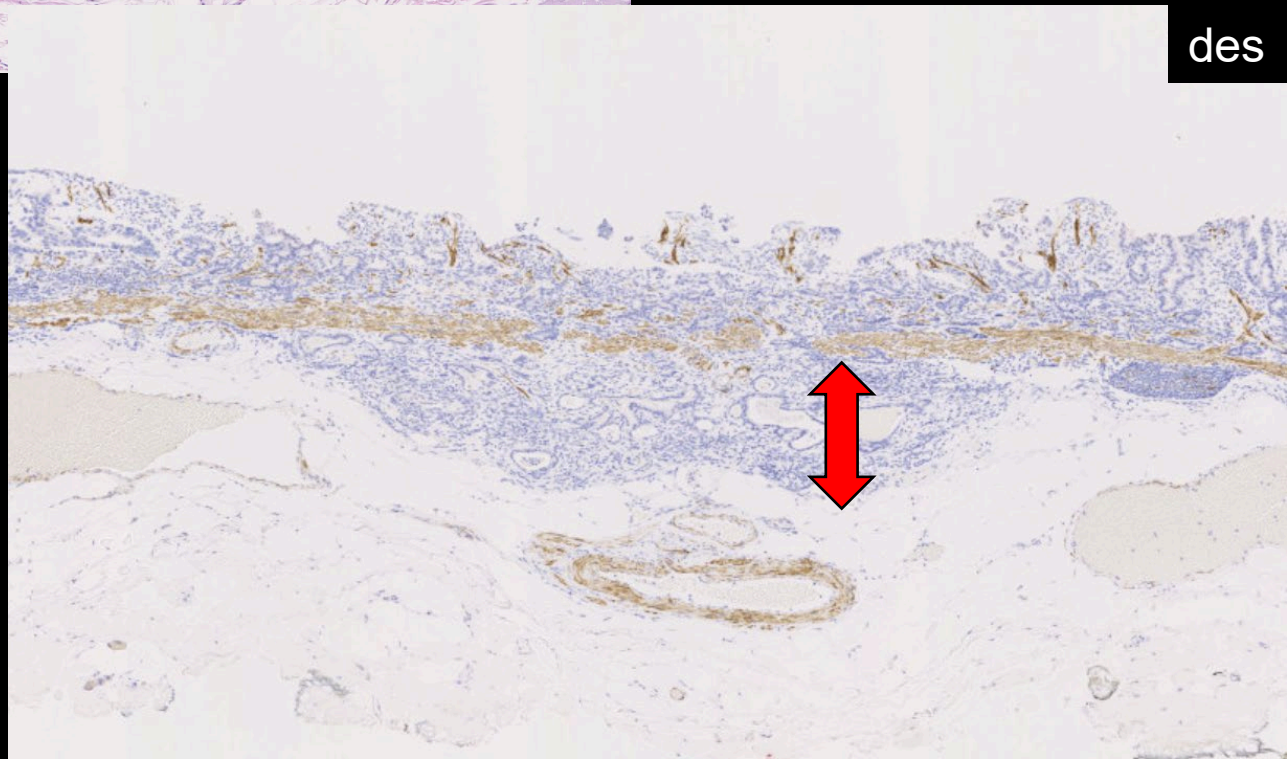


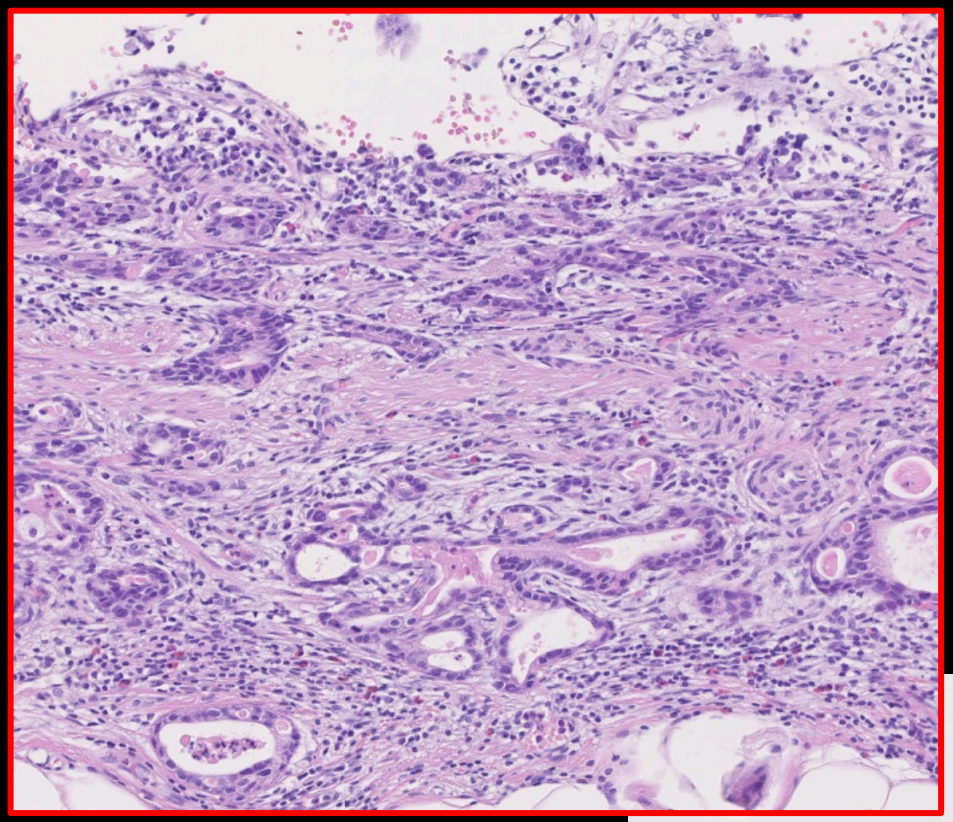


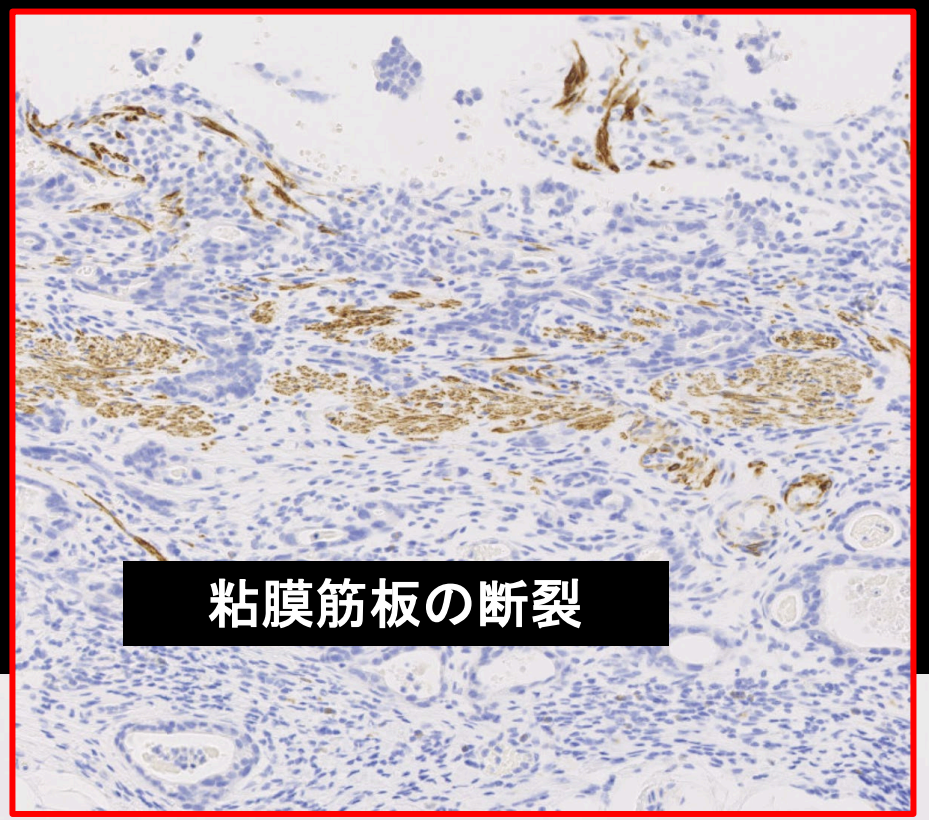


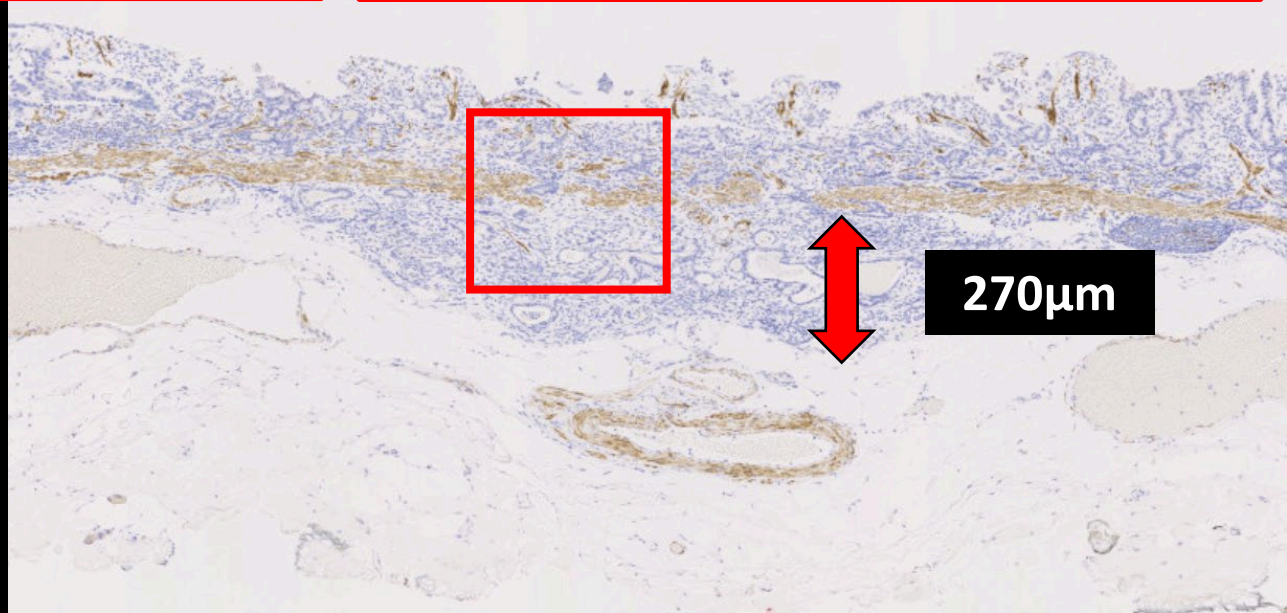


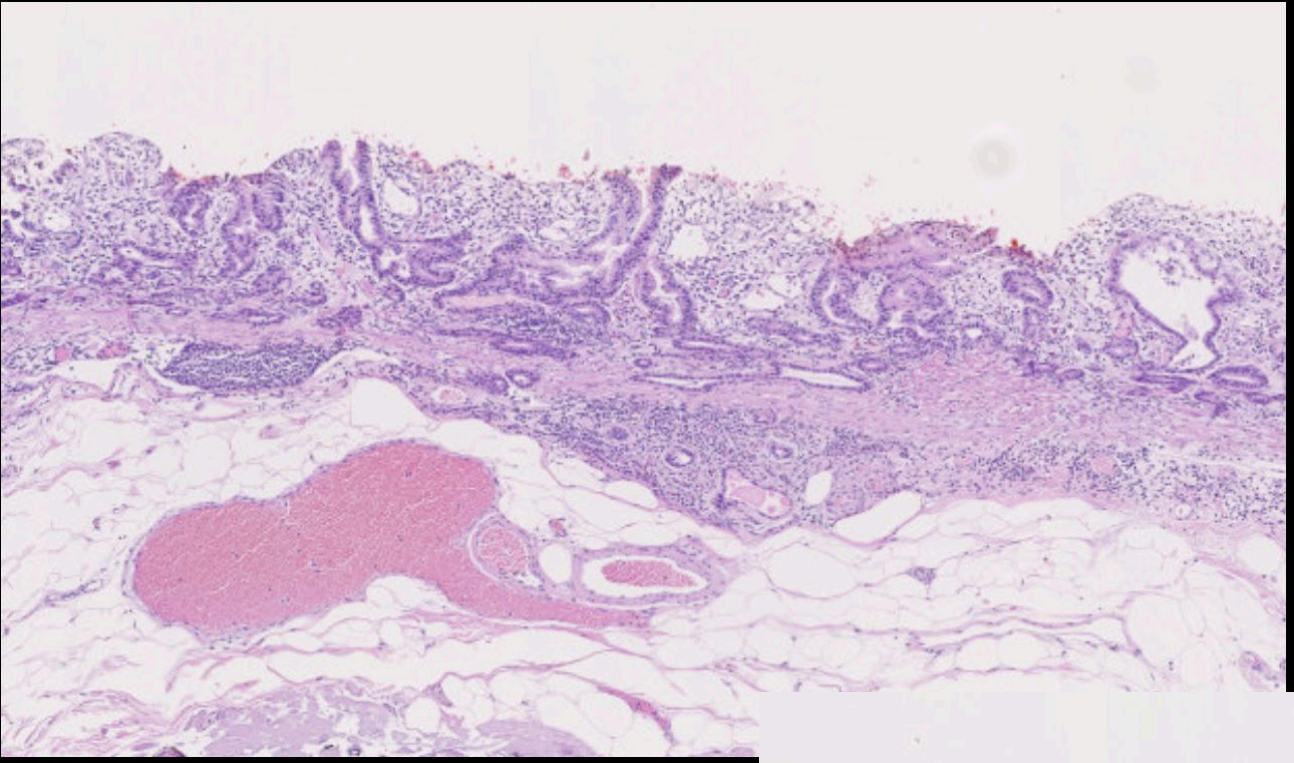
des



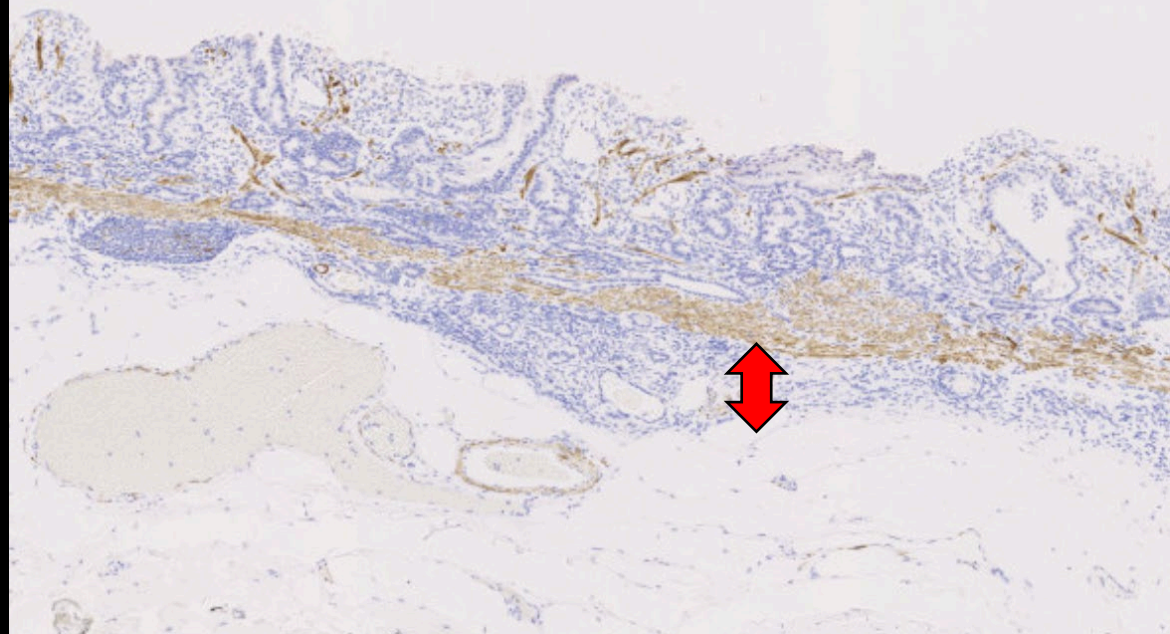


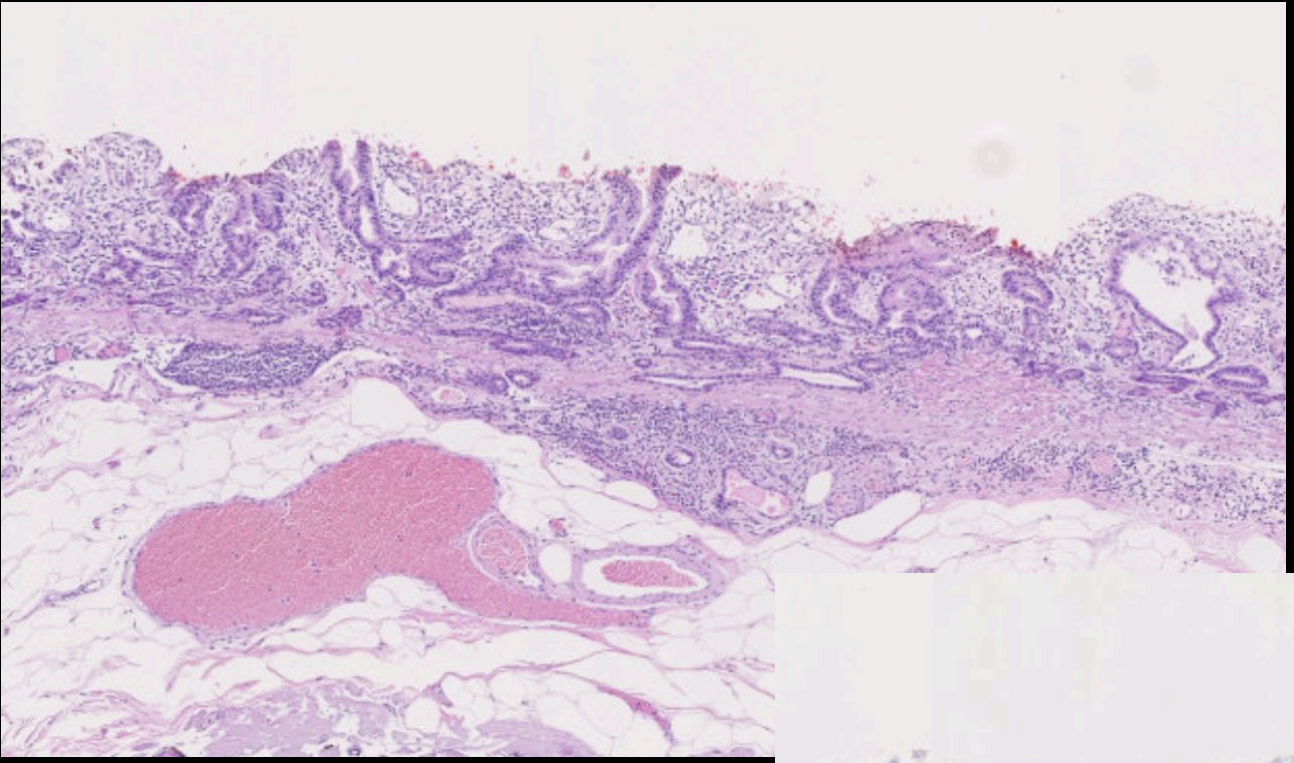

粘膜筋板の断裂


270µm

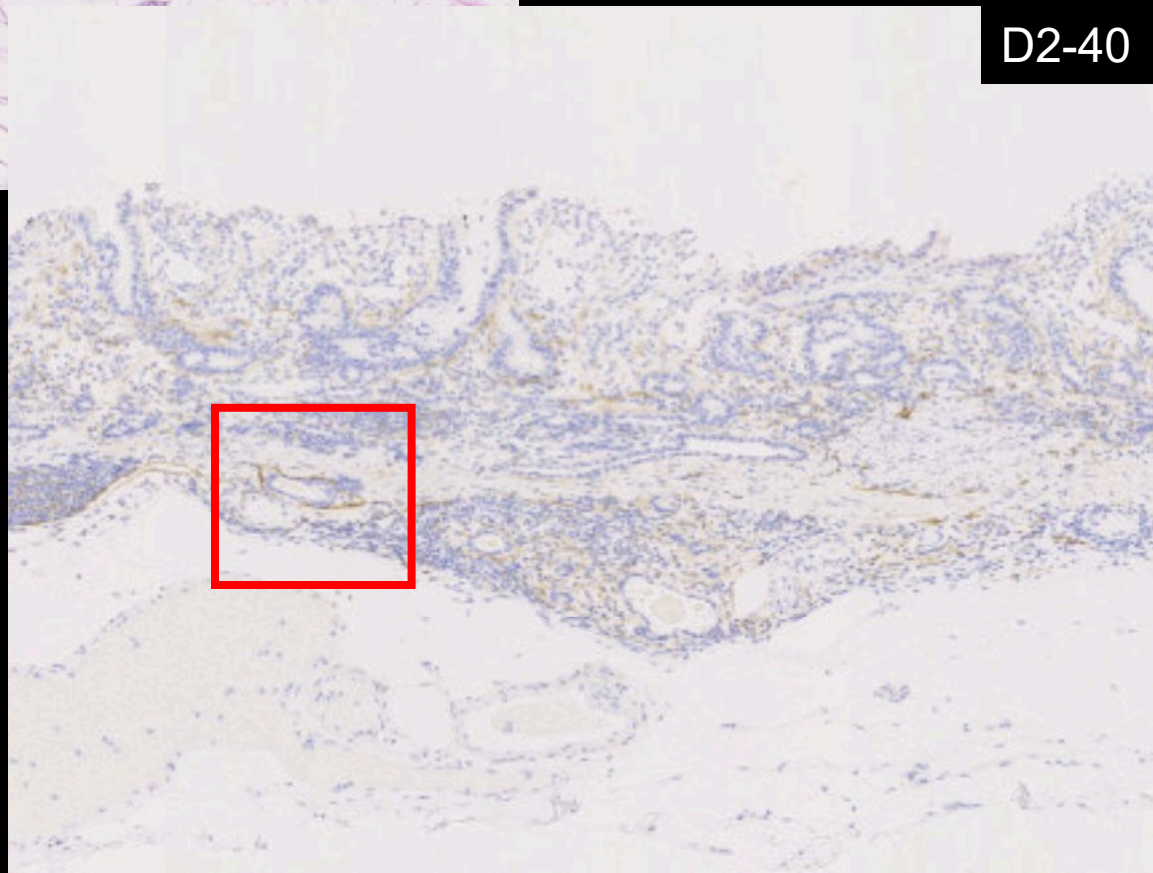


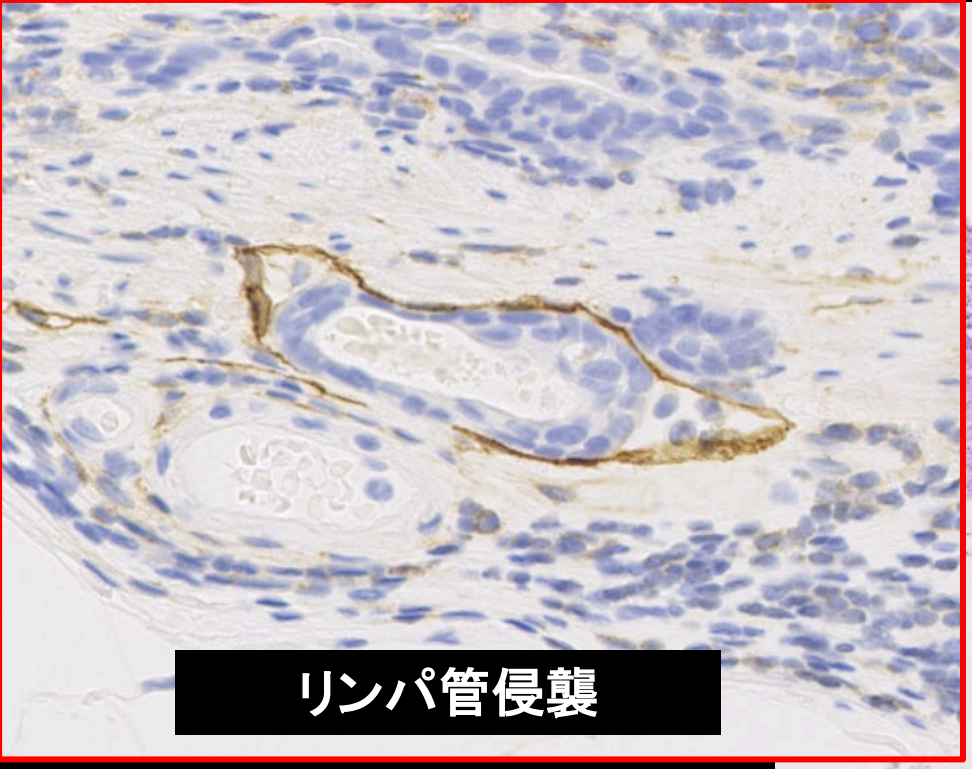
des

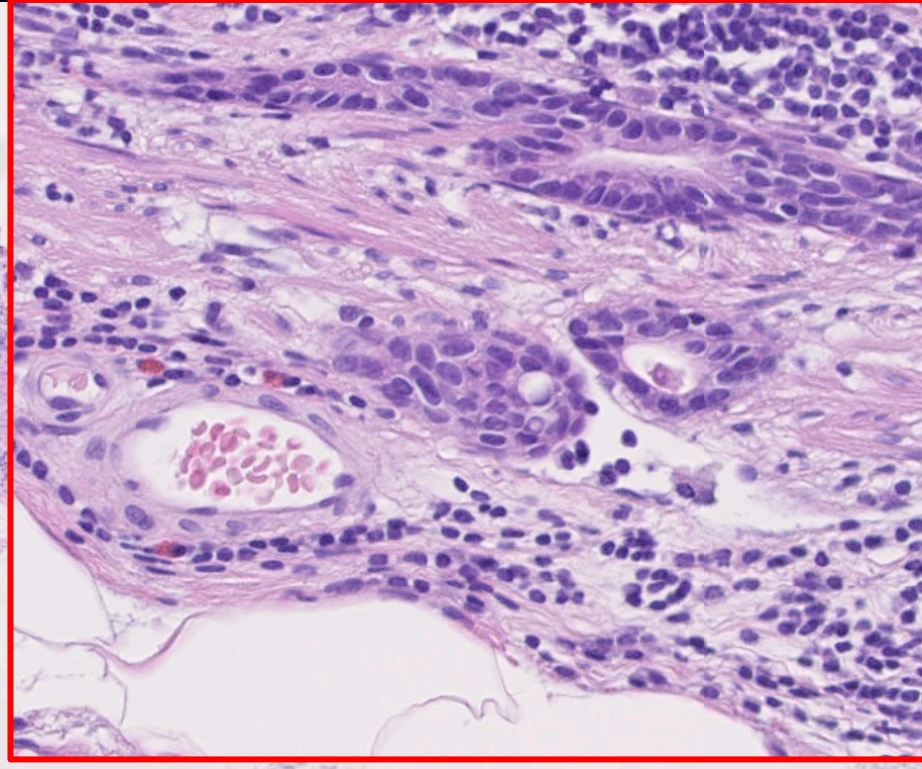


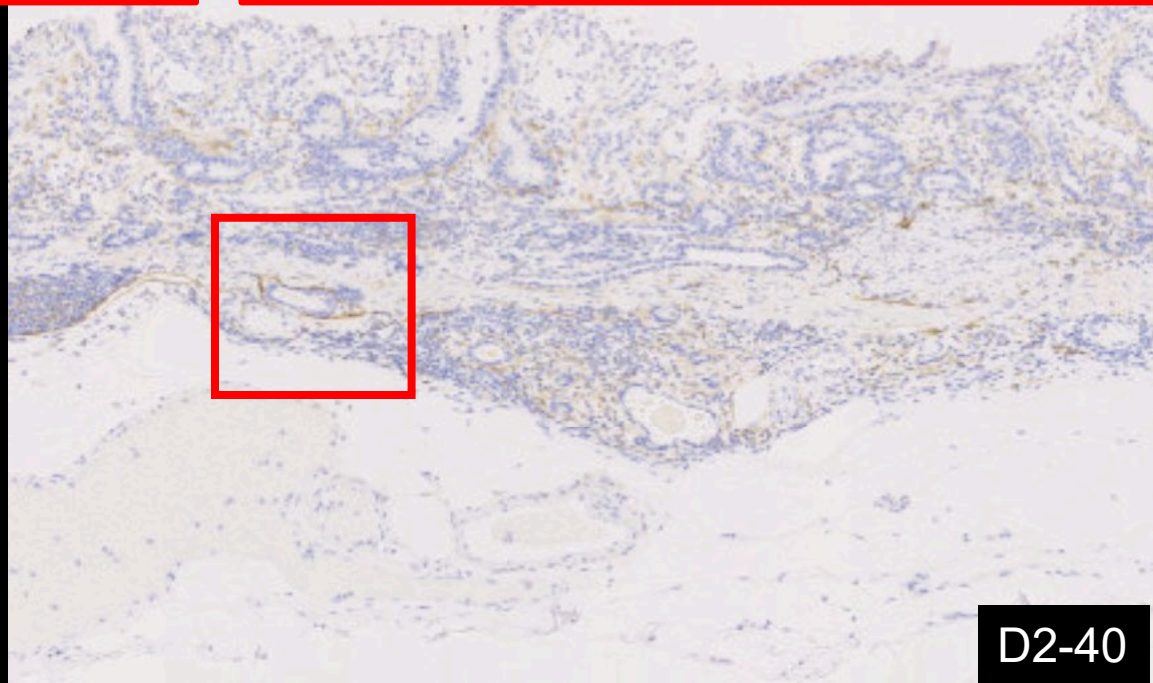


D2-40




リンパ管侵襲




D2-40

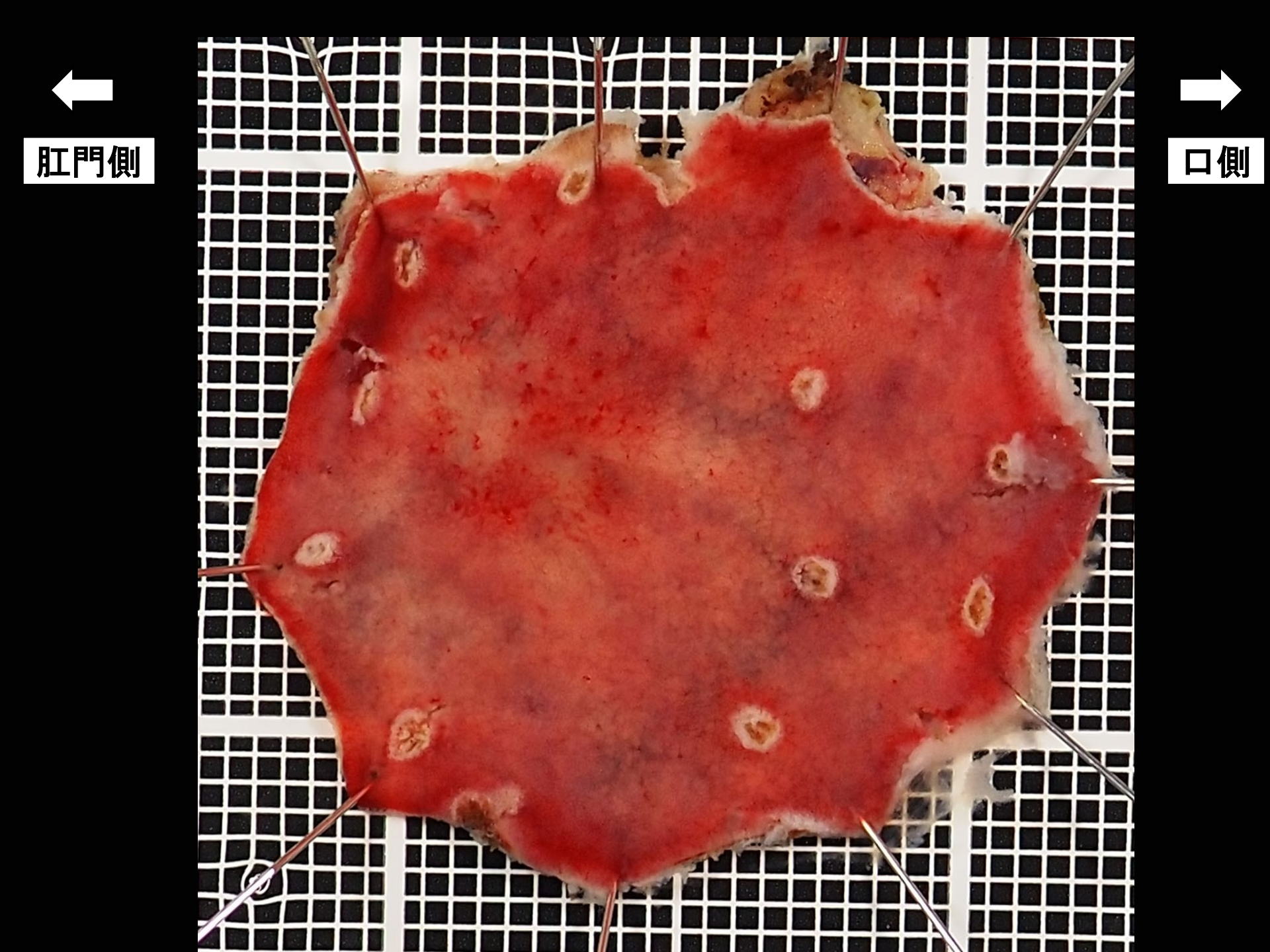
病理診断

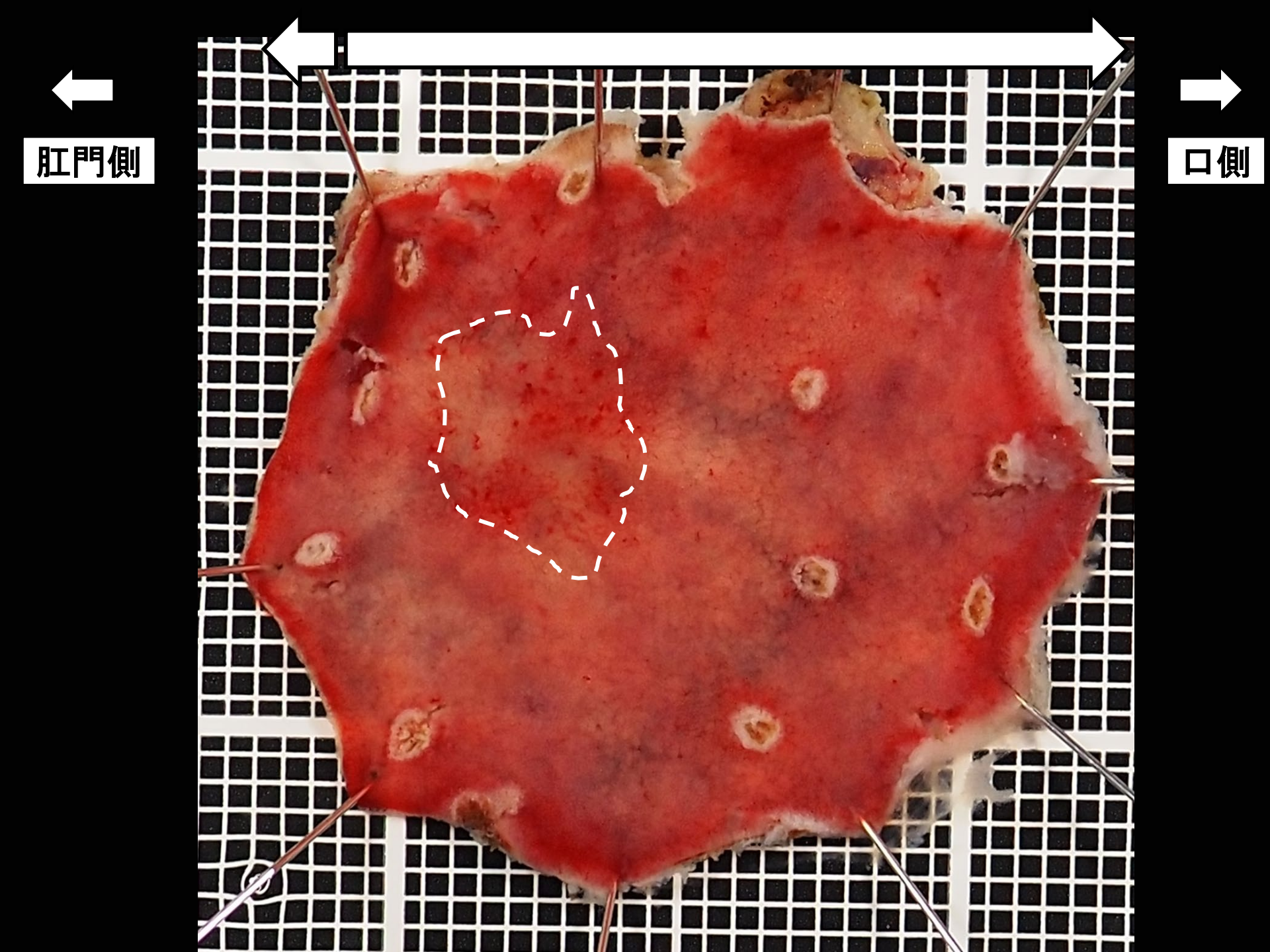
tubular adenocarcinoma,
well differenciated(tub1>tub2),
pT1b1(SM1, 270μm), INFb, Ly1a(D2-40), V0(EVG),
pUL0, pHM0(6000μm), pVM0(500μm)

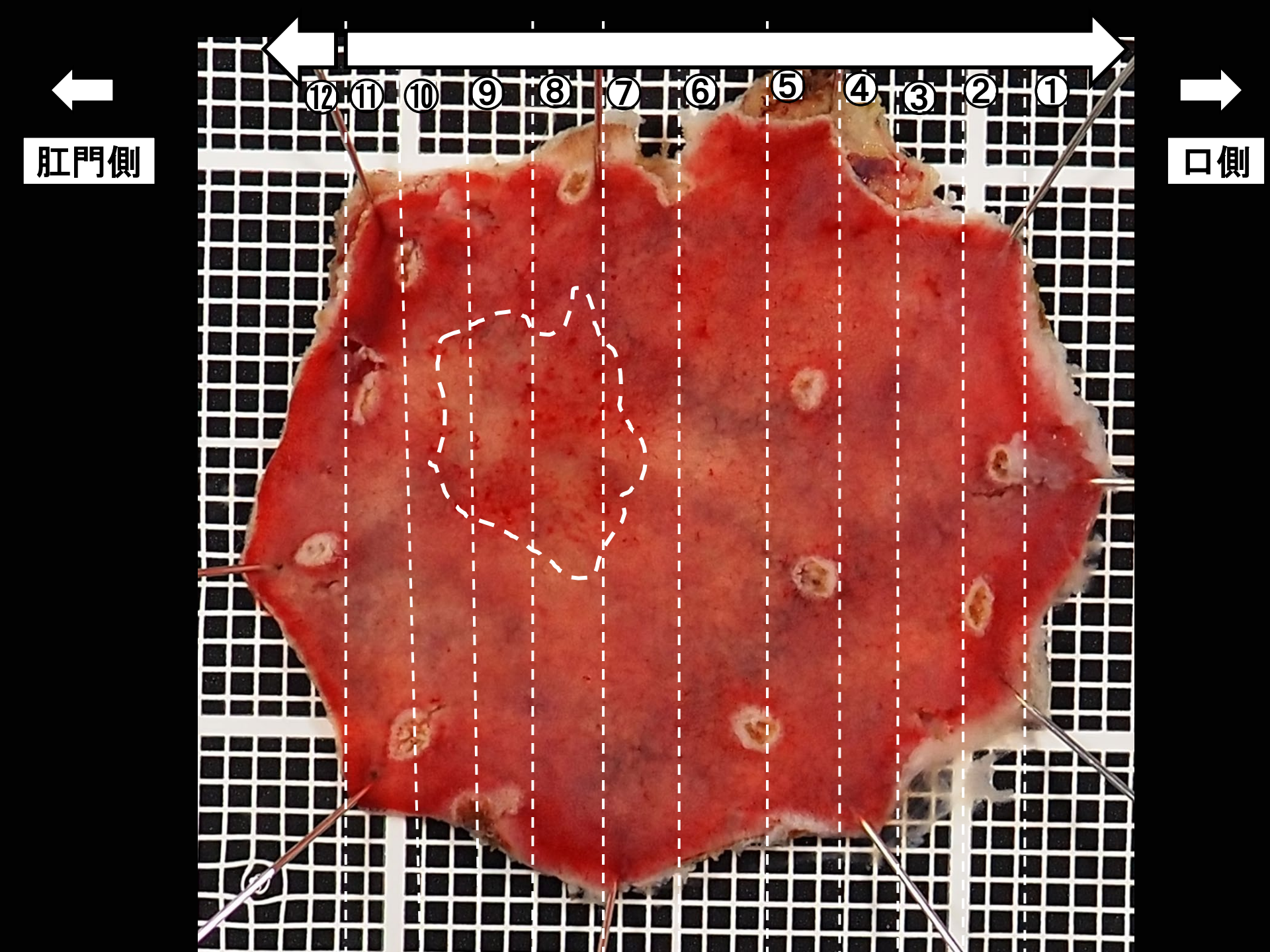
e-Cura C2

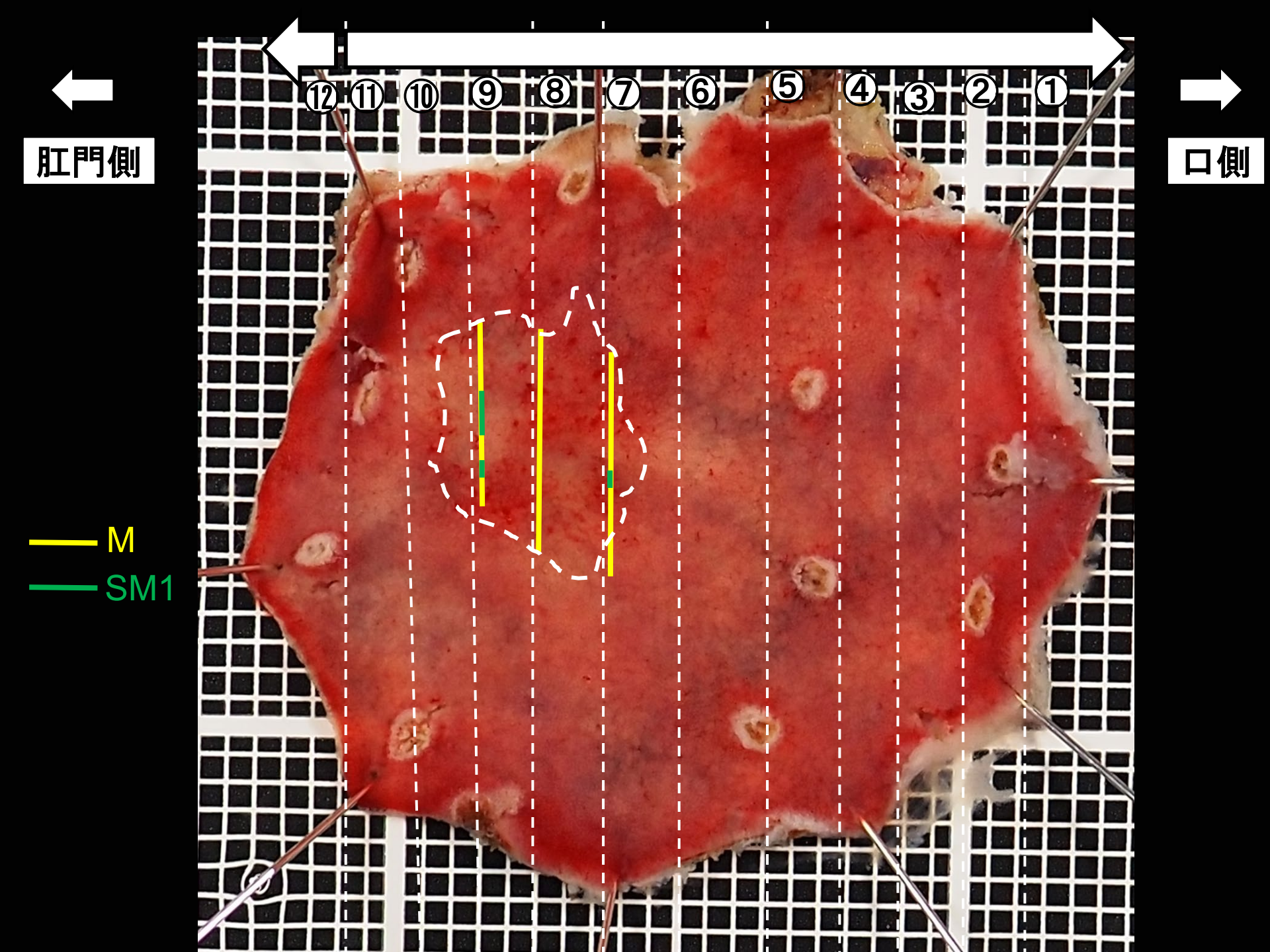
→ロボット補助下腹腔鏡下幽門側胃切除術
Stomach, distal gastrectomy:
no residual carcinoma (status post ESD).
Lymph node, dissection: no evidence of malignancy.

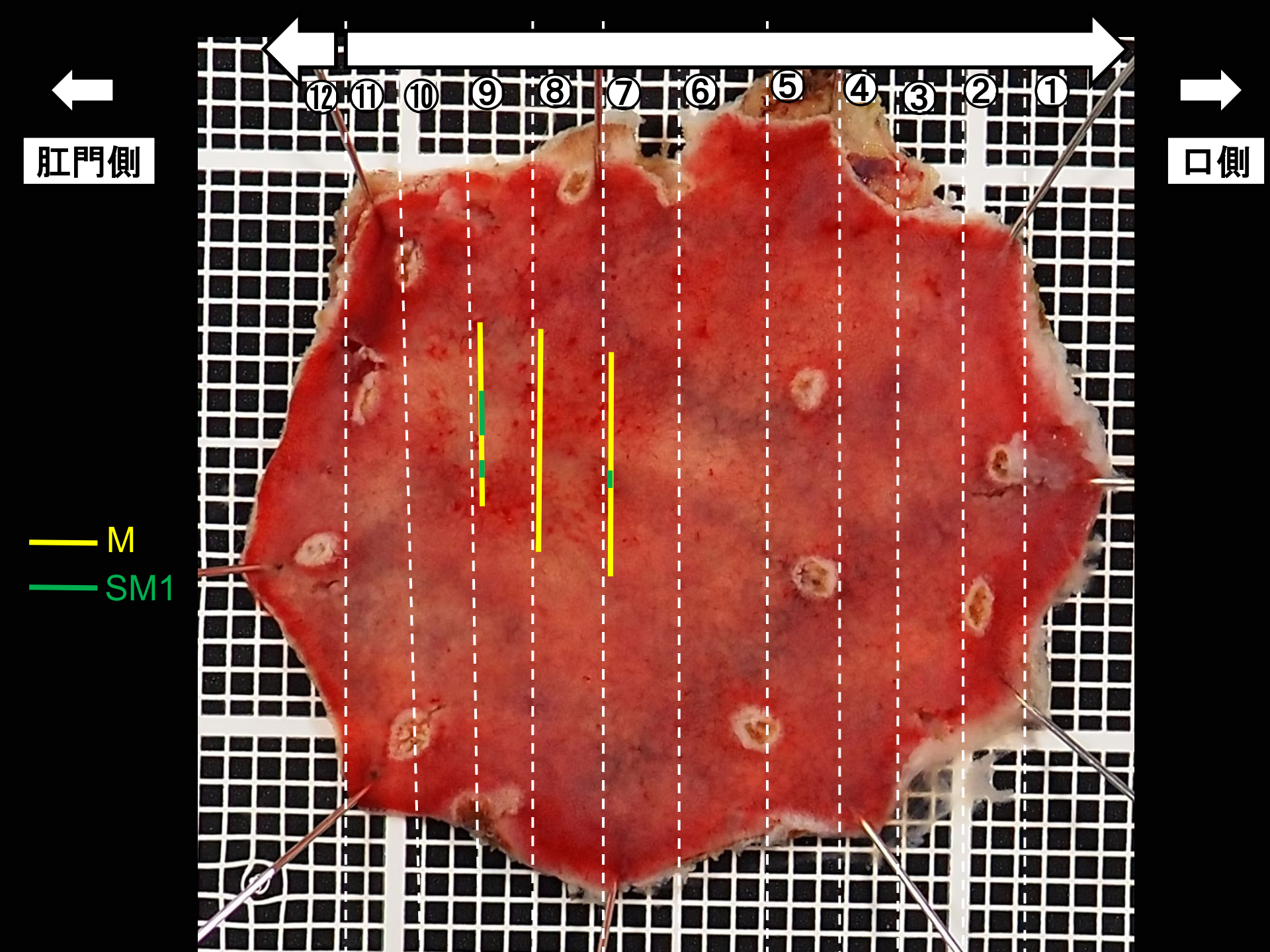
Mapping

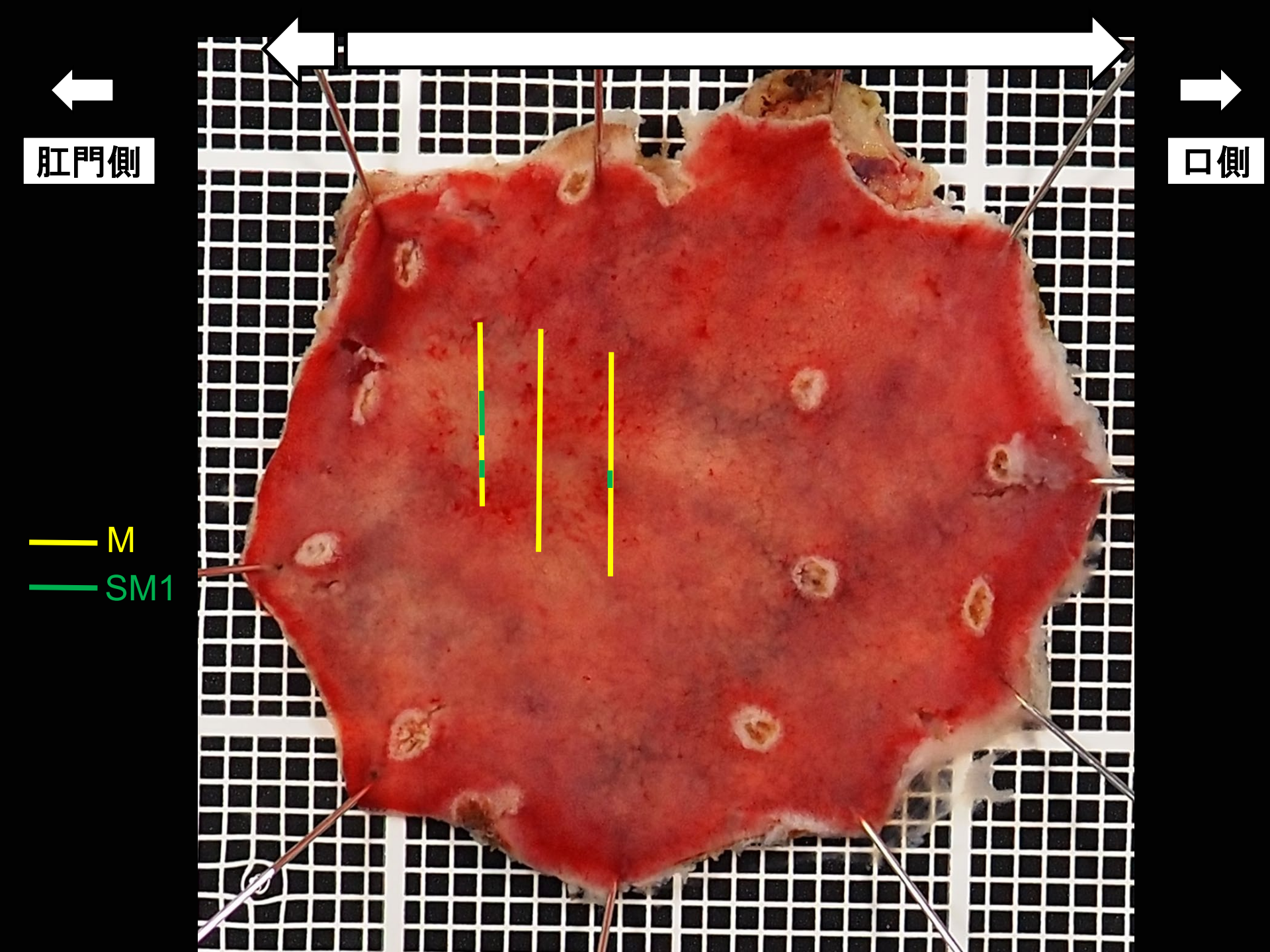

肛門側
口側

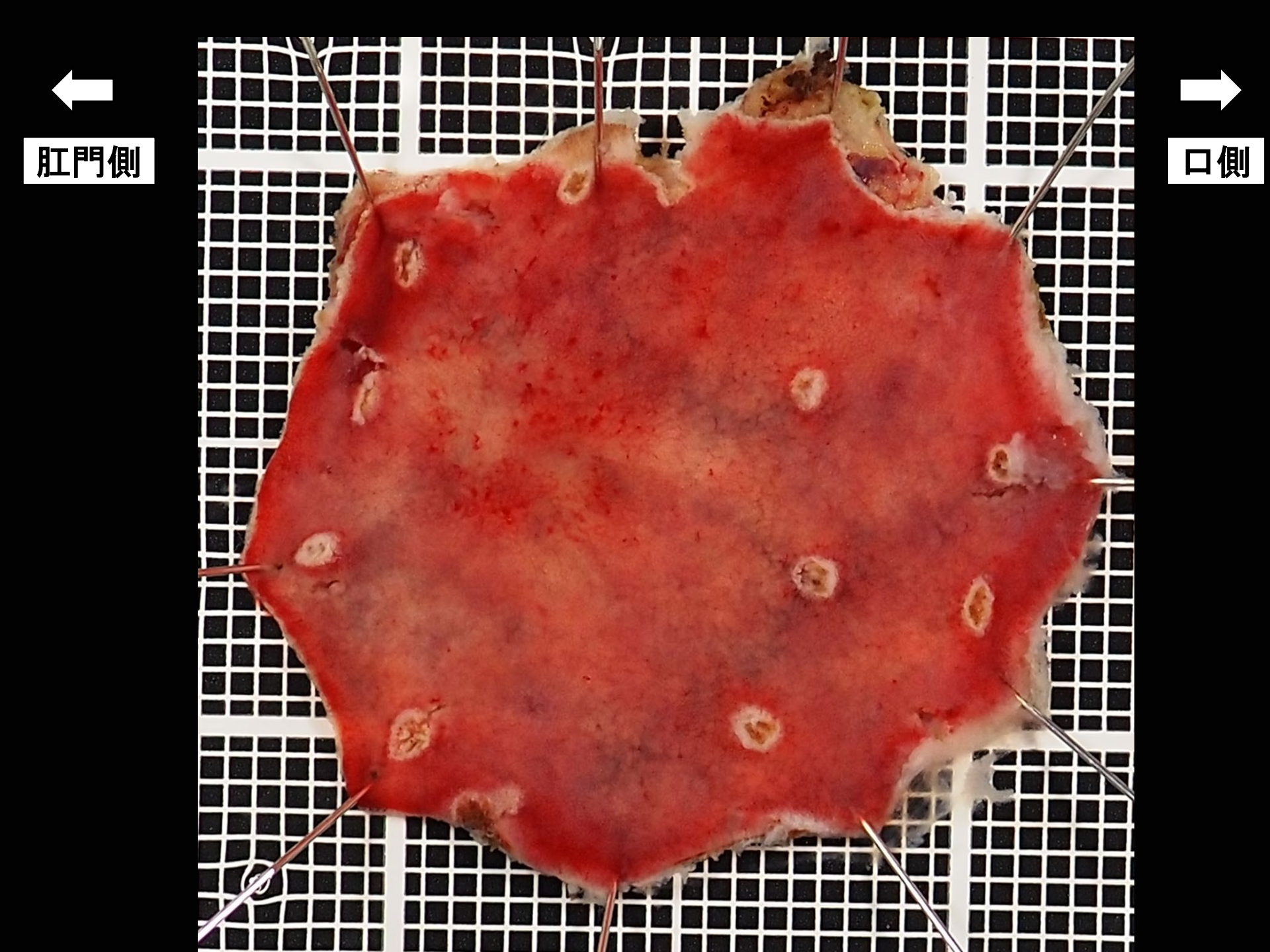

肛門側
口側

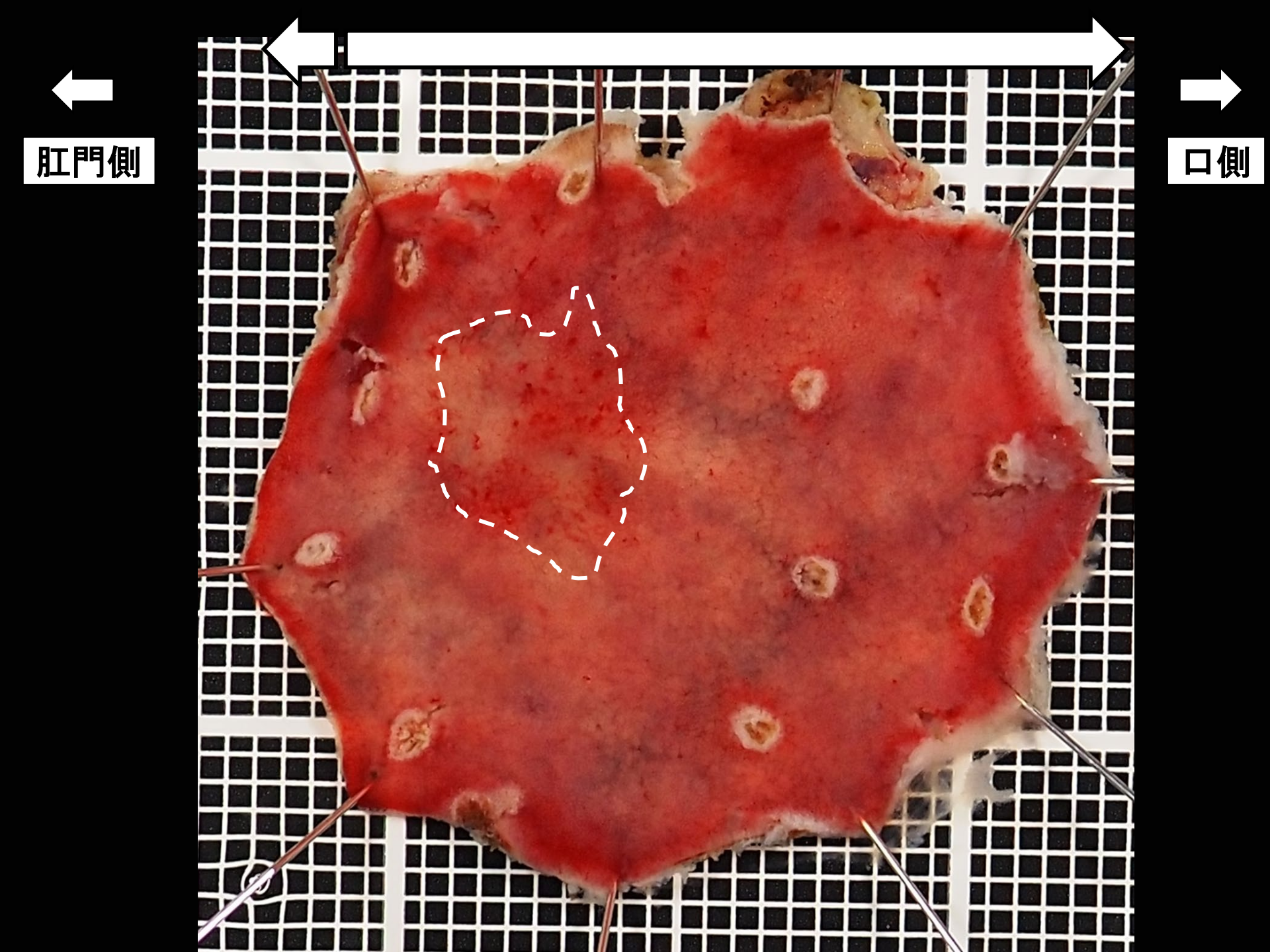

肛門側
口側
⑫
⑪
⑩
⑨
⑧
⑦
⑥
⑤
④
③
②
①

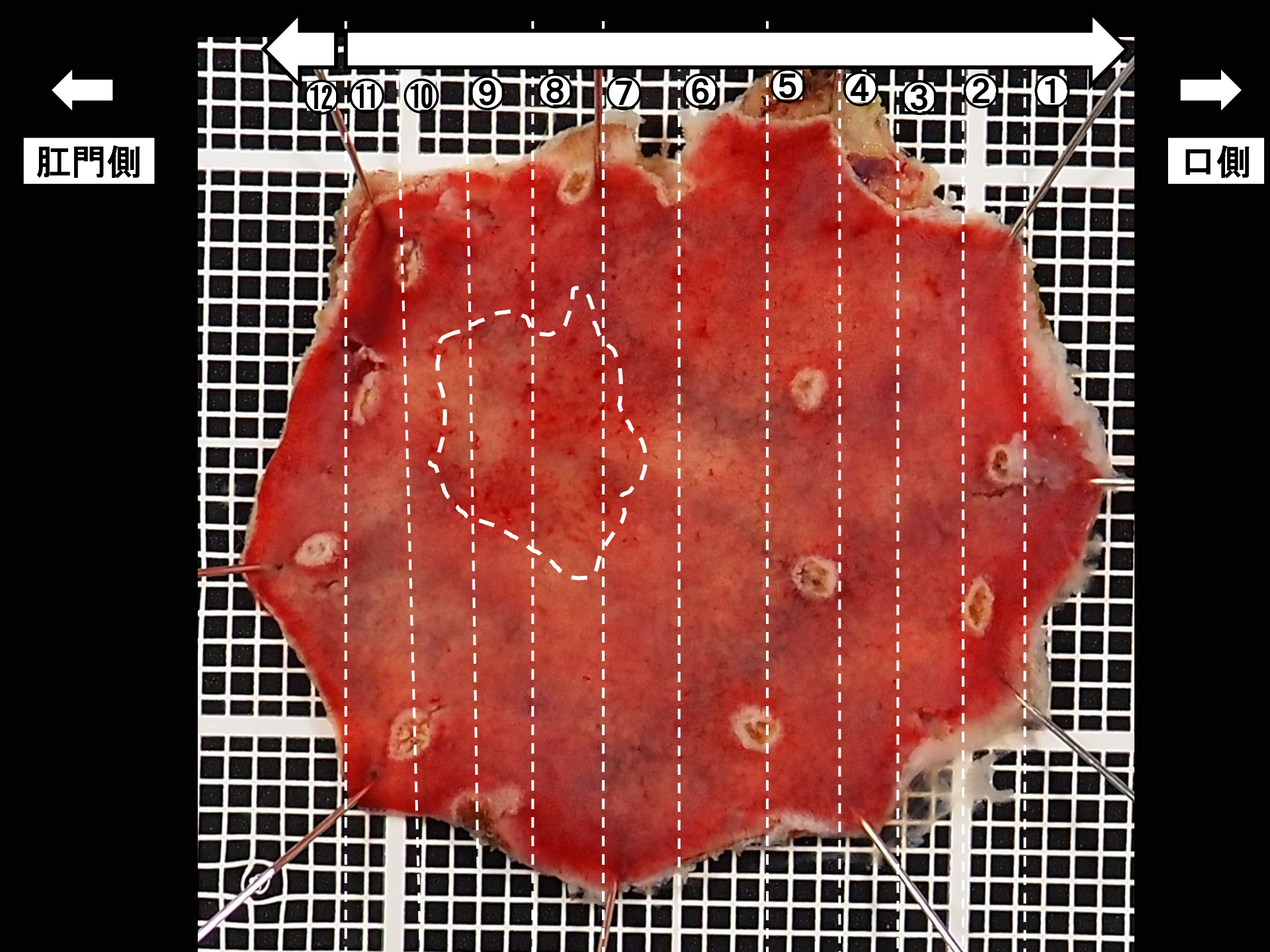

肛門側
口側
⑫ ⑪ ⑩ ⑨ ⑧ ⑦ ⑥ ⑤ ④ ③ ② ①
M
SM1

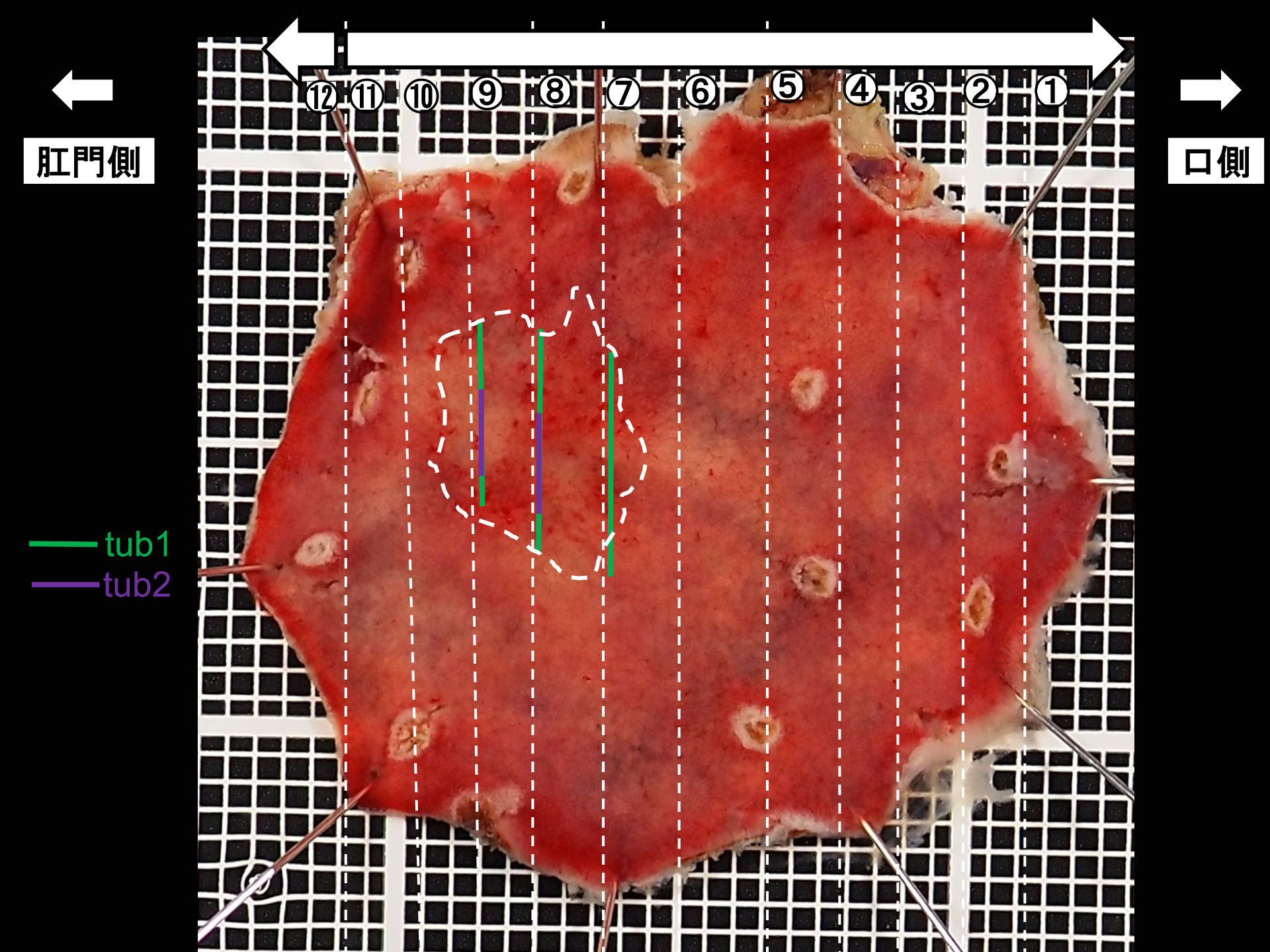

肛門側
口側
⑫
⑪
⑩
⑨
⑧
⑦
⑥
⑤
④
③
②
①
M
SM1

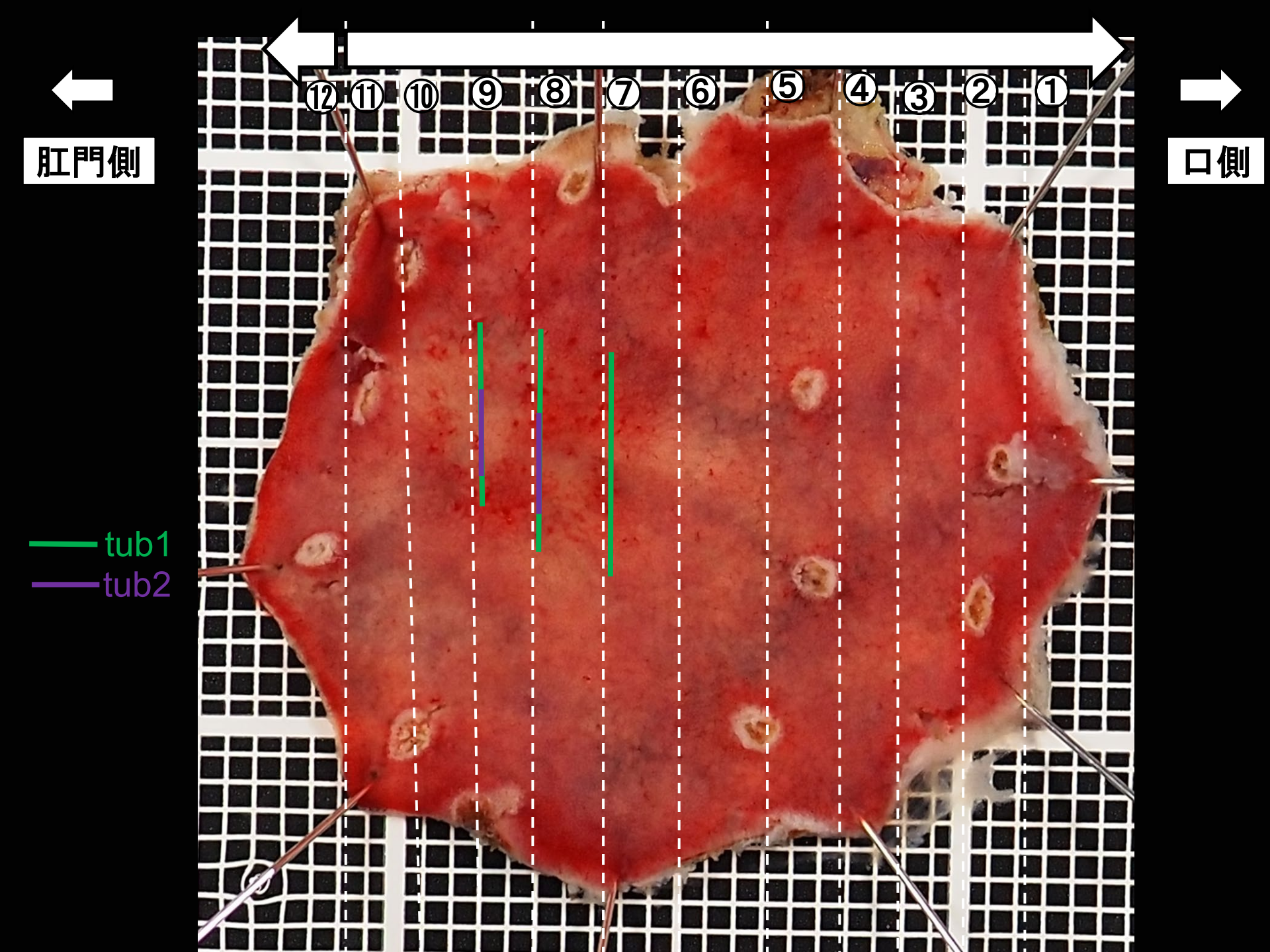

肛門側
口側
M
SM1

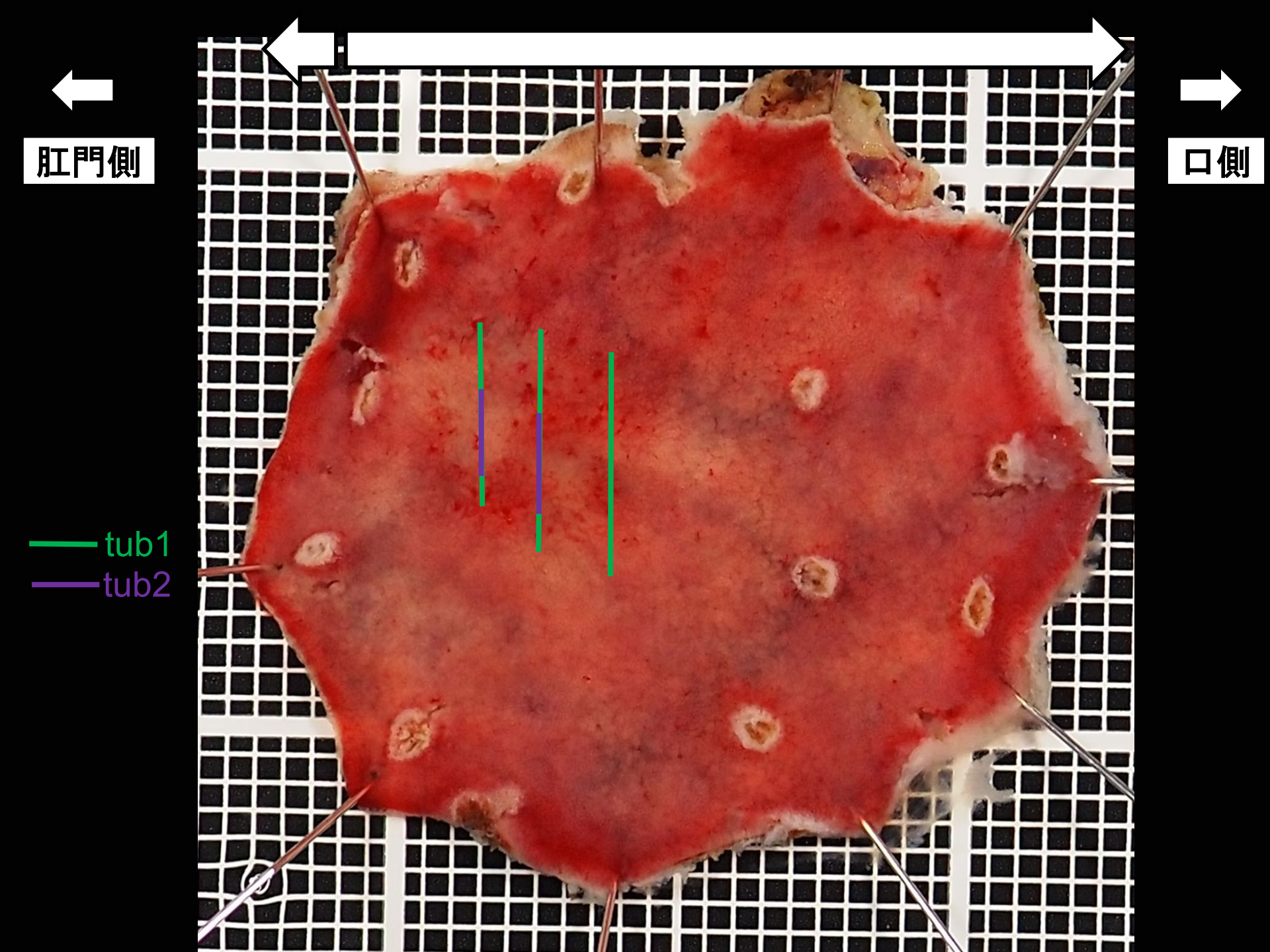

肛門側
口側

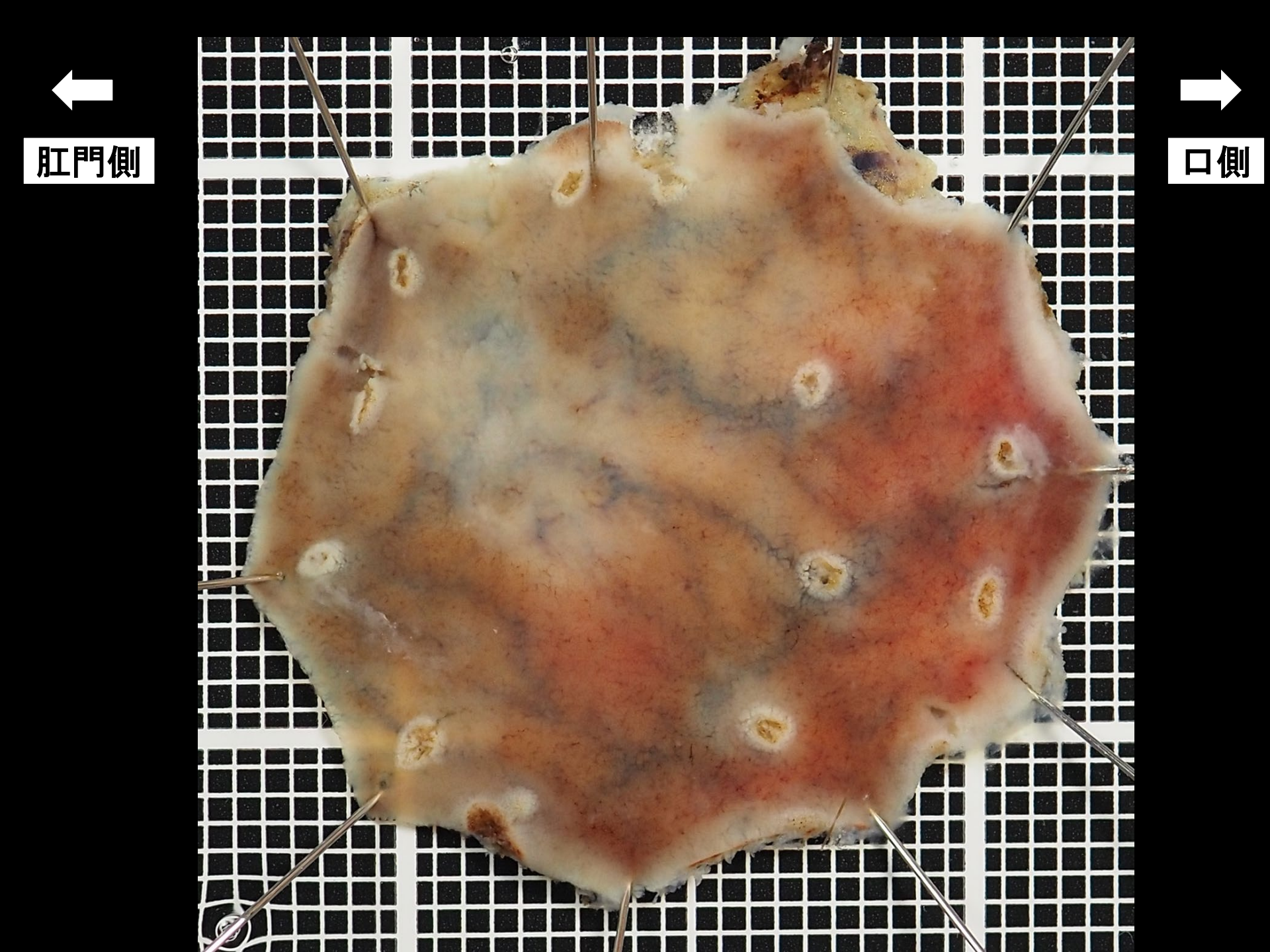

肛門側
口側

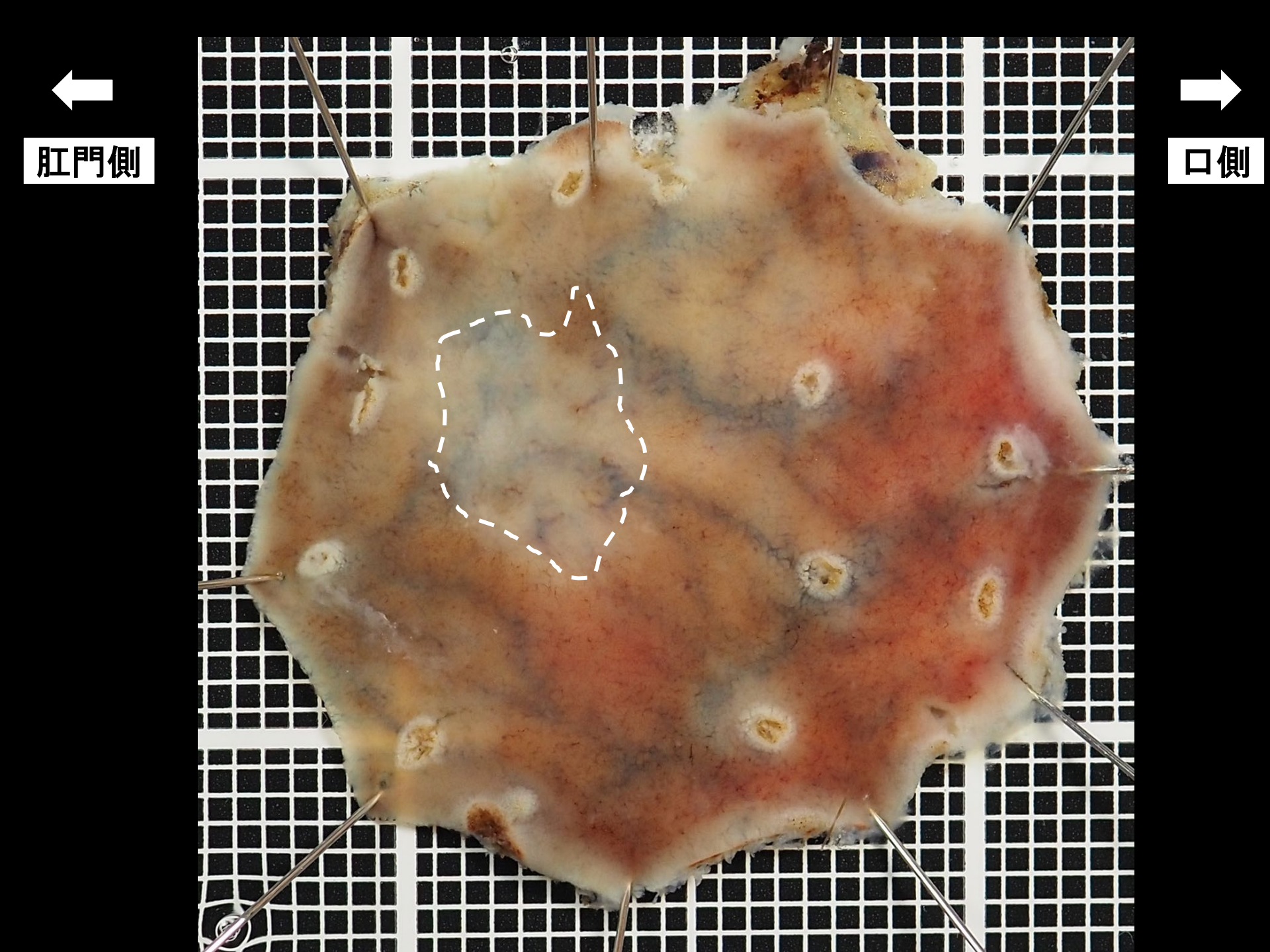

肛門側
口側
⑫
⑪
⑩
⑨
⑧
⑦
⑥
⑤
④
③
②
①

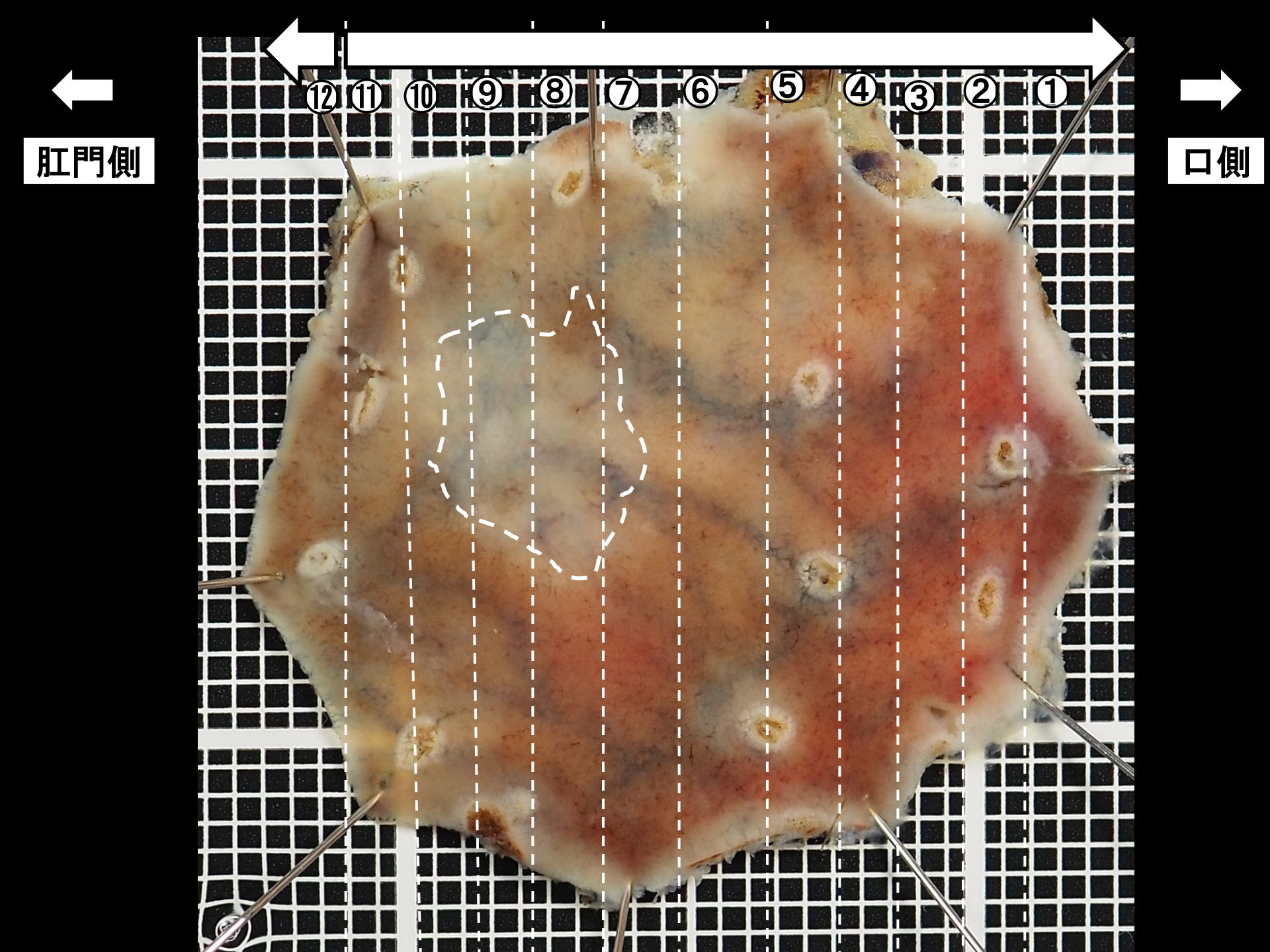

肛門側
口側
⑫ ⑪ ⑩ ⑨ ⑧ ⑦ ⑥ ⑤ ④ ③ ② ①
tub1
tub2

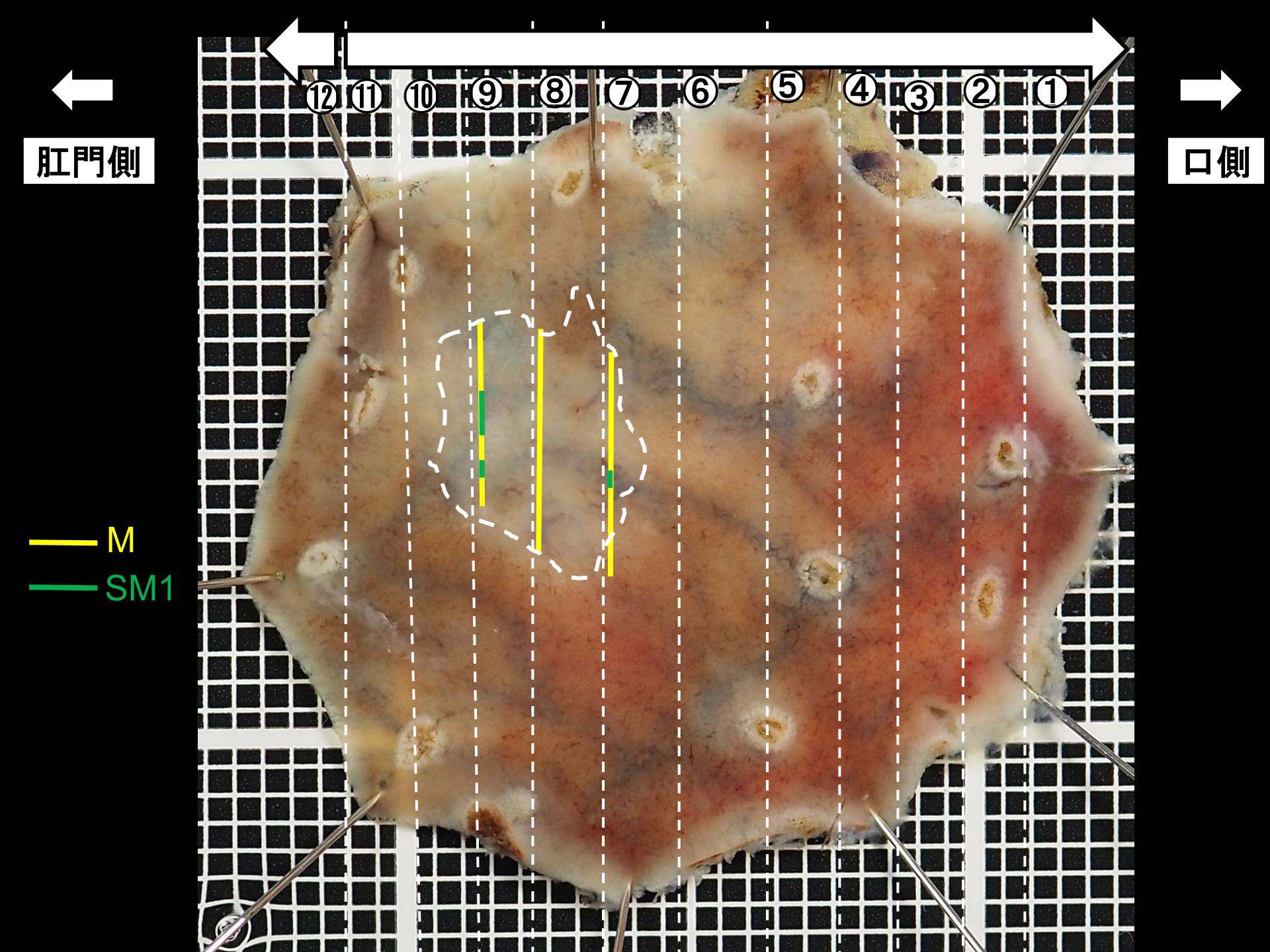

肛門側
口側
⑫ ⑪ ⑩ ⑨ ⑧ ⑦ ⑥ ⑤ ④ ③ ② ①
tub1
tub2

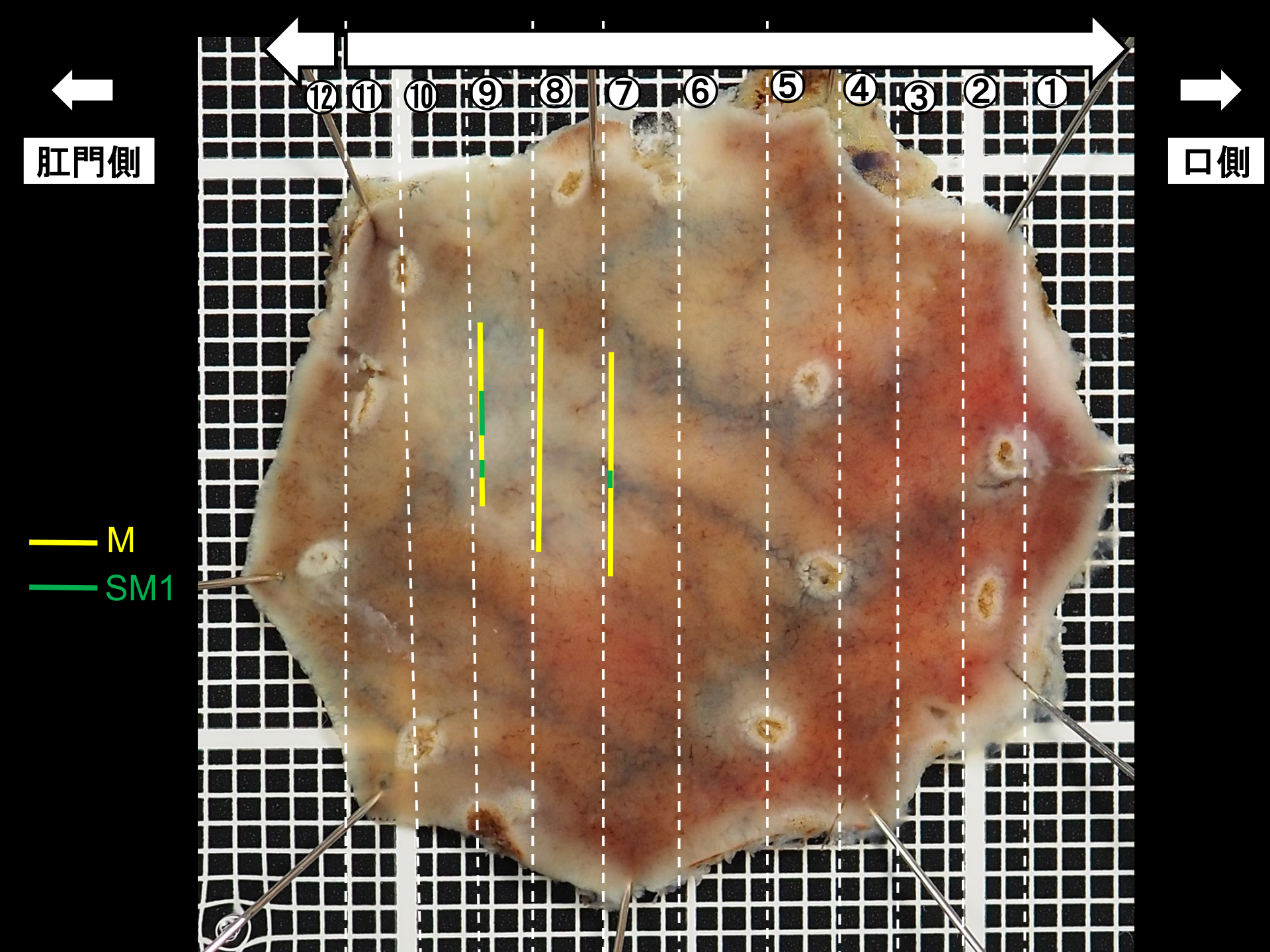

肛門側
口側
tub1
tub2

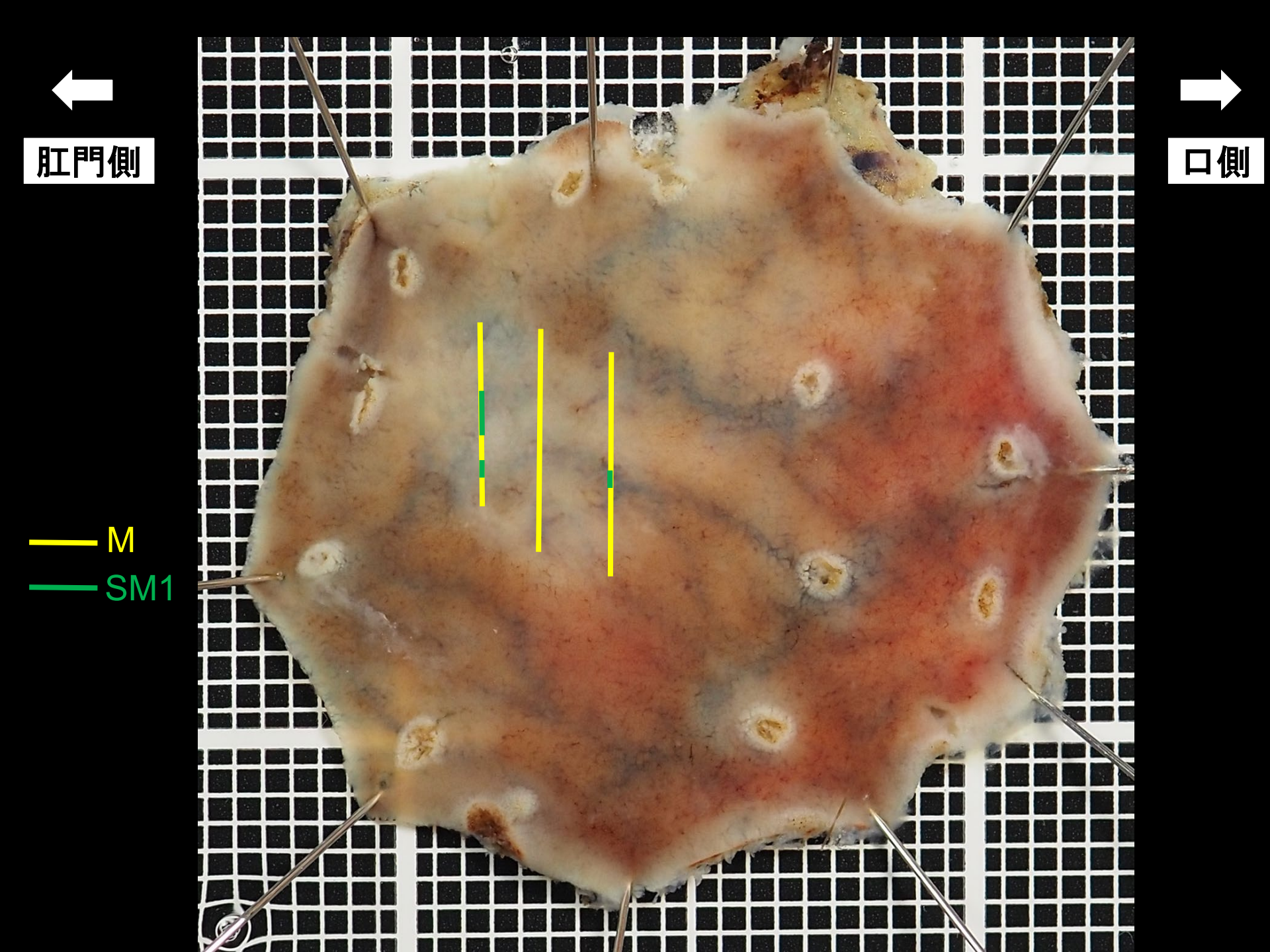

肛門側
口側

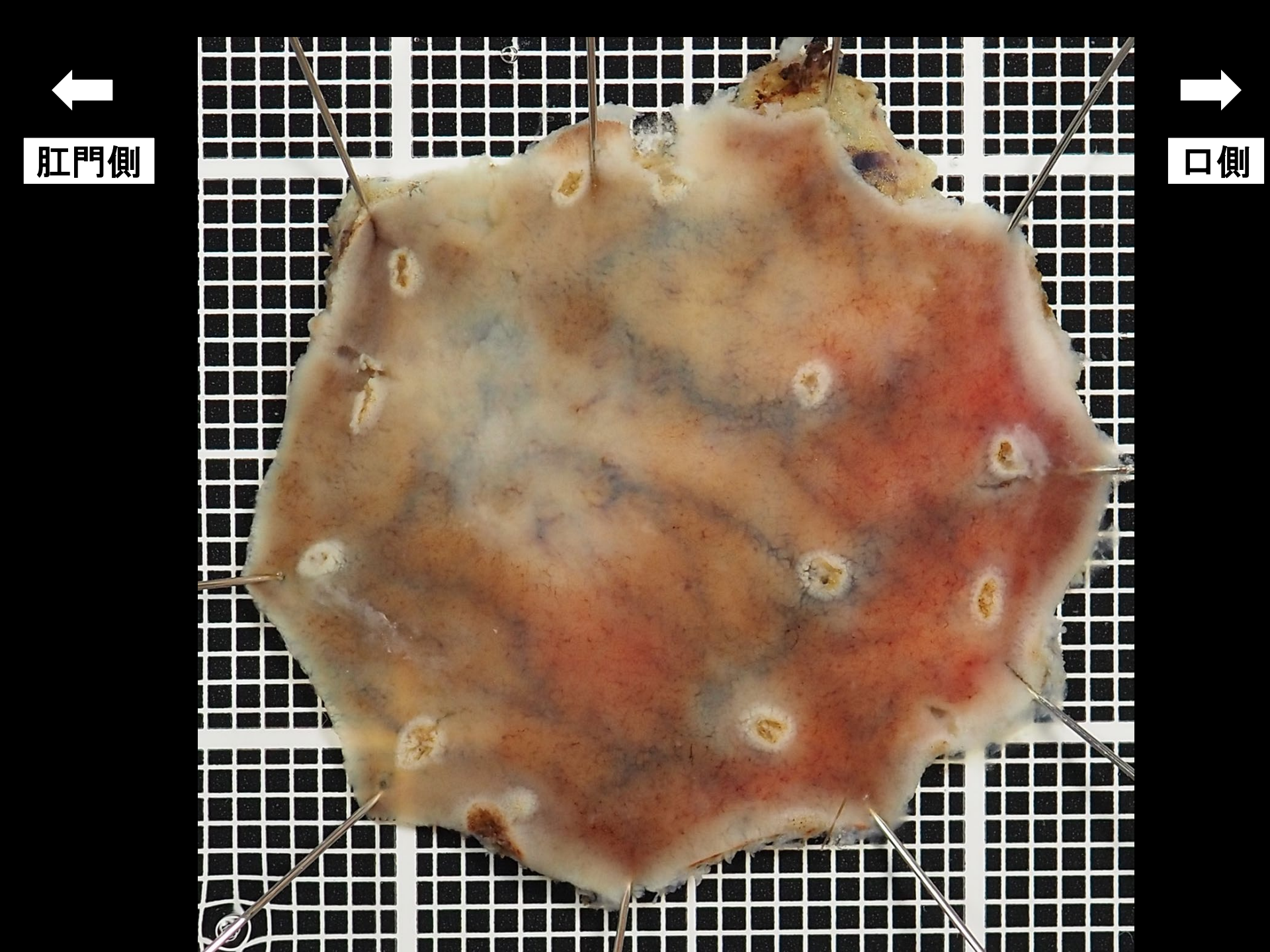

肛門側
口側

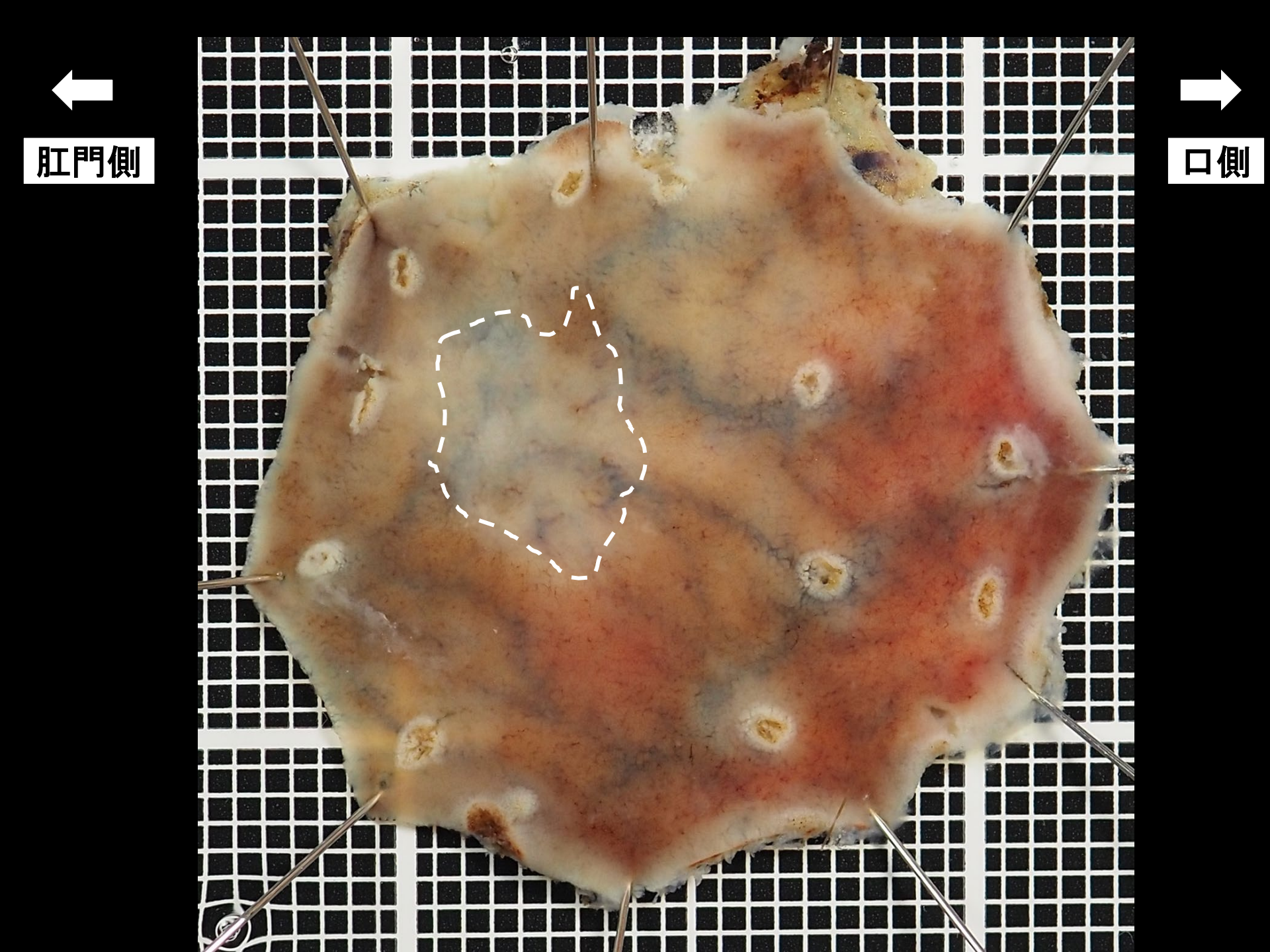

肛門側
口側
⑫
⑪
⑩
⑨
⑧
⑦
⑥
⑤
④
③
②
①

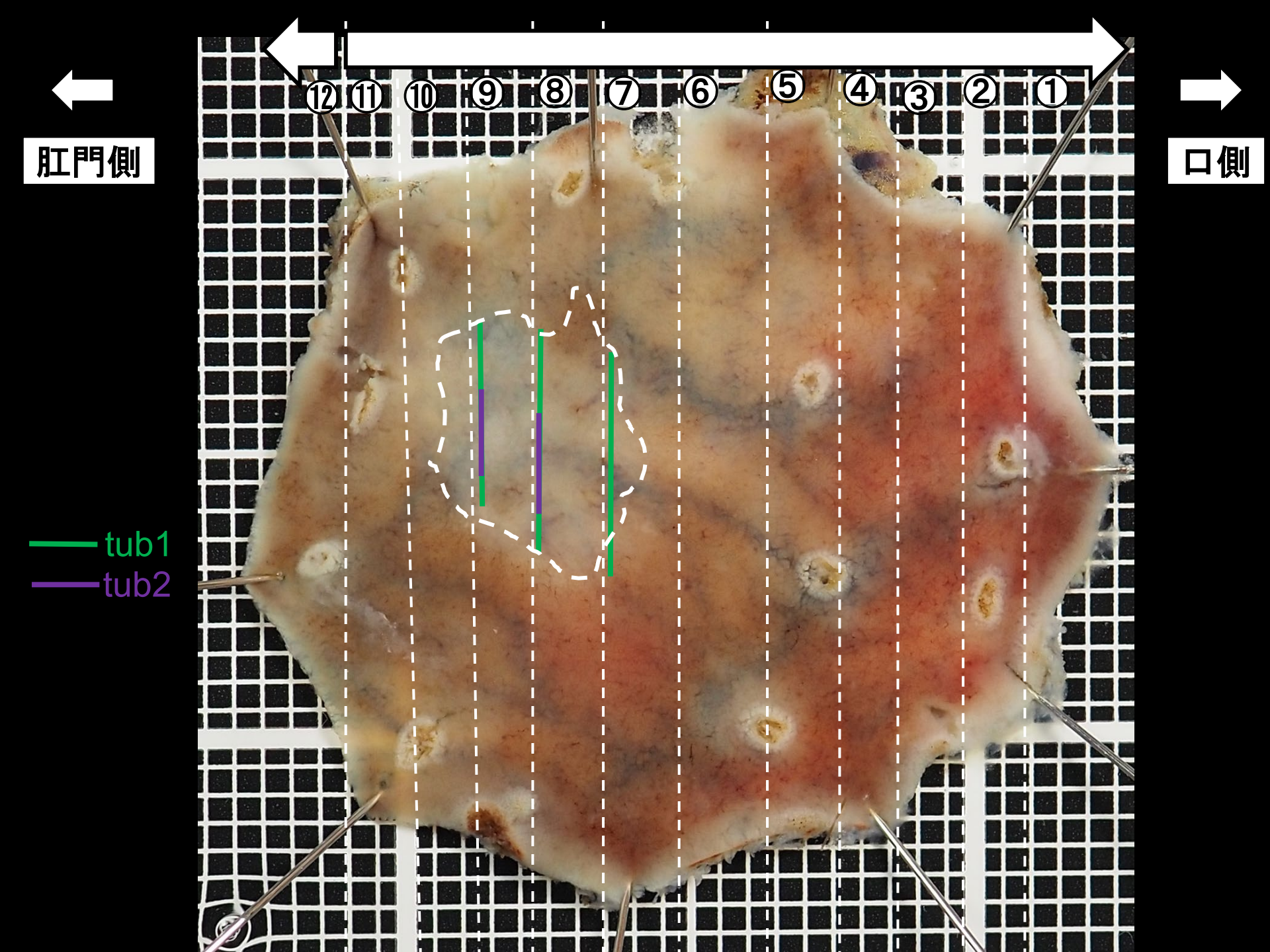

肛門側
口側
⑫ ⑪ ⑩ ⑨ ⑧ ⑦ ⑥ ⑤ ④ ③ ② ①
M
SM1

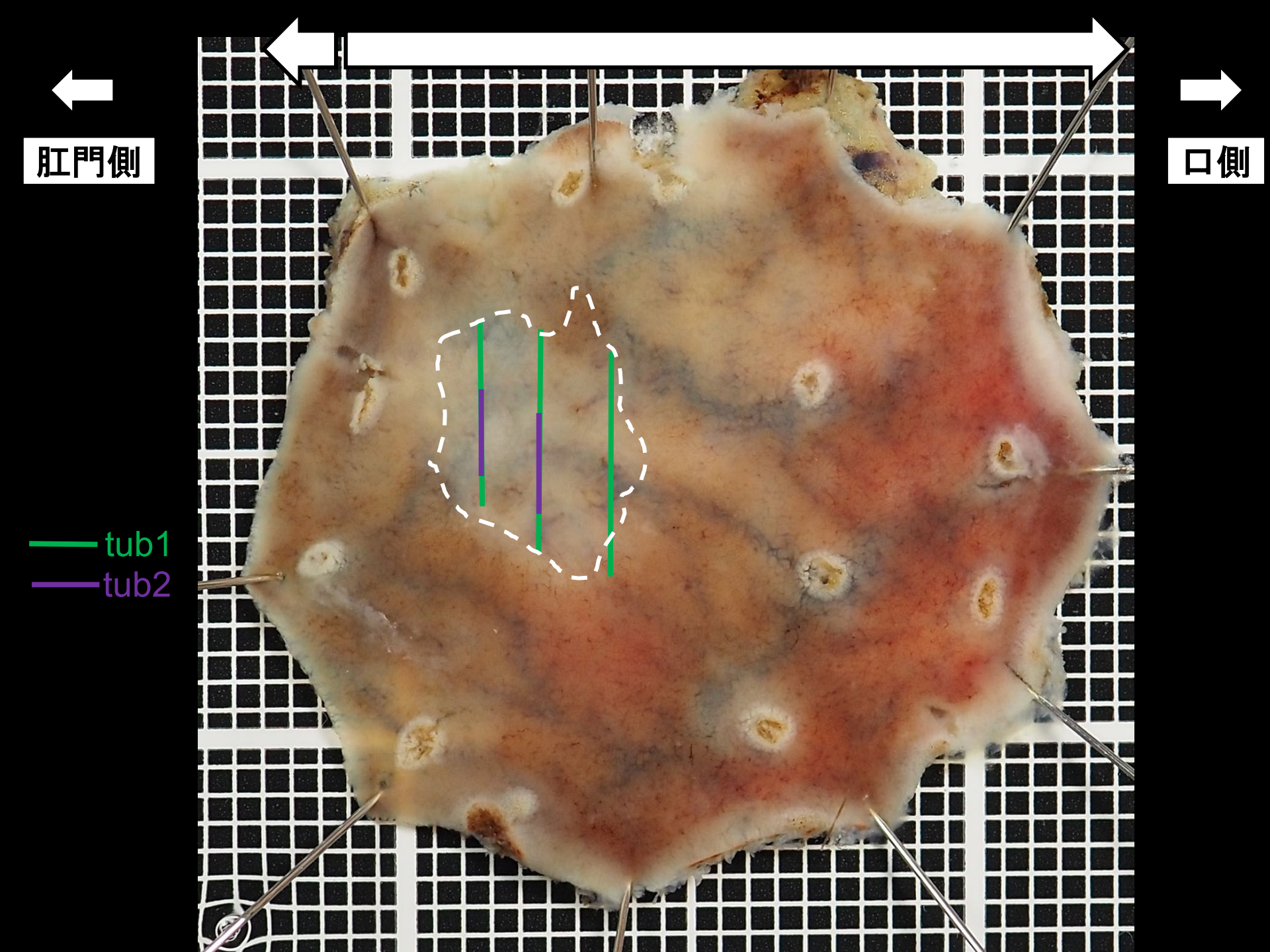

肛門側
口側
⑫ ⑪ ⑩ ⑨ ⑧ ⑦ ⑥ ⑤ ④ ③ ② ①
M
SM1

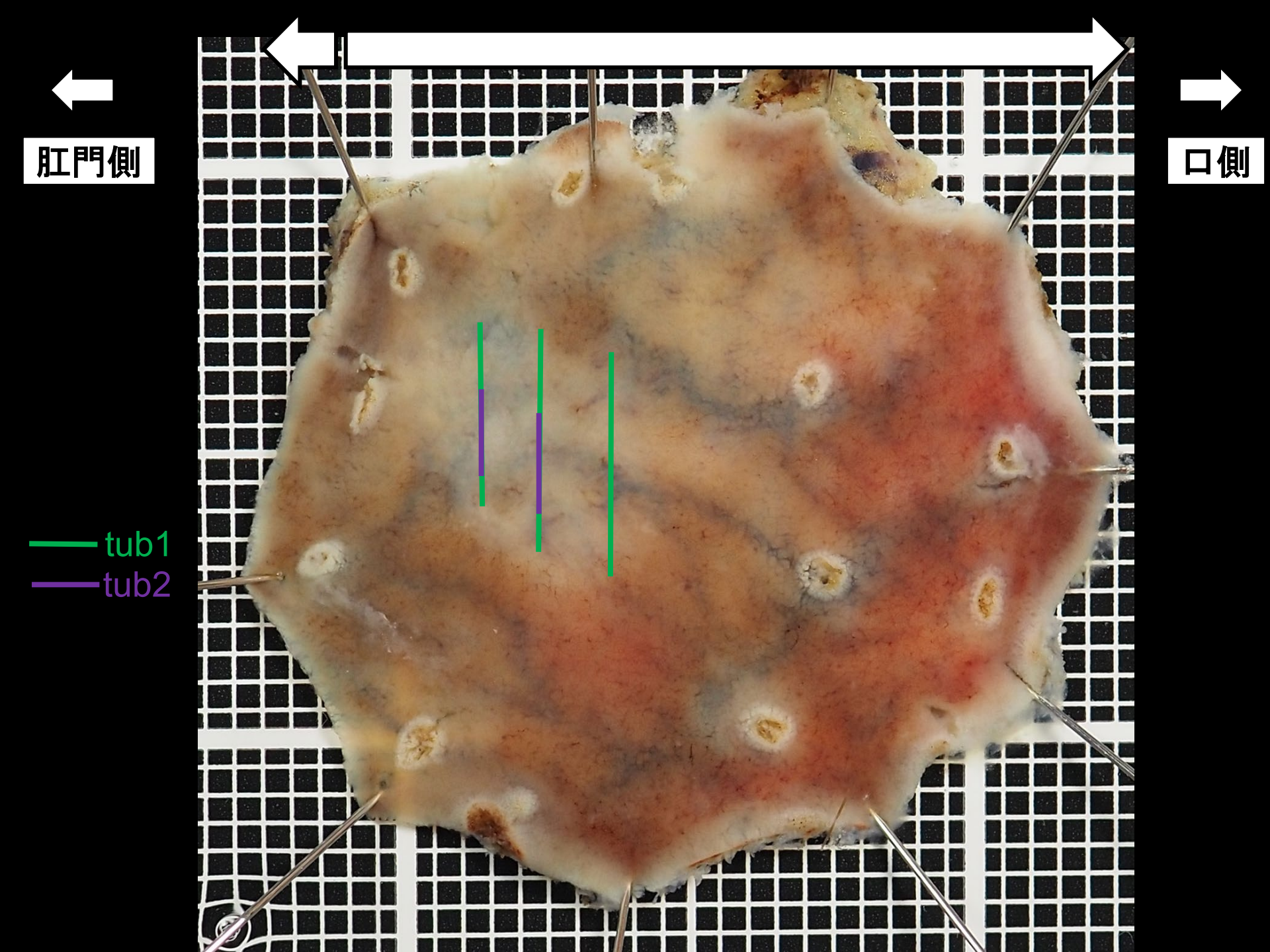

肛門側
口側
M
SM1

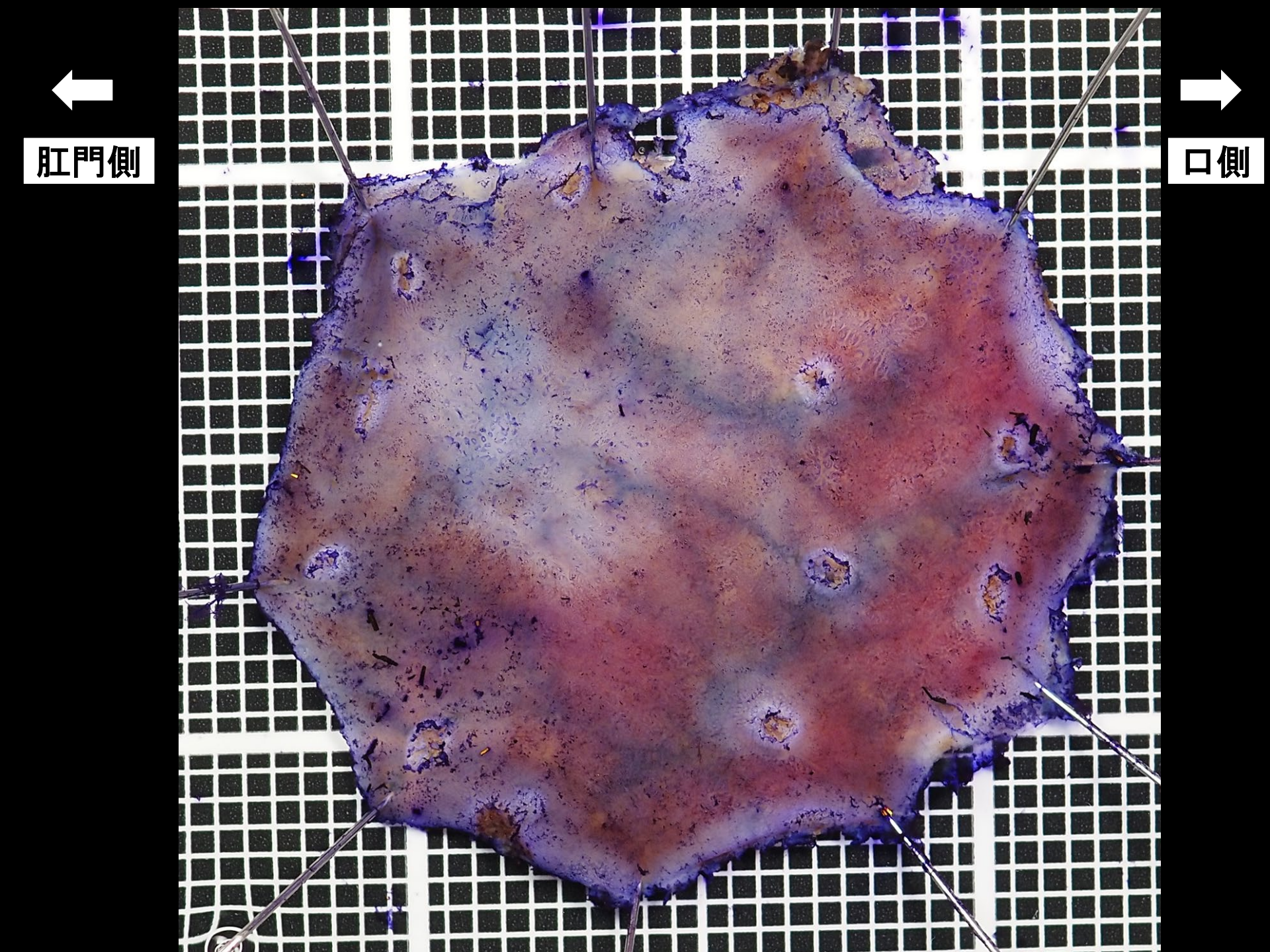

肛門側
口側

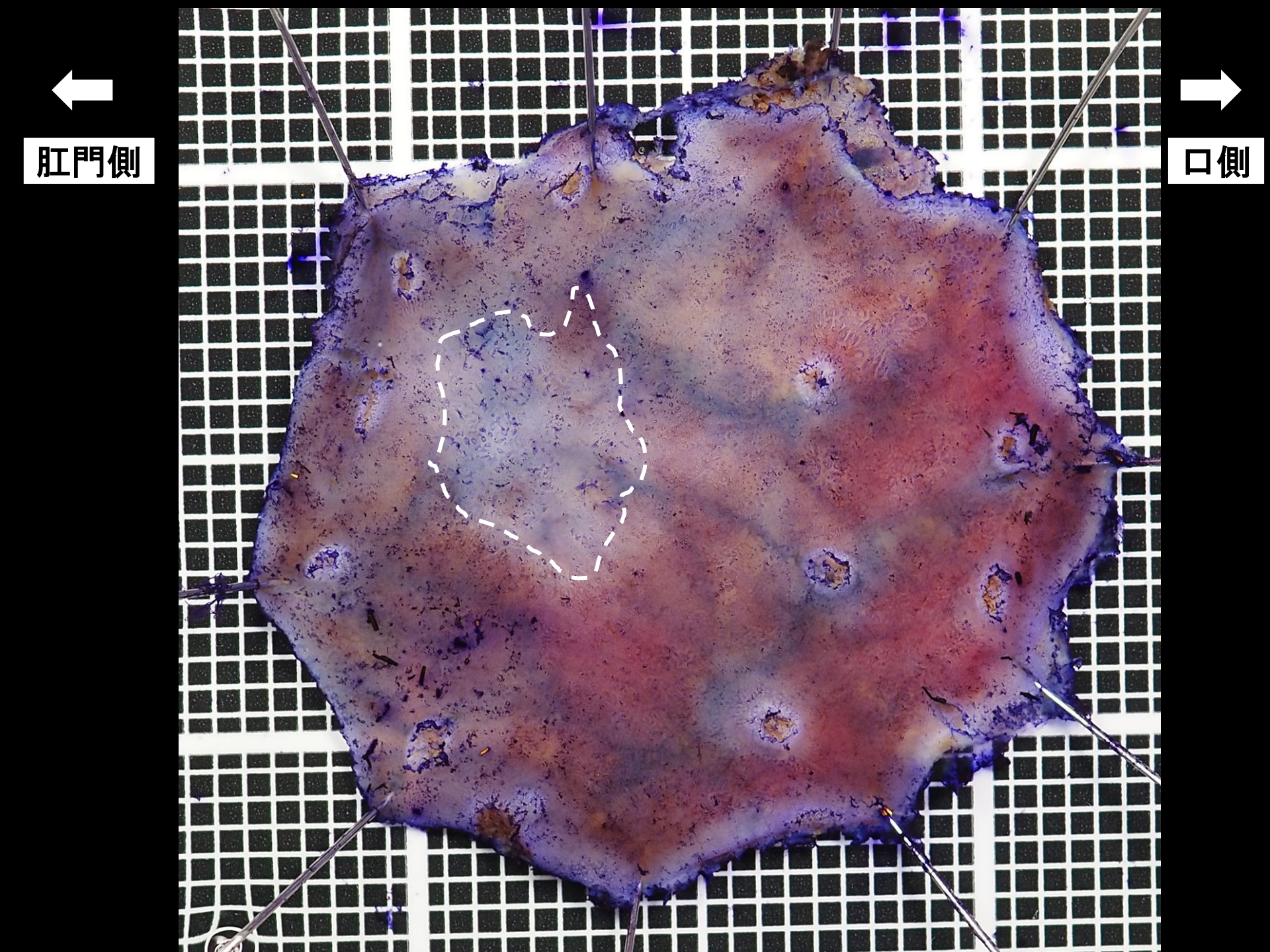

肛門側
口側

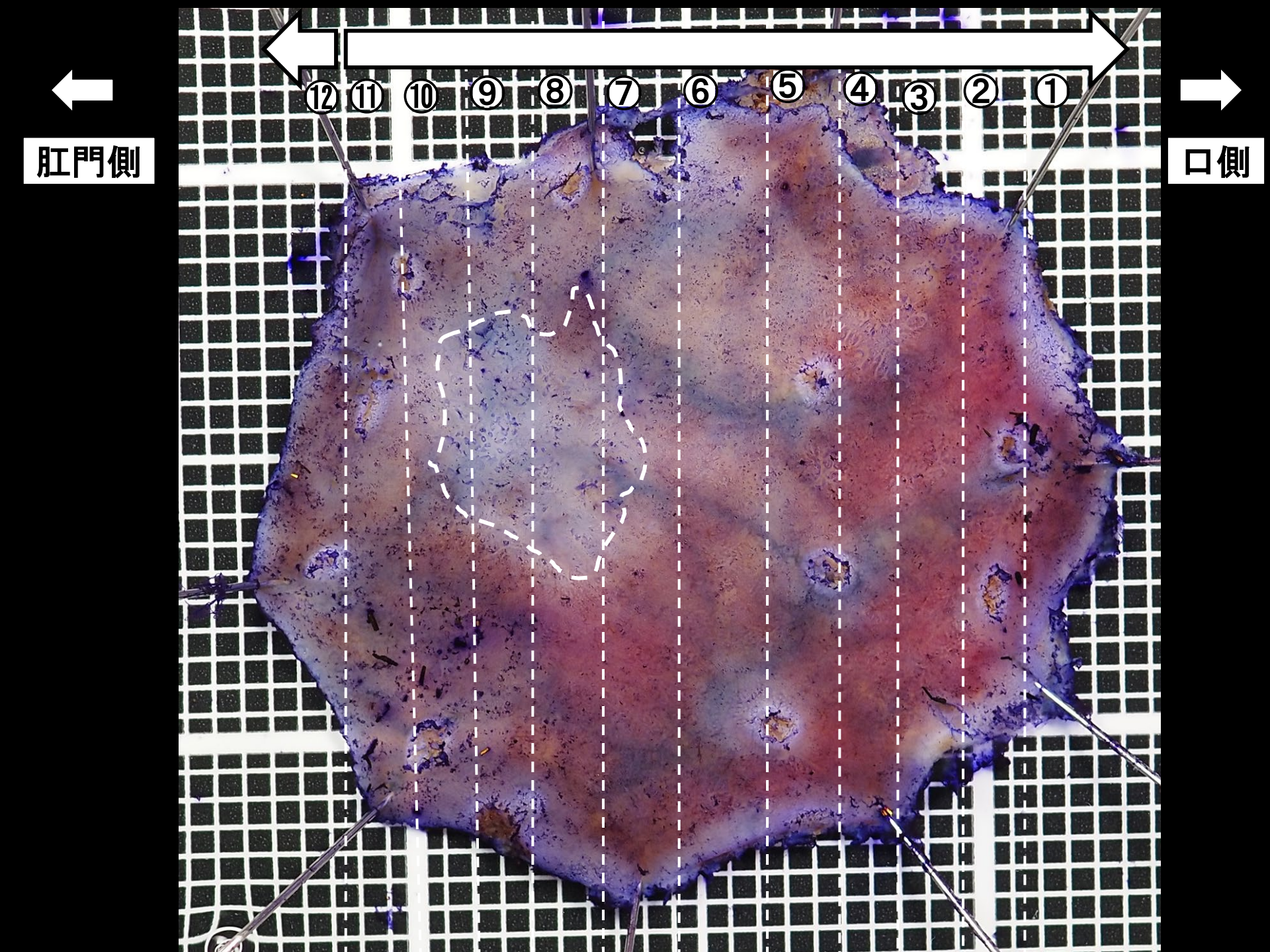

肛門側
口側
⑫ ⑪ ⑩ ⑨ ⑧ ⑦ ⑥ ⑤ ④ ③ ② ①
tub1
tub2

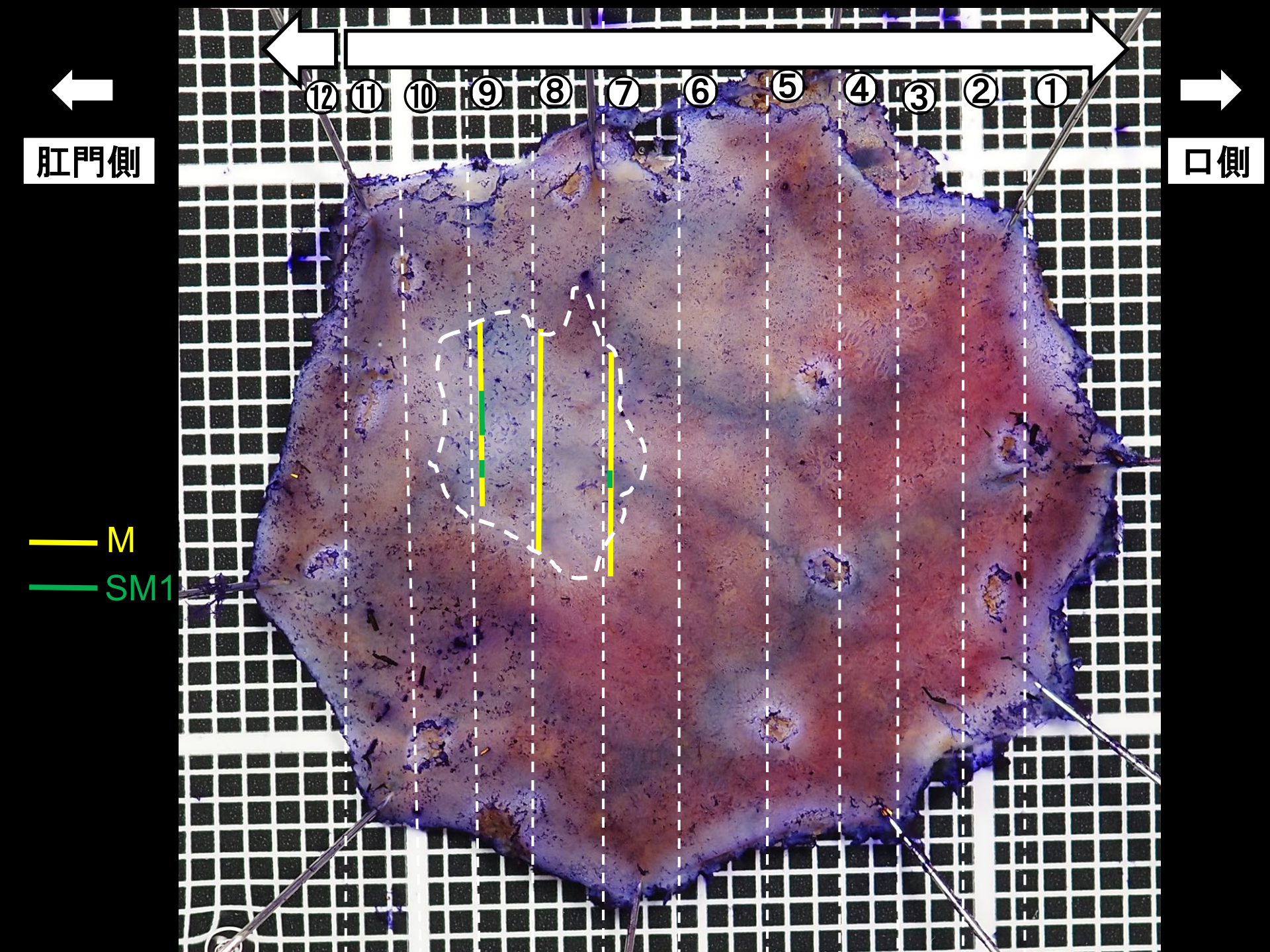

肛門側
口側
tub1
tub2

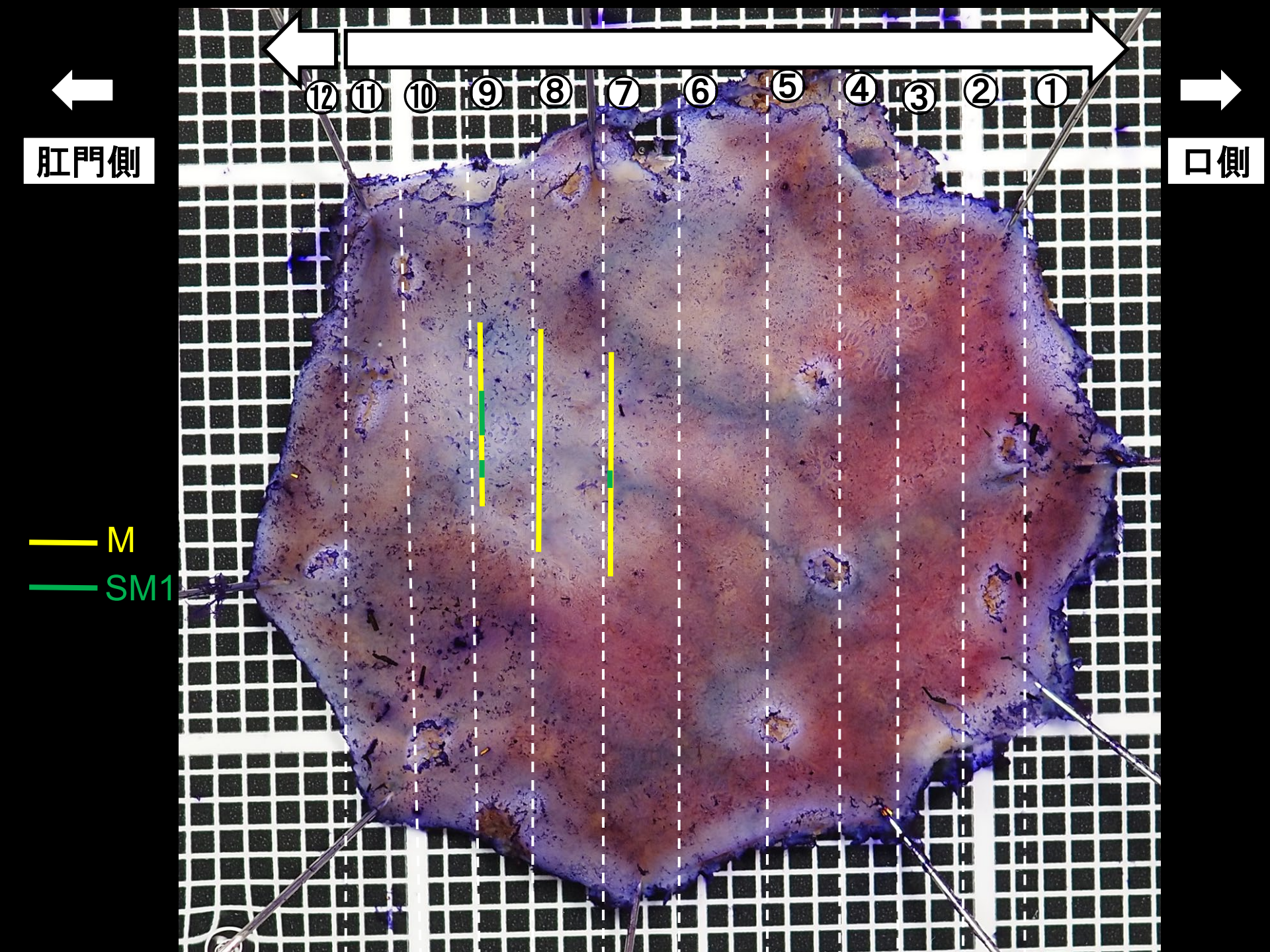

肛門側
口側
tub1
tub2

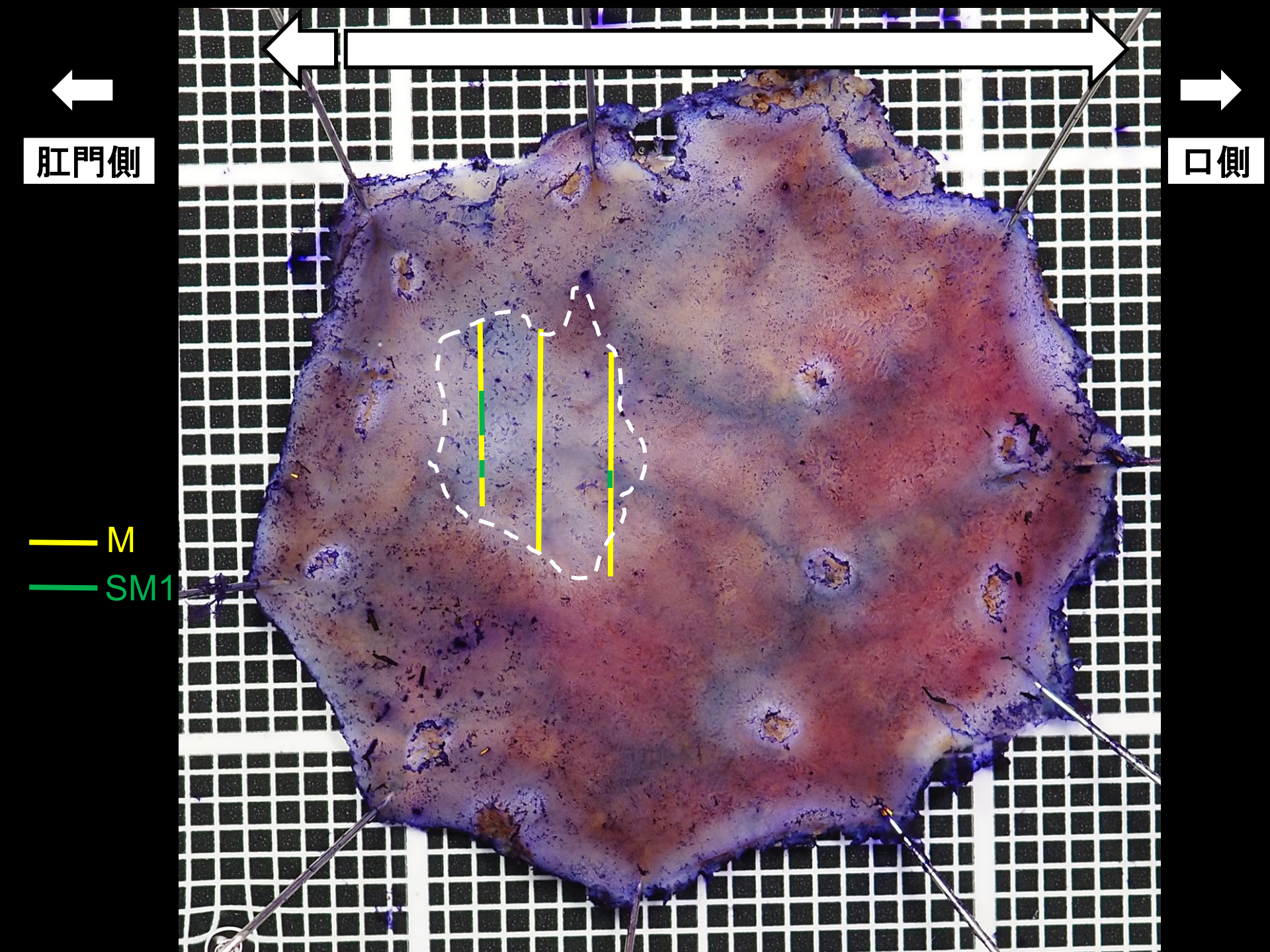

肛門側
口側

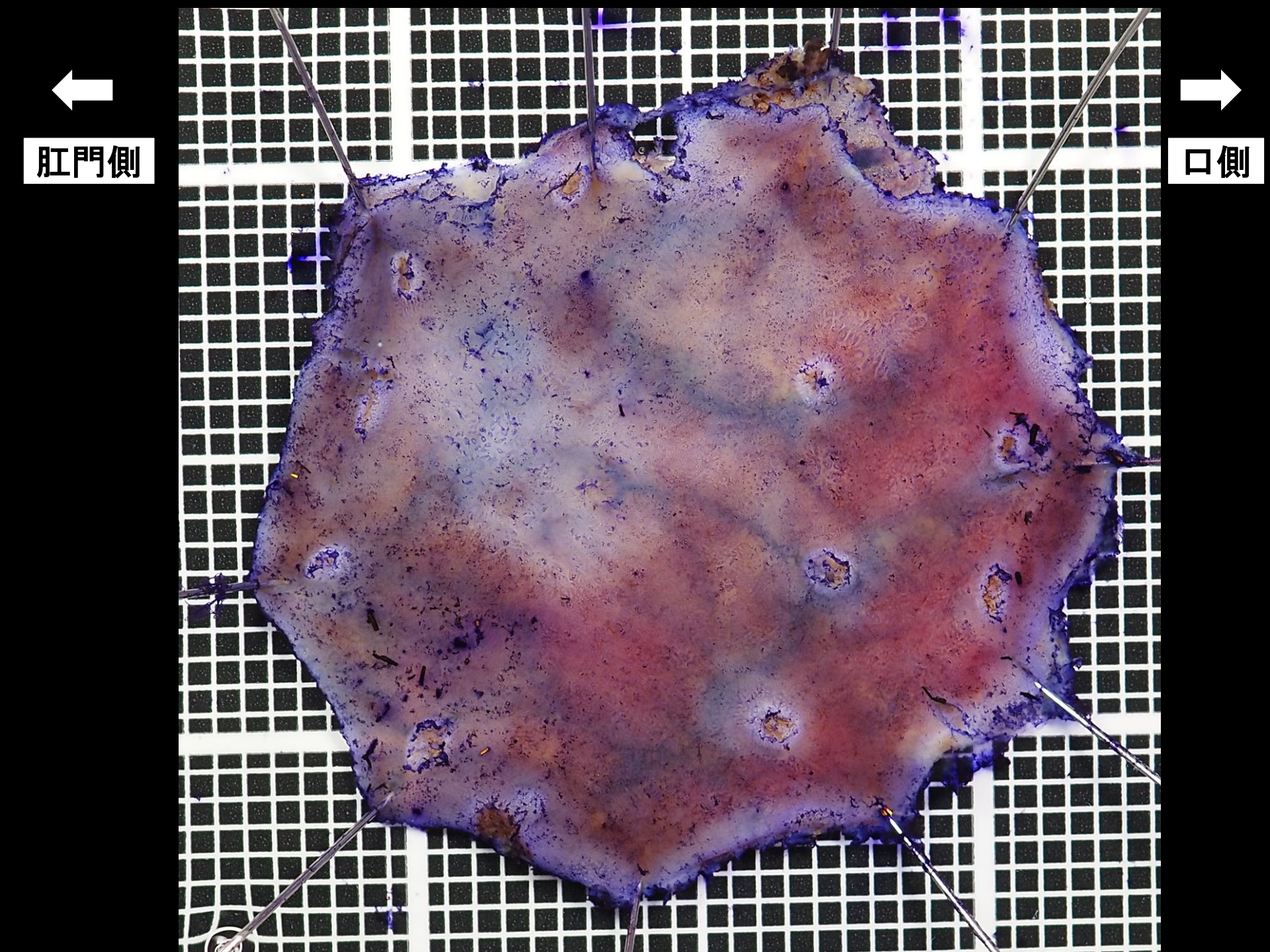

肛門側
口側

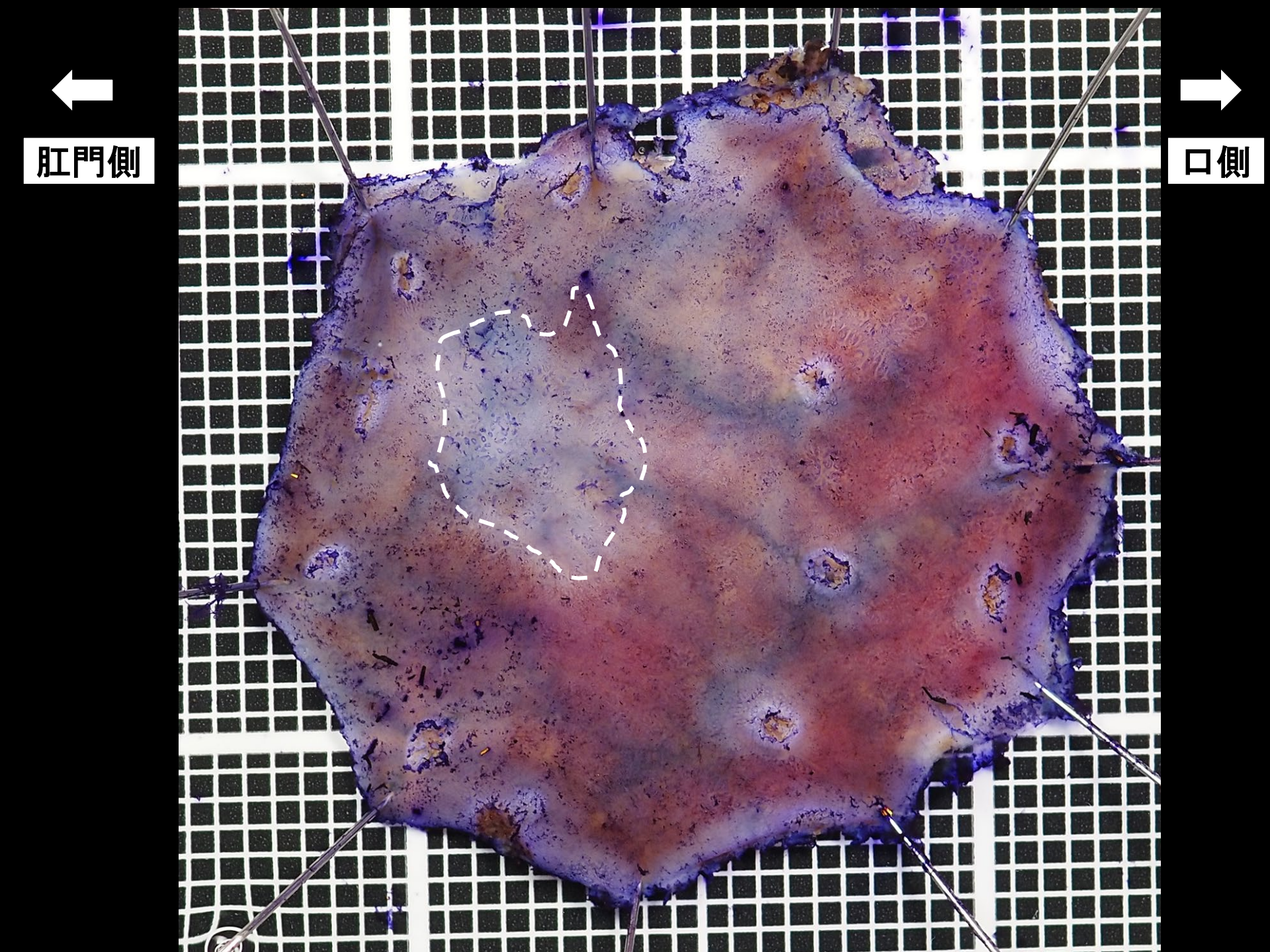

肛門側
口側
⑫
⑪
⑩
⑨
⑧
⑦
⑥
⑤
④
③
②
①

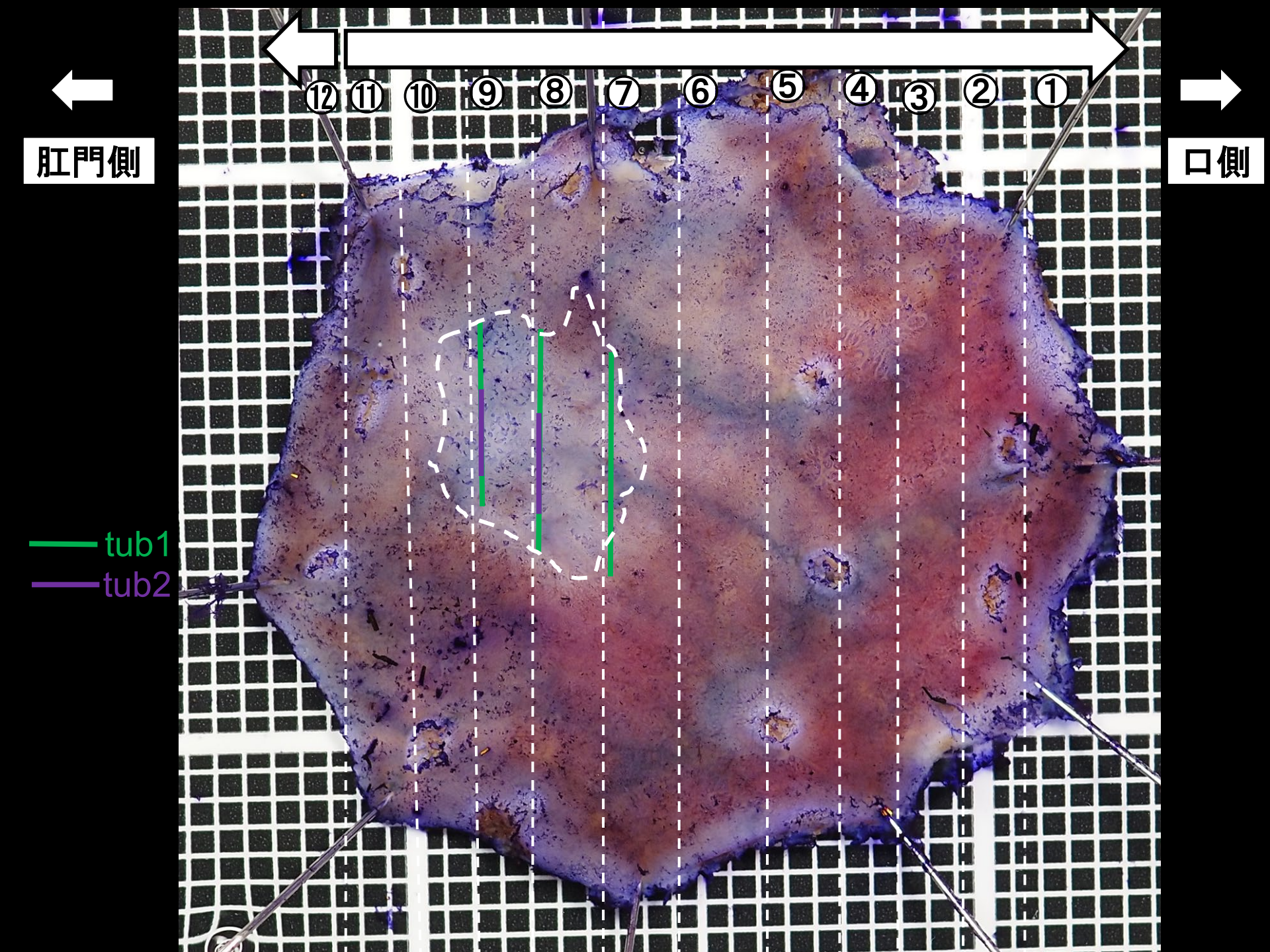

肛門側
口側
⑫ ⑪ ⑩ ⑨ ⑧ ⑦ ⑥ ⑤ ④ ③ ② ①
M
SM1

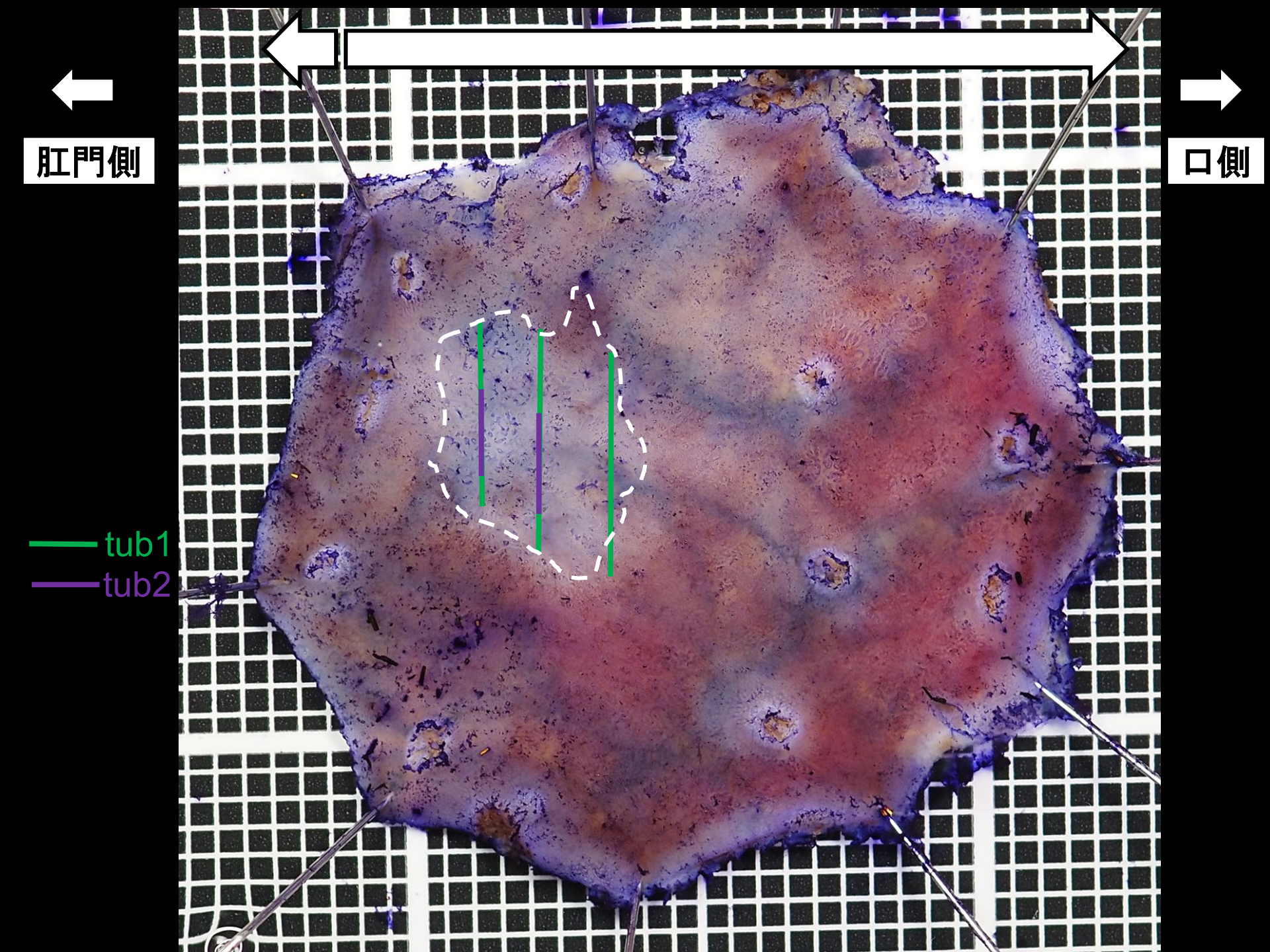

肛門側
口側
⑫ ⑪ ⑩ ⑨ ⑧ ⑦ ⑥ ⑤ ④ ③ ② ①
M
SM1

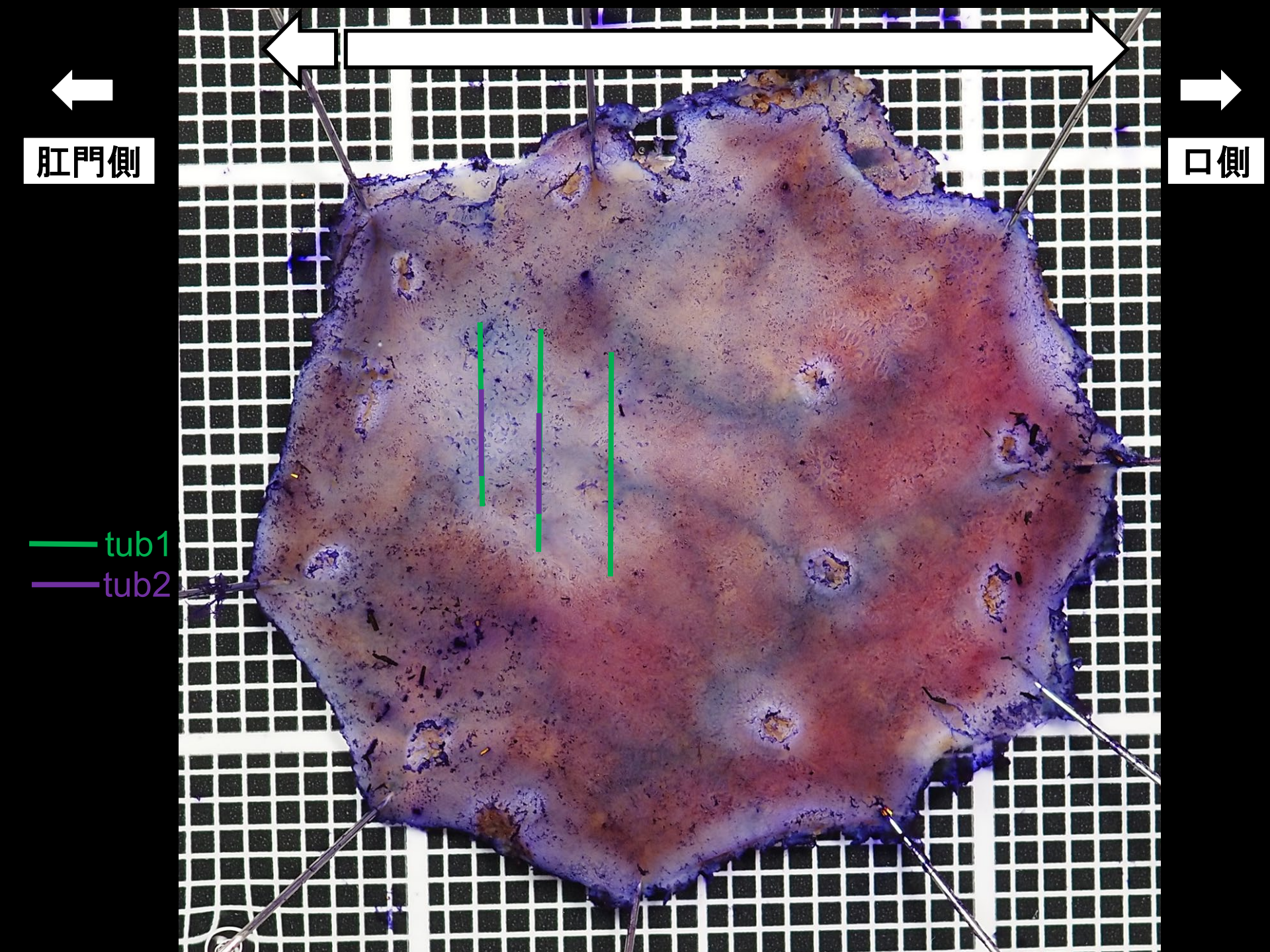

肛門側
口側
M
SM1

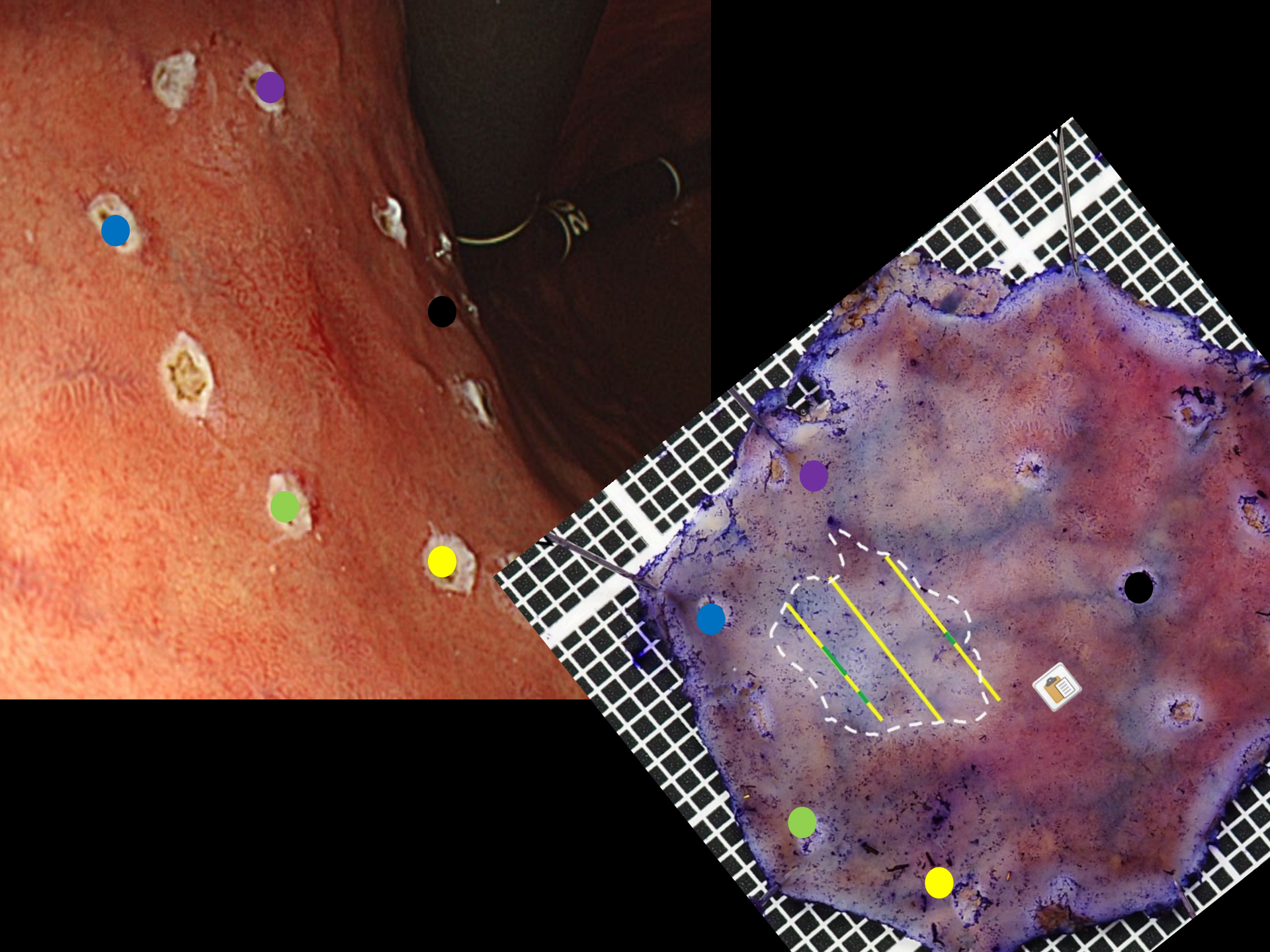

肛門側
口側

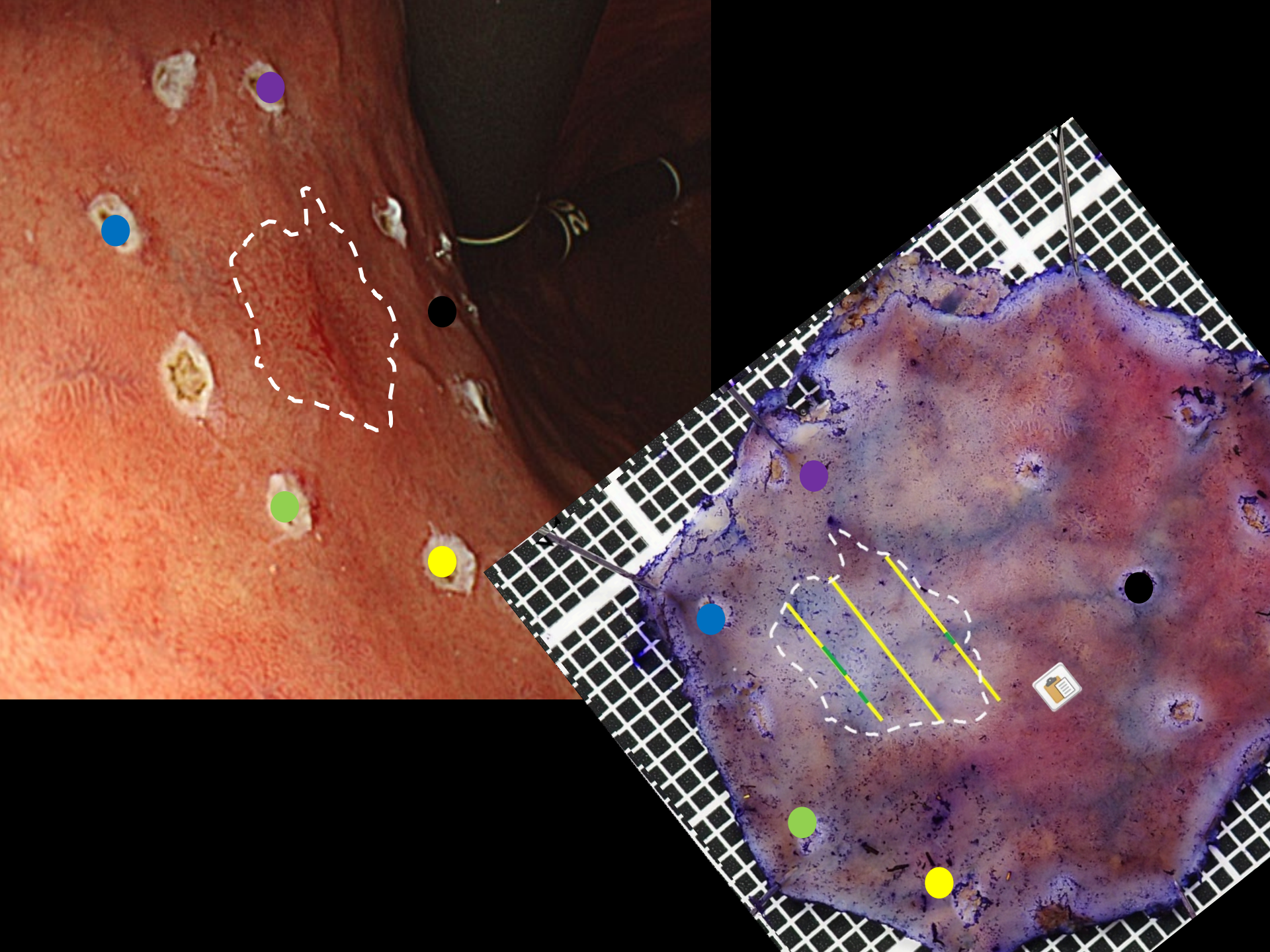

肛門側
口側

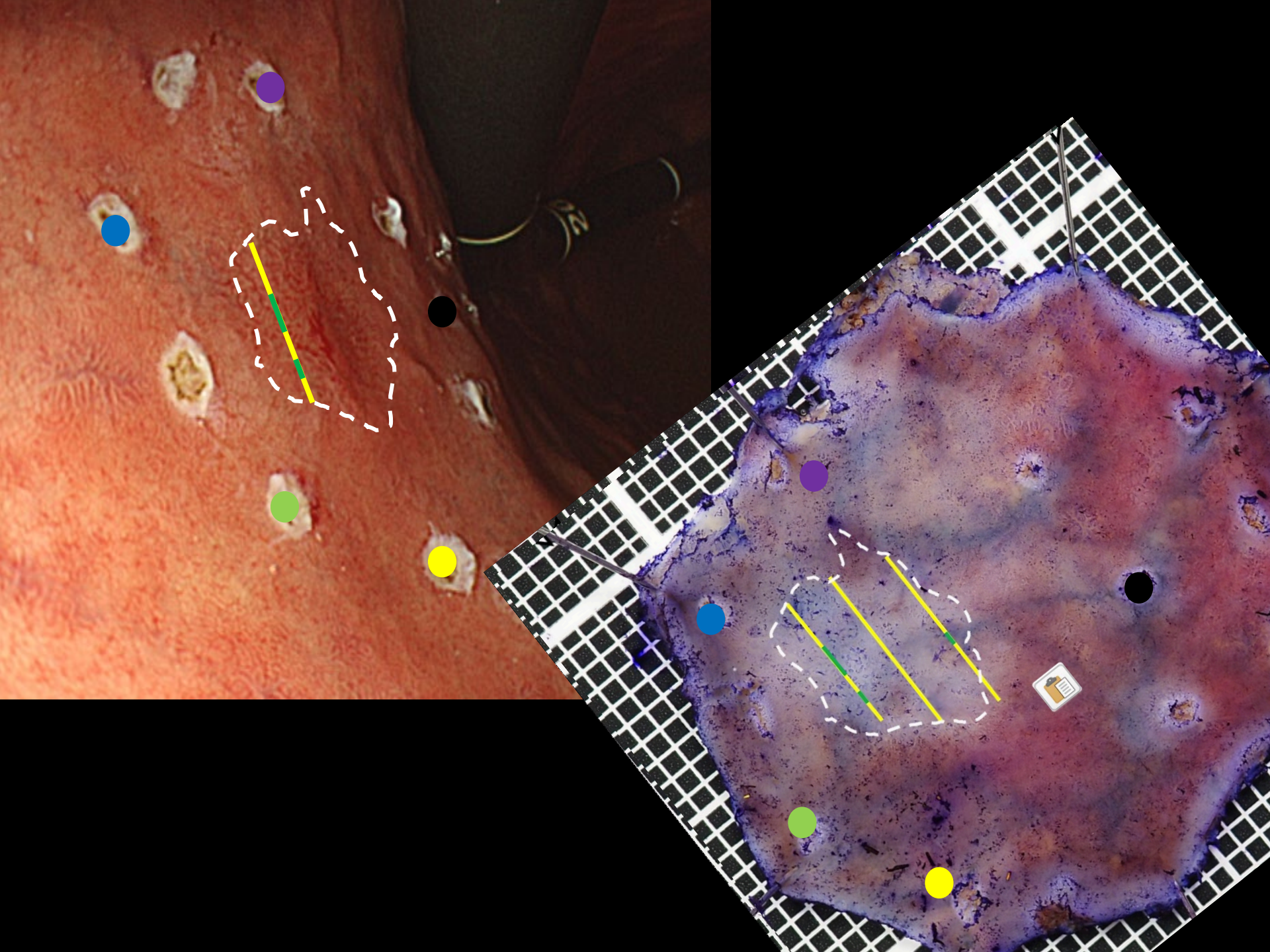

肛門側
口側
⑫ ⑪ ⑩ ⑨ ⑧ ⑦ ⑥ ⑤ ④ ③ ② ①
tub1
tub2

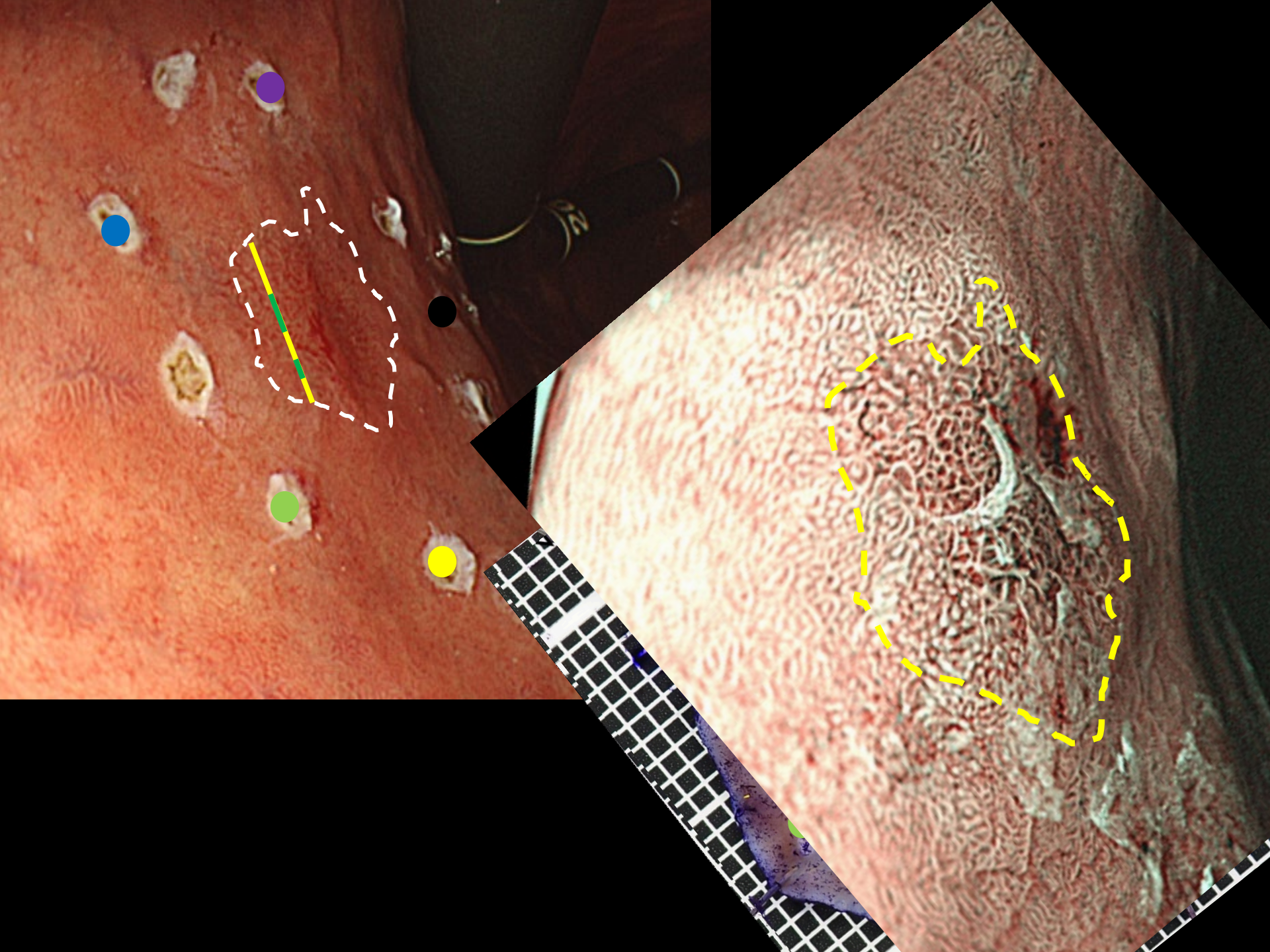

肛門側
口側
tub1
tub2

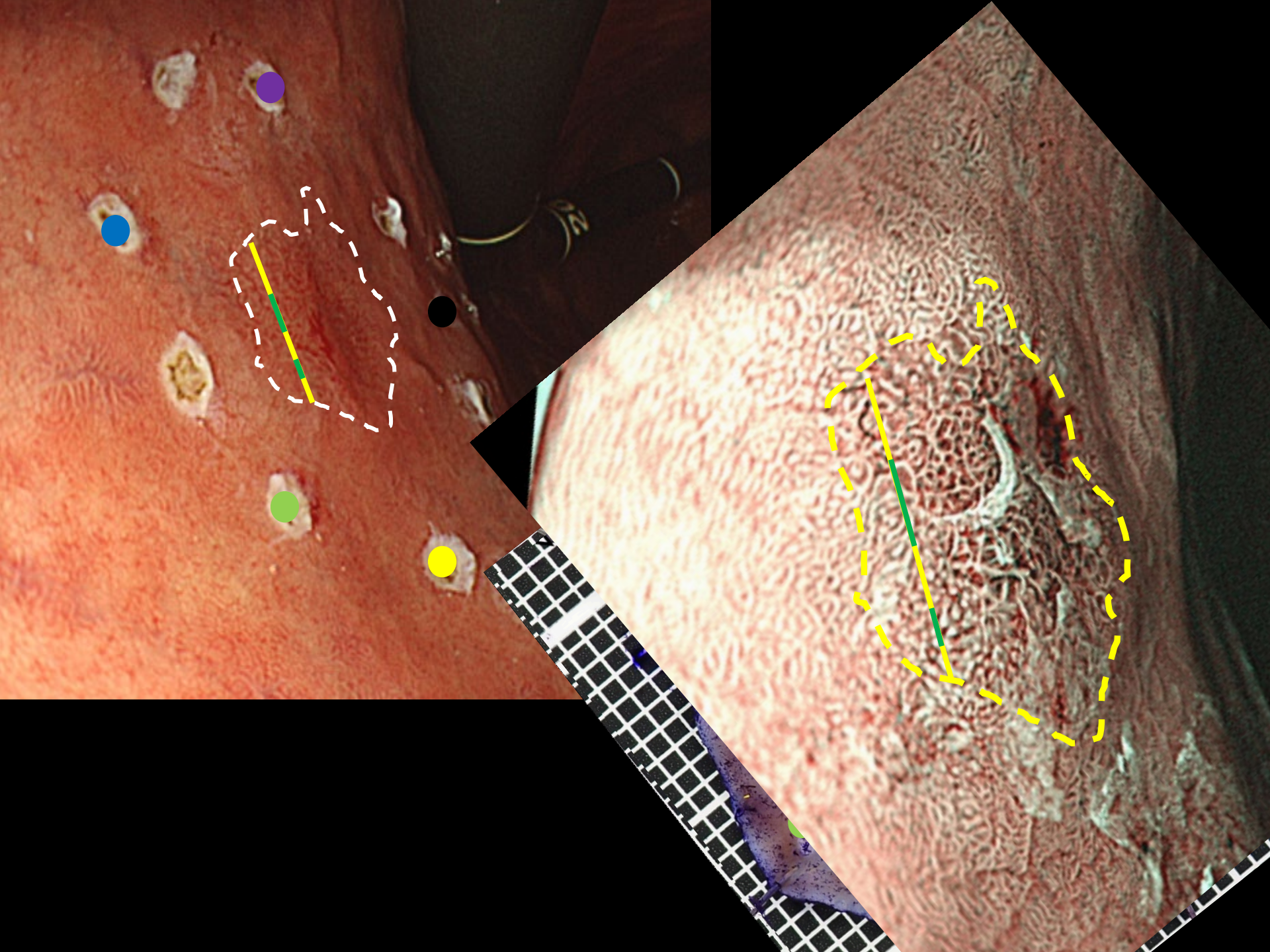

肛門側
口側
tub1
tub2

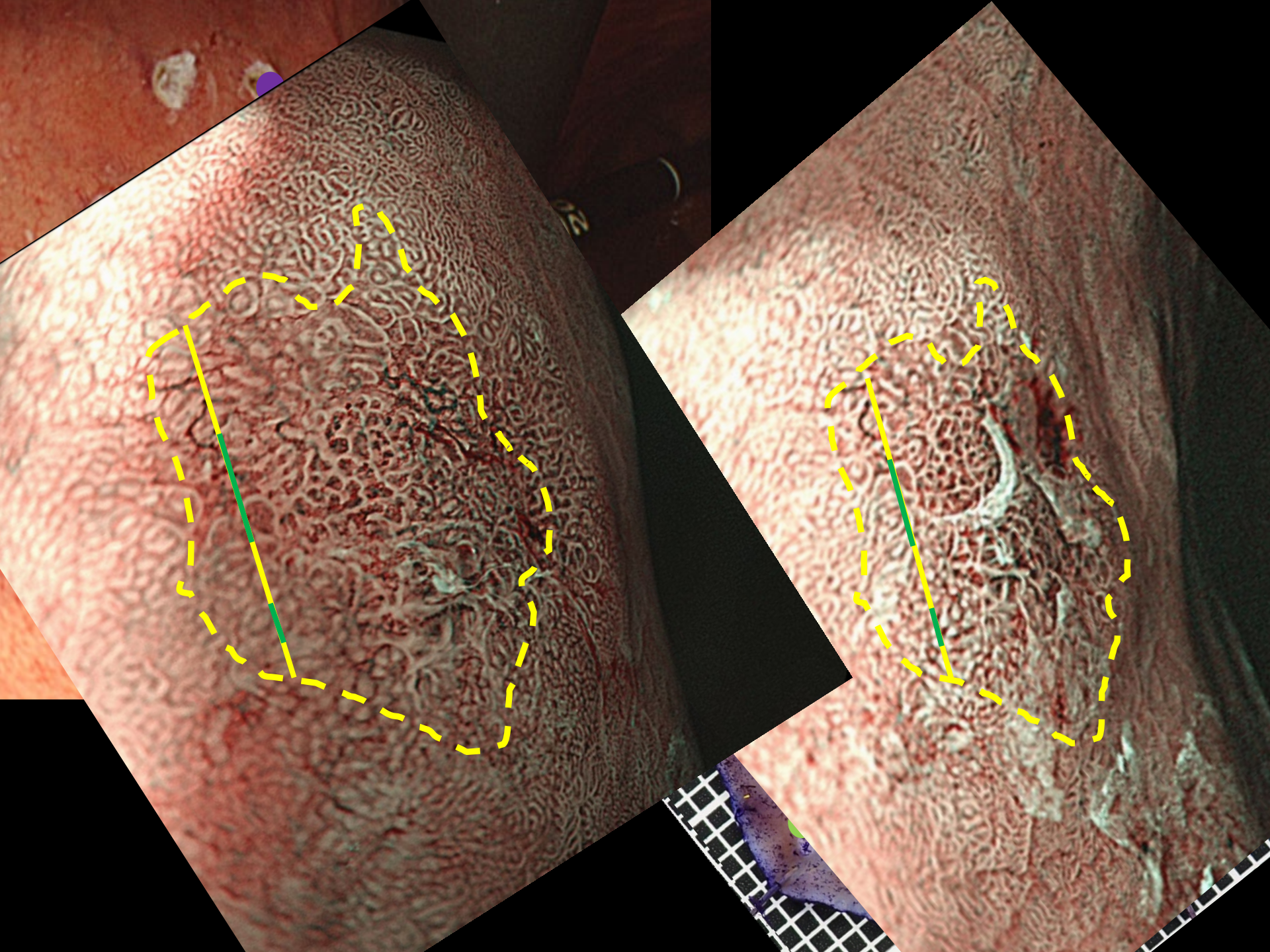




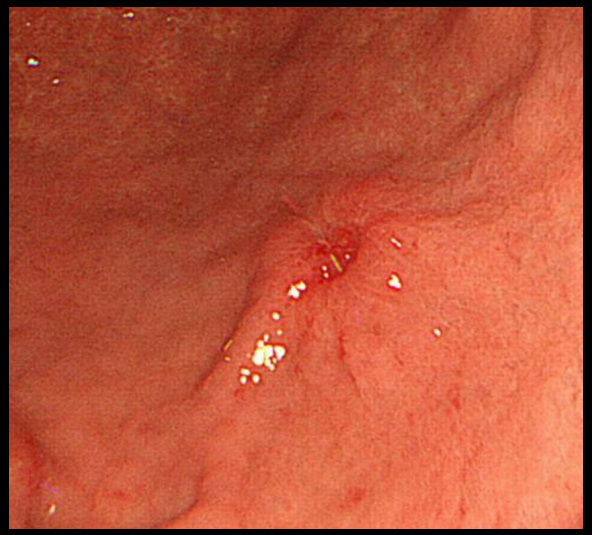


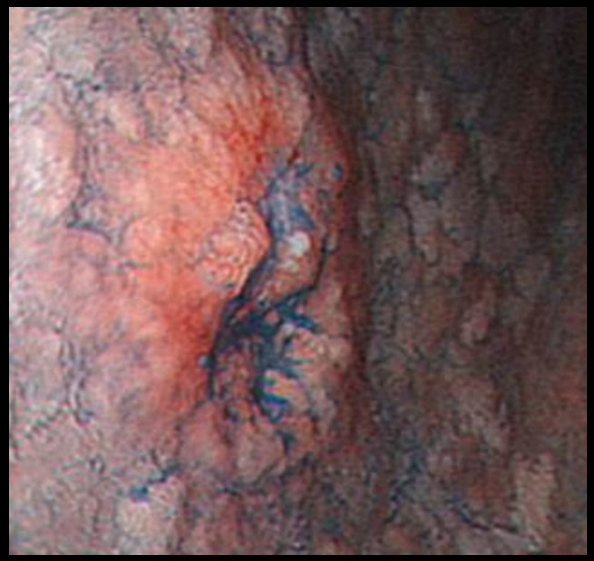






陥凹病変のSM浸潤を示唆する所見





①陥凹面の発赤
②陥凹面の厚み
③壁の硬化像
④病変の大きさ＞2cm
⑤集中する粘膜ひだ先端の癒合
⑥辺縁の隆起・台状挙上
⑦陥凹面の構造不整

<u>微小浸潤はその限りではない</u>

★本症例のように10mm以下でM癌と診断したものでly1となることは珍しい